PARAMOUNT BED

取扱説明書

保証書別添

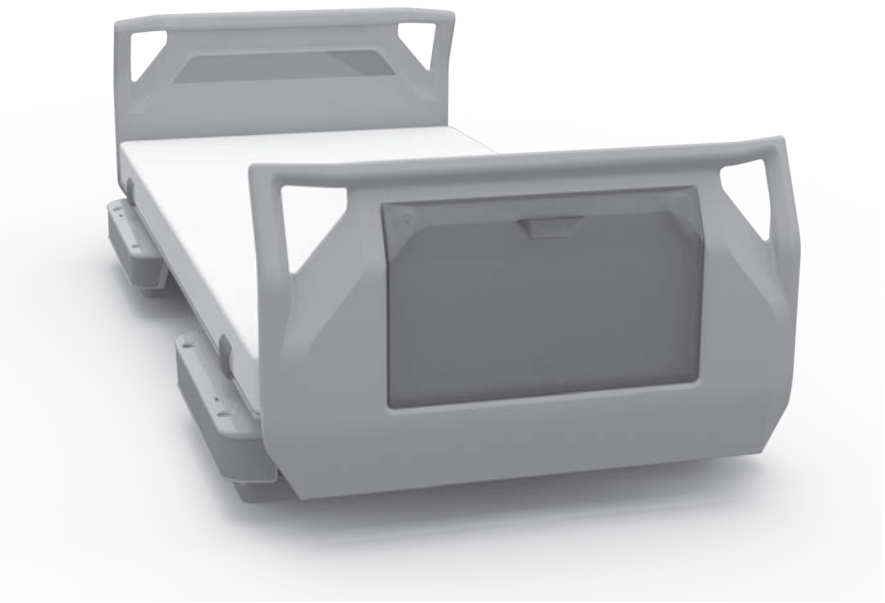
介護用ベッド

楽匠フィットシリーズ

楽匠Fit

X タイプ

KQ-C2＊＊＊・KQ-C2＊＊＊A
KQ-C3＊＊＊・KQ-C3＊＊＊A
KQ-C4＊＊＊・KQ-C4＊＊＊A



※イラストは別売のマットレスを取付けた状態です。

まえがき

このたびは、**介護用ベッド楽匠フィットシリーズ**をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

- **ベッドをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。**
- **ベッドで療養する方ばかりでなく、介護する方もこの「取扱説明書」をよくお読みください。**
- **この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。**
- **お買い上げの製品は改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。**
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除きこの「取扱説明書」では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合せください。
- このベッドは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。

↑このベッドの使いかたを確認できます。

↑介護用ベッドの役割を確認できます。

↑介護用ベッド向けアプリがダウンロードできます。

7F13104500A5

本書の見かた

このたびは、当社製品（以下、ベッド）をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
本書では、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

- ベッドを正しく安全・快適にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
- ベッドを使用して療養する方ばかりでなく、付き添いの方にも正しく安全な取扱方法を説明してください。
- 本書はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は、改良などにより、本書の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除き本書では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合せください。
- このベッドは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。

本書に記載されているマークについて

Note	特に重要な内容や間違えやすい内容、注意点などを記載していることを示しています。
☞	参照していただきたいページを示しています。
	ベッドの方向（頭側）を示しています。
	ベッドの方向（足側）を示しています。

おことわり

このページ以降、本文中に記載の名称を一部以下のように略しております。

- ベッドサイドレール ➡ サイドレール
- ベッド用グリップ（スイングアーム介助バー／サイドグリップ）➡ ベッド用グリップ

目次

本製品について 5

各部の名称 5

手元スイッチの種類とベッド動作..... 6

表示パネル付き手元スイッチ 6

液晶タッチパネル付き手元スイッチ 7

本製品の特長..... 8

ベッドポジションを自在にコントロール 8

足先の角度切りかえが可能..... 9

ボードの取り外しが簡単..... 9

使いやすい手元スイッチ..... 9

スマートフォンとの連携..... 10

小物の収納が可能なボード..... 10

足側からの介護がしやすいフットパネル 10

静かなベッド動作 10

多彩なオプション 10

使用前の確認と準備 11

安全上の注意..... 11

安全ラベルについて..... 11

組み合わせについて..... 12

すき間について 13

ベッド操作について..... 14

転落・転倒について..... 15

電装品について 16

点検・修理について..... 17

その他 17

設置上の注意 19

ベッドの寝位置 20

手元スイッチの取付位置 21

手元スイッチの配線方向について..... 21

手元スイッチの取付けかた..... 21

コードクリップ（付属品）の使いかた . 21

ベッドの使用方法 22

表示パネル付き手元スイッチの使いかた 22

操作ボタンと表示ランプ 22

表示パネル 23

電源の入れかた..... 23

呼出ボタン 24

設定モードへの切りかえ 26

ベッドの動作設定（RC10D0） 27

ベッドの動作設定（RC16D0） 28

操作ボタンのロック（操作禁止） 29

メモリーポジションの登録..... 30

メモリーポジションの初期化..... 31

高さ表示の切りかえ 32

設定の初期化 32

オールリセット..... 33

液晶タッチパネル付き手元スイッチの使いかた 34

操作ボタンと表示ランプ.....34
画面の表示／ロック解除.....36
設定画面の表示のしかた.....36
操作履歴.....37
エラー履歴.....37
ベッド操作設定.....38
呼出設定.....40
画面表示設定.....41
呼出ボタンの登録.....42
操作ボタンのロック（操作禁止）.....44
メモリーポジションの登録.....45
高さ表示の切りかえ.....46
設定の初期化.....47
ベッドの操作のしかた.....48
らくらくモーション.....48
背あげ／背さげ.....50
膝あげ／膝さげ.....50
高さ調節.....51
角度制限機能.....52
メモリーポジション.....52
背膝連動.....53
オプション受の使いかた.....55
使いかた.....55
位置の調節手順.....55
足先角度の切りかえかた.....56
足先あげにするとき.....56
足先さげにするとき.....57
収納カバーの使いかた.....58
使いかた.....58
許容寸法と耐荷重.....58
オプション／マットレス..... 59
適合オプション.....59
適合表.....60
ベッドサイドレール.....61
ソフトカバー付／クリアカバー付ベッドサイドレール.....62
ベッド用グリップ.....63
キャスター.....64
オプション脚座セット.....64
ハイトスペーサー.....65
キャスター付ハイトスペーサー.....66
ソフトカバー付ベッド用グリップ.....66
オーバーテーブル／アジャストテーブル.....66
ベッドサイドテーブル.....67
IV ポールホルダー.....68
マットレスストッパー.....68
棚ユニット.....68
フットパネル.....71
３モーター組み換えキット.....72
呼出受信機.....72
適合オプションの組み合わせと取付位置.....73

目次

ベッド用グリップを 使用する場合 73

ベッドサイドレールを使用する場合 75

適合マットレス 76

適合マットレス 76

延長マットレス 78

電動介護リフトの使用上のご注意 79

緊急時のベッド操作 80

緊急時のベッド操作 80

乾電池使用での背さげ・膝さげ 81

手動での背さげ／戻しかた 82

こんなときは 84

定期点検と日常のお手入れ 84

定期点検 84

日常のお手入れ 84

長期保管 85

長期にわたりベッドを使用しない場合 .. 85

組んだベッドを保管する場合 85

分解して保管する場合 85

移動（移設） 86

組んだベッドを移動（移設）する場合 .. 86

分解して移動（移設）させる場合 86

仕様 87

ベッド本体 87

組立・分解手順 92

各部の名称 92

梱包部品の確認 94

ベースフレーム 95

足側フレーム 96

頭側フレーム 98

ボトム 99

樹脂ボード 100

木目ボード 101

フットパネル 102

手元スイッチ 102

棚ユニット 103

ベースフレーム（QA3000V）を使用する場合 104

ユニットの組み合わせ 106

組立手順 109

ベースフレームの分解・組立 109

ベースフレームの設置 110

脚座の取り付け 110

手元スイッチコードの配線 113

背膝連動幹の取り外し 115

足側フレームの取り付け 115

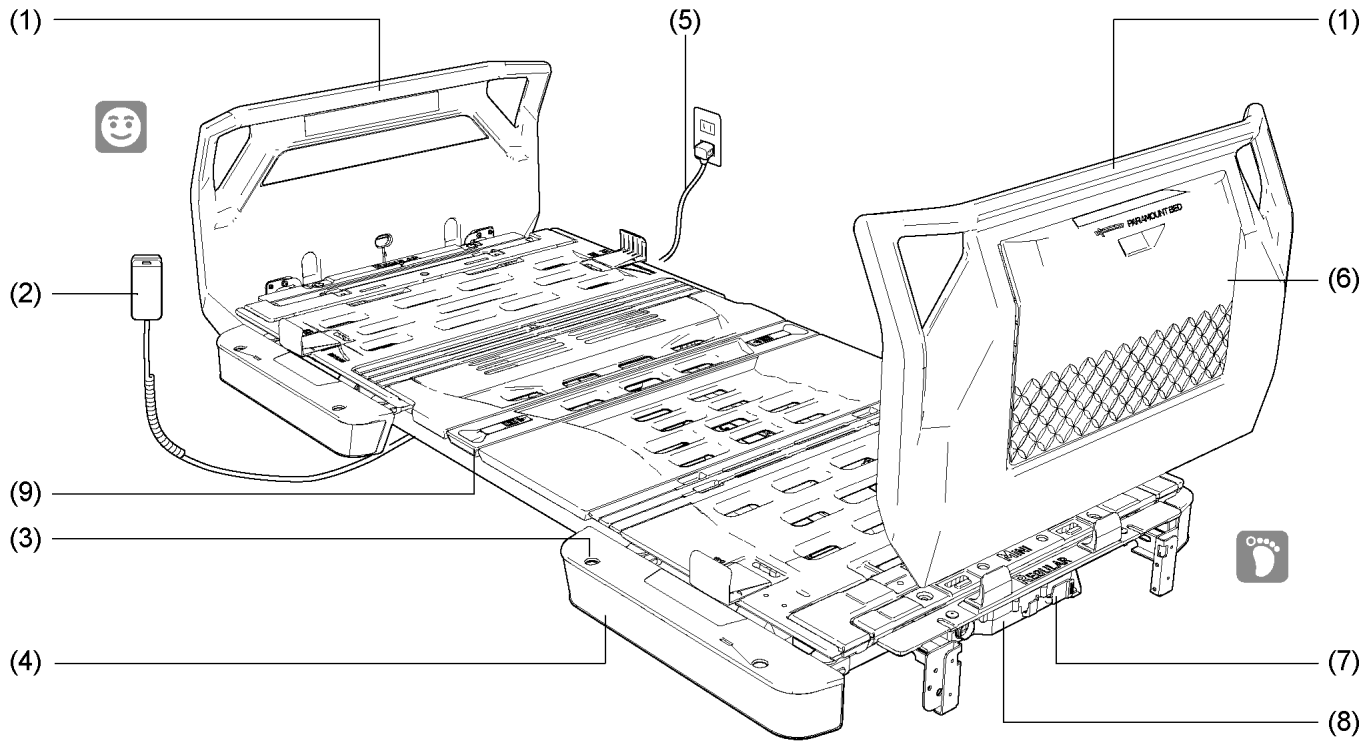
足側フレームの取り付け（脚座オプション使用時） 118

頭側フレームの取り付け 120

背膝連動幹の取り付け 121

ハイローアクチュエーターの配線 123
背アクチュエーターの配線 124
電源コードの配線 125
オプション受の調節 126
ボード受金具の調節 127
ボトム長さの切りかえ 128
背ボトムの取り付け 131
膝・足ボトムの取り付け 132
マットレス止めの取り付け 134
ボードの取り付け 136
フットパネルの取り付け 137
組立後の点検 138
分解・保管 145
分解手順 145
フットパネルの取り外し 146
保管 146
故障かなと思ったら 147
故障かなと思ったら 147
アフターサービス 150
アフターサービスについて 150
お問い合わせ先 151

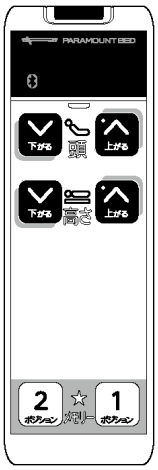
各部の名称



No.	名　称	参照先
1	ボード（樹脂ボード・木目ボード・フットパネルがあります）	☞ ボードの取り付け(P.136) ☞ フットパネルの取り付け(P.137)
2	手元スイッチ	☞ 表示パネル付き手元スイッチの使いかた(P.22) ☞ 液晶タッチパネル付き手元スイッチの使いかた(P.34)
3	オプション取付穴	☞ オプション受の使いかた(P.55) ☞ オプション受の調節(P.126)
4	オプション受	
5	電源コード	☞ 電源コードの配線(P.125)
6	収納カバー	☞ 収納カバーの使いかた(P.58)
7	乾電池接続部	☞ 乾電池使用での背さげ・膝さげ(P.81)
8	コントロールボックス	—
9	ハルンバッグかけ	—

手元スイッチの種類とベッド動作

ベッドに取り付けられている手元スイッチによって、使用できるベッド動作が異なります。

表示パネル付き手元スイッチ				
品番		RC10D0	RC16D0	
タイプ		3 モーター	2 モーション	2 モーター
ボタン数		10	6	6
手元スイッチ				
ベッド動作	らくらくモーション	○	―	―
	背膝連動（背膝連動幹）※1	―	―	○
	背膝連動（モーター駆動）※2	―	○	―
	背あげ	○	○	○
	膝あげ	○	―	―（連動時、背に連動）
	高さ調節	○	○	○

※1 背膝連動幹の切換金具の操作により、背あげ時の膝の動作の切りかえができます。

※2 下記のベッドの場合は、背あげ動作に連動して膝の角度が動作します。

- 足側フレームが QC30＊0F のベッド
- 足側フレームが QC20＊0F にモーター組み換えキット（KQ-PC00B：別売）を取り付けたベッド

☞ 背膝連動(P.53)

手元スイッチの種類とベッド動作

液晶タッチパネル付き手元スイッチ

品番		RC5000	RC5600		RC5200	RC5200H
タイプ		3 モーター	2 モーション	2 モーター	1 モーター（頭）	1 モーター（高さ）
ボタン数		10	6	6	2	2
手元スイッチ						
ベッド動作	らくらくモーション	○	―	―	―	―
	背膝連動（背膝連動幹）※1	―	―	○	―	―
	背膝連動（モーター駆動）※2	―	○	―	―	―
	背あげ	○	○	○	○	―
	膝あげ	○	―	―（連動時、背に連動）	―	―
	高さ調節	○	○	○	―	○

※1 背膝連動幹の切換金具の操作により、背あげ時の膝の動作の切りかえができます。

※2 下記のベッドの場合は、背あげ動作に連動して膝の角度が動作します。

- 足側フレームが QC30＊0F のベッド
- 足側フレームが QC20＊0F にモーター組み換えキット（KQ-PC00B：別売）を取り付けたベッド

☞ 背膝連動(P.53)

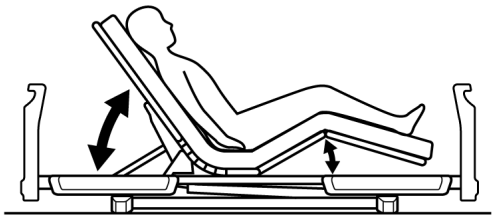
本製品の特長

本製品は、ご家庭でベッドを使用する方の動作を助け、介護する方の介護負担を軽くするベッドです。

ベッドポジションを自在にコントロール

らくらくモーション

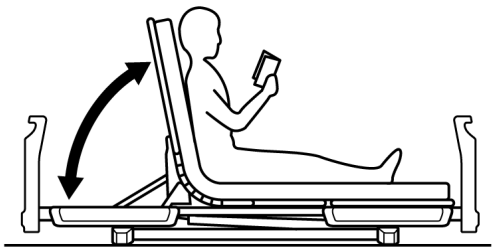
背ボトムの「あげ／さげ」と連動して、膝・足ボトムが自動で動作します。身体のずれを大幅に軽減し、背あげ時の姿勢をしっかり保持します。



☞ らくらくモーション(P.48)

背あげ

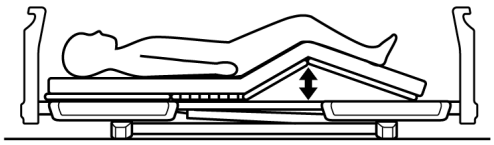
背ボトムを水平から 75°まで調節できます。背をあげることでベッドからの起きあがりがより楽に行えます。



☞ 背あげ／背さげ(P.50)

膝あげ

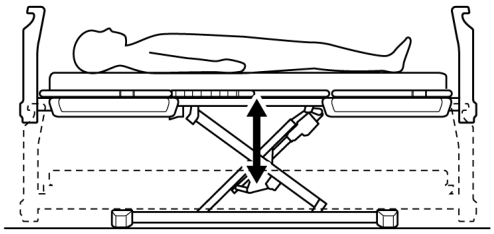
膝・足ボトムを水平から 30°まで調節できます。背あげ時に、先に膝をあげておくことで身体のずれを少なくすることができます。また、背と膝の角度を適度にあげると、身体に負担のかかりにくいより楽な姿勢がとれます。



☞ 膝あげ／膝さげ(P.50)

高さ調節

ベッドの高さを 21cm～64.5cm（脚座を超低床にした場合は 15cm～58.5cm）まで調節できます。低床のため、背の低い方でもかかとをしっかりゆかに着けることができます。また、万一の転落のときにも衝撃を軽減できます。適度な高さまであげることで、介護者はより楽な姿勢で介護ができます。



☞ 高さ調節(P.51)

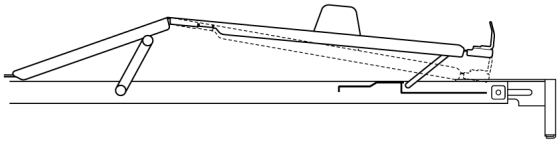
メモリーポジション

あらかじめ設定したメモリーポジションに向けて、ベッドの背・膝の角度、ベッドの高さ（床高）を調節します。

☞ メモリーポジション(P.52)

足先の角度切りかえが可能

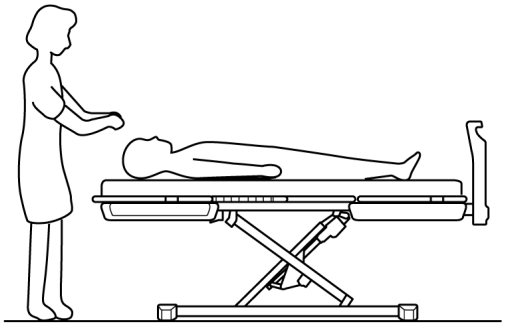
膝あげのとき、膝から先の曲がり角度（膝・足ボトム（足側）の角度）を 2 段階（足先あげ／足先さげ）に調節できます。足先をあげることで、足のむくみなどがある方が楽に過ごすことができます。



☞ 足先角度の切りかえかた(P.56)

ボードの取り外しが簡単

シーツ交換、身体の清拭、洗髪、洗顔などの介護がしやすくなります。

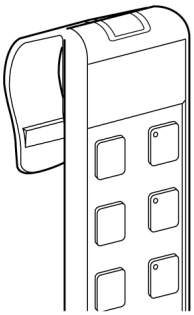


使いやすい手元スイッチ

表示パネル付き手元スイッチ（RC1＊DO）

- 手元スイッチの表示パネルにベッドの状態（背の角度など）が表示され、ベッドの調節時に角度や高さが一目でわかります。
- 操作ボタンの突起により、触感であがる／さがるを区別できます。
- 呼出ボタンを押すと、ブザー音で通知できます。

※ 呼出機能については、JIS 認証範囲外となります。



液晶タッチパネル付き手元スイッチ（RC5＊OO）

- 手元スイッチの表示パネルにベッドの状態（背の角度など）が表示され、ベッドの調節時に角度や高さが一目でわかります。
- 画面に表示するボタンを自由に選択できます。
- 操作時にアナウンスで、操作ボタンをお知らせできます。（初期状態：OFF）
- 呼出ボタンを押すと、ブザー音、メロディで通知できます。

※ 呼出機能については、JIS 認証範囲外となります。

☞ 表示パネル付き手元スイッチの使いかた(P.22)

☞ 液晶タッチパネル付き手元スイッチの使いかた(P.34)

スマートフォンとの連携

家族や介護者がお持ちのスマートフォンに専用アプリケーションをインストールし、ベッドと Bluetooth Low Energy（以下、BLE）接続すると、スマートフォンと連携する以下の機能を使用できます。

- スマートフォンでのベッド操作
- 手元スイッチの呼出ボタンでのスマートフォンへの通知

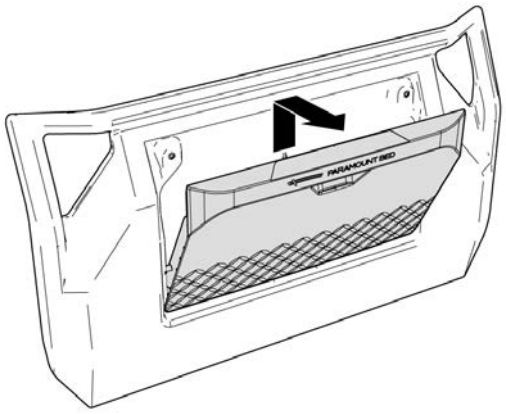
※ スマートフォンとベッドとの連携については、下記 QR コードからセットアップガイドを参照してください。

※ スマートフォンとの連携および呼出機能については、JIS 認証範囲外となります。

※ Bluetooth および Bluetooth ロゴは、米国 Bluetooth SIG, Inc.の商標です。本文中における®および TM は省略しています。

小物の収納が可能なボード

ボードの外側には、開閉できる収納カバーがあり、ベッド周りの小物や取扱説明書などを入れることができます。



☞ 収納カバーの使いかた(P.58)

足側からの介護がしやすいフットパネル

フットボードの代わりに取り付けることで、足側からの介護がしやすくなります。

※ フットパネルを取り付けたベッドでエアマットレスを使用するときは、マットレスストッパー（KQ-PC00D）を取り付けてください。

静かなベッド動作

動作音が静かなアクチュエーター（モーター）を使用しています。

多彩なオプション

身体の状態にあわせて、ベッドサイドレールやベッド用グリップなどを取り付けることができます。

☞ 適合オプション(P.59)

安全上の注意

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「警告」と「注意」の 2 つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

※ 本書をお読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷（骨折・圧迫・麻痺など）を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷（打撲・すり傷・切り傷など）を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

『安全上の注意』などに記載の項目で、特に【すき間に関する注意】は、生命にかかわる重大な事故につながる可能性のある重要な項目です。本取扱説明書とあわせ、製品に別添の『すき間および電装品についての注意事項』を必ずお読みいただき、正しく安全にお使いください。なお、特に予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

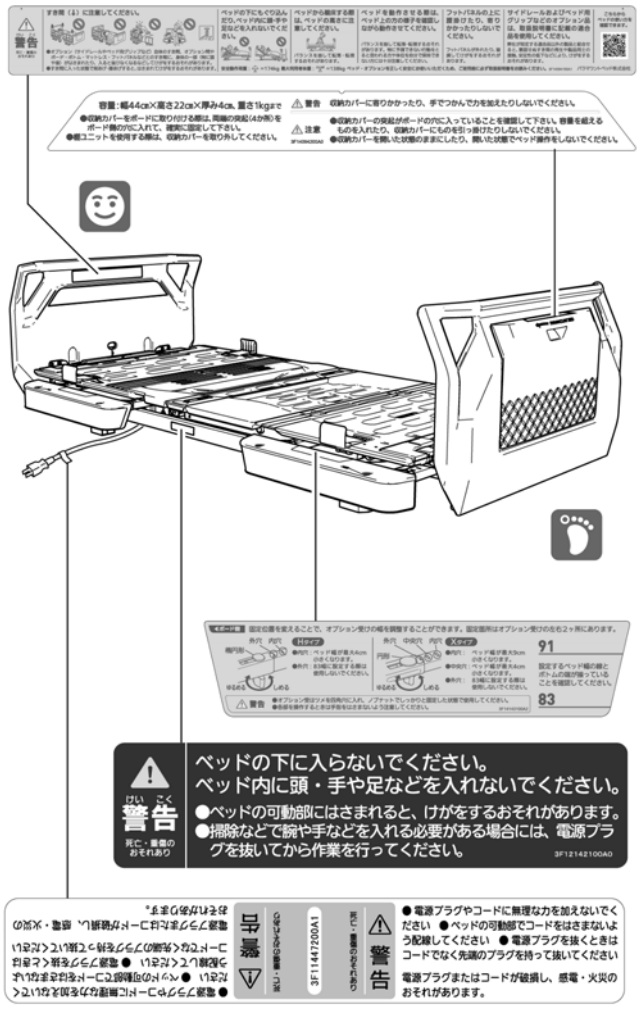
安全ラベルについて

注意事項の中で、ベッドを使用する方に特に注意していただきたい項目をラベルにして、ベッドの各部に貼ってあります。

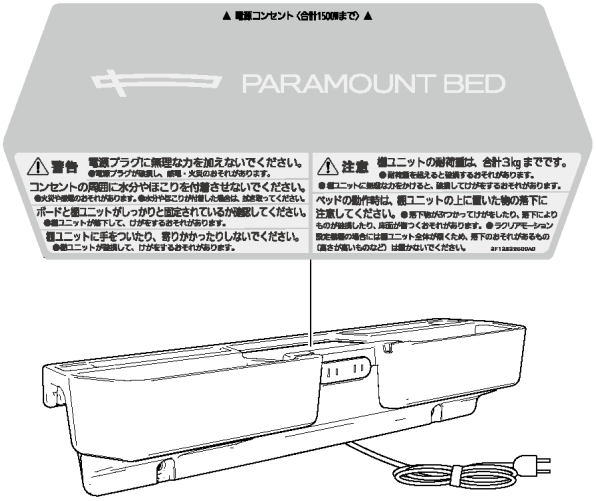
⚠ 注意

安全ラベルは、はがしたり傷つけたりしないでください。

安全ラベルが傷ついたりはがれたりした場合は、販売店から新しい安全ラベルを取り寄せ、貼り直してください。



棚ユニット（KQ-PC00E）



本製品では、以下のシンボルが使用されています。

PSE	PSE マーク
IPX6	保護等級
	安全動作荷重
	最大利用者体重
JIS 福祉用具	JIS マーク
=5kg 2	ハルンバッグかけ耐荷重

組み合わせについて

⚠ 警告

ベッドに直接取り付けて使用するベッドサイドレール、マットレスなどは、弊社が指定する適合品をお使いください。

指定以外の製品や他社製品と組み合わせると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたり、ベッドが故障したりするおそれがあります。

すき間について

⚠ 警告

すき間に注意してください。

- ベッドやベッドサイドレール・ベッド用グリップなどにはすき間があります。また、ベッドサイドレールやベッド用グリップなどを組み合わせるとすき間ができます。これらのすき間に身体の一部（特に頭や首など）をはさむと、けがをするおそれがあります。
- 下記の項目に注意してください。これらのすき間に身体の一部（特に頭や首など）をはさむと、けがをするおそれがあります。

(1) ベッドサイドレールなどの内部のすき間

(2) 2 本のベッドサイドレールなどの間のすき間

(3) ベッドサイドレールなどとボードのすき間

(4) ベッドサイドレールなどとボトム・マットレスのすき間（高さ方向）

(5) ベッドサイドレールなどとボトム・マットレスのすき間（幅方向）

(6) ボード内部のすき間

(7) ボードとマットレスのすき間

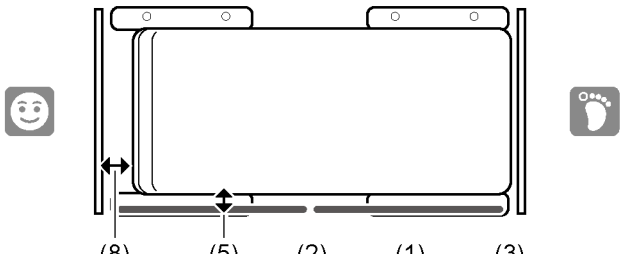
(8) あがっているボトムとボード・ベッドサイドレールなどのすき間

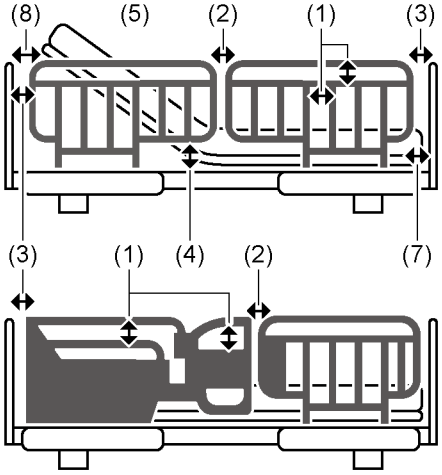
(9) ボトムとボードやフットパネルのすき間

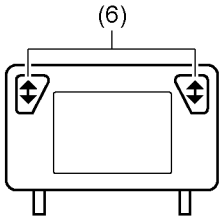
(10) その他、身体の一部をはさむすき間

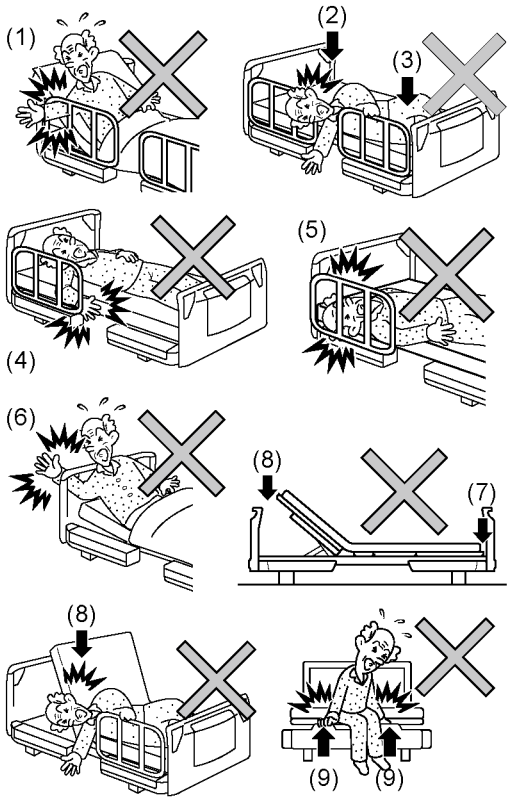
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。
- ベッドサイドレールやベッド用グリップは、正しい組み合わせでご使用ください。

☞ 適合オプションの組み合わせと取付位置(P.73)









ベッド操作について

⚠ 警告

身体の一部がすき間に入った状態で、ベッドの操作をしないでください。

- すき間にはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

ベッド操作を行う際は、動く部分に身体の一部を入れないでください。

- ベッドの可動部とフレームやボード・ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどとの間にはさまれて、けがをするおそれがあります。
- ベッドの操作を行う際は、ベッドの下や内部および周りに人や障害物がないことを確認してください。
- ベッドの操作を止めたい場合は、手元スイッチの操作ボタンから手を離してください。

ボトム角度やベッドの高さを調節するときは、ベッドを使用する方の状態に注意してください。

- ベッドを使用する方がボトム角度やベッドの高さ調節中に動くと、ベッドから転落したり、すき間にはさまれたりして、けがをするおそれがあります。
- 特に体位を自分で保持できない方の場合は、身体を支えながら操作してください。

ベッドは正しい向き・姿勢で使用してください。

- ベッドの頭側・足側を間違えて寝た状態で背あげ・膝あげ動作を行うと無理な姿勢となり、けがをするおそれがあります。
- うつ伏せや横向き（仰向け以外）で寝た状態での角度調節は、関節を逆に曲げることになり、けがをするおそれがあります。

操作が理解できないと思われる方（12 歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください。

誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1 人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。

- 操作禁止ボタンで手元スイッチの操作ボタン（すべての操作ボタンまたは各動作部位の操作ボタン）をロック（操作禁止）する。
- 電源プラグを抜く。

介護者の方などがベッドから離れたり、ベッドを使用する方から一時的に目を離したりするときは、ボトムの角度やベッドの高さに注意してください。

万一のベッドからの転落に備え、使用する方の状況に応じて、ボトムの角度を水平にしてベッドの高さを最低高さにしてください。

スマートフォンと連携して、ベッドの操作や設定を行う際は、使いかたに十分に注意してください。

- スマートフォンによるベッドの操作や設定は、ベッドが見える位置で行ってください。意図せぬベッドの動作や設定変更により、予期せぬ事故が発生するおそれがあります。
- 操作が理解できないと思われる方（12 歳以下のお子様や認知症の方など）に操作をさせないでください。意図せぬベッドの動作や設定変更により、予期せぬ事故が発生するおそれがあります。

※ スマートフォンとの連携については、JIS 認証範囲外となります。

⚠ 注意

2 人以上で使用しないでください。

- このベッドは 1 人用の設計になっています。2 人以上で使用すると、ベッドが破損してけがをするおそれがあります。一時的に、介護者がベッドに乗る必要がある場合は、次の点を確かめてください。
  - ベッドに乗る方が最大利用者体重を超えていないこと。（最大利用者体重は仕様を確認してください。）
  - ボトムがさがってフラットになり、最低高さになっていること。
- 介護者がベッドに乗る機会の多い場合は、お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンターに依頼して、ベッドの定期点検を受けてください。

背あげの際など、あがっているボトムに乗らないでください。

ボトムの支持部に大きな力がかかり、破損・変形のおそれがあります。

移乗のときなどに、マットレス止めに身体をぶつけないように注意してください。

けがをするおそれがあります。

手元スイッチ操作時は周囲を確認してください。

手元スイッチ操作によって周囲のものを破損させたり、ベッドが破損・変形したりするおそれがあります。

ベッドに安全動作荷重を超える荷重を加えないでください。

ベッドが破損してけがをするおそれがあります。安全動作荷重は、ベッドを安全に使用できる荷重であり、利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重です。（安全動作荷重は仕様を確認してください。）

転落・転倒について

⚠ 警告

ベッドサイドレール・ベッド用グリップ・ボードやフットパネルなどに腰掛けたりしないでください。

ベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッドやベッドサイドレール・ベッド用グリップなどが破損・変形したりして、けがをするおそれがあります。

ベッドサイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください。

- ベッドサイドレールとベッドサイドレール、各ボードとベッドサイドレールのすき間から転落し、けがをするおそれがあります。
- ベッドサイドレールの上から身を乗り出して転落し、けがをするおそれがあります。特に厚みのあるマットレスを使用する場合は、ご注意ください。
- ベッドの背をあげた状態で使用される場合は、転落予防としての効果を十分に発揮できないおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

ベッドを踏み台がわりにしたり、ベッドの上で飛び跳ねたりしないでください。

ベッドから転落・転倒したり、ベッドが故障したりするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

乳幼児やお子様には使用しないでください。

- 本製品は乳幼児やお子様向けに設計されていません。ベッドサイドレールなどのすき間に身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
- ベッドサイドレールを使用していてもすき間から転落して、けがをするおそれがあります。

電装品について

⚠ 警告

手元スイッチなどの電装品の取り扱いに注意してください。

- ベッドが誤作動してけがをしたり、故障したりする原因となります。また、感電・火災のおそれがあります。
  - ぶつけたり傷つけたりしないでください。
  - 落としたり、コードを無理に引っ張ったりしないでください。
- 傷んだ手元スイッチなどの電装品は、修理（交換）を依頼してください。

コード類（電源コードなど）を傷つけないでください。

- コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
  - ベッドの可動部でコード類をはさまないようにしてください。
  - コード類に重いものを置いたり、無理な力を加えたりしないようにしてください。
  - ベッドでコード類を踏みつけないでください。
- 傷んだコード類は修理（交換）を依頼してください。

電源コードや手元スイッチのコードに、足を引っ掛けないようにしてください。

- プラグやコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- 転倒して、けがをするおそれがあります。

ベッド・適合オプション以外のコード類は、ベッド内部やベッドの下を通さないでください。

- コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
- やむを得ずその他の機器のコードをベッド内部やベッドの下を通す場合は、ベッドの可動部などでコードを圧迫しないように注意してください。

電子治療器を使用するときは、電源プラグを抜いてください。

電子治療器（マイクロ波治療器、超短波治療器など）を同時に使用した場合、ベッドの故障や誤動作のおそれがあります。なお、他の ME 機器と併用するときは、安全をご確認の上ご使用ください。

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。

電源コードのみを持って引抜くとコードが傷んで、感電・火災のおそれがあります。

電源プラグに無理な力を加えないでください。

電源プラグが破損し、感電・火災のおそれがあります。

電源プラグにほこりを付着させないでください。

- 湿気などで絶縁不良となり、感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグにほこりなどが付着した場合は、乾いた布などでよく拭き取ってください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電したり、故障したりするおそれがあります。

アクチュエーター（モーター）や手元スイッチなどの電装品に水などをかけないでください。

感電したり、故障したりするおそれがあります。誤って水などをかけてしまった場合は、電源プラグをコンセントから抜き、パラテクノコールセンターまでご連絡ください。

点検・修理について

⚠ 警告

お客様による修理・改造はしないでください。

- 意図せぬすき間の発生や異常動作などにより、けがをするおそれがあります。
- JIS 認証製品は、JIS で定められた構造・性能が変更されるような改造を行った場合は JIS 認証製品としての取り扱いができなくなります。

ベッドは定期的に点検してください。

使用の頻度や環境により、製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ・可動部の動作・破損の有無などを点検してください。思わぬけがをするおそれがあります。

被災したベッドは点検・修理を依頼してください。

地震・火災・水害などで被災したベッドは、パラテクノコールセンターまで点検・修理をご依頼ください。感電・火災の原因となったり、ベッドの動作異常で、けがをしたりするおそれがあります。

その他

⚠ 警告

ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどを取り付けるときは、正しい向きで確実に取り付けてください。

- ベッドから転落したり、意図せぬすき間に、身体の一部がはさまれたりしてけがをするおそれがあります。
- 誤った向きやオプション取付穴に異物が入っていると確実に差し込むことができず、ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどが不意に外れるなどして、けがをするおそれがあります。正しい向きでの取り付けかたについては、各オプションの「取扱説明書」を参照してください。
- 誤った向きでは、ベッドの頭側・足側から大きくとび出る場合があり、けがをするおそれがあります。

※ ミニタイプは、通常取付状態でも最大 2.5cm とび出しますが正常です。

ベッドと壁や周りのものとのすき間にはさまれないように注意してください。

- 身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

オプションや突起物に衣類などが絡まないように注意してください。

- 衣類などが絡まった状態でベッドを操作すると、けがをするおそれがあります。
- ベッドの乗り降りなどのときに転倒して、けがをするおそれがあります。

火気に近づけないでください。

ベッドの近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。変質・変形・火災などおそれがあります。

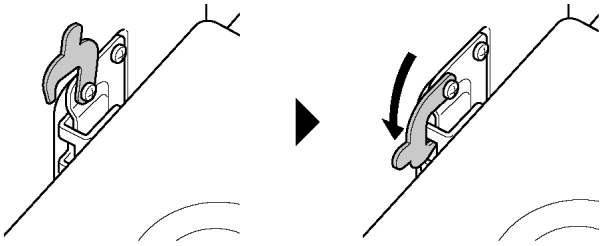
ベッドを使用する方の容体にあわせて使用し、治療中の方は医師に相談をしてください。

- ベッドの操作により容体を悪化させる可能性があります。
- ベッドのご使用に際して不安や疑問があるときは、かかりつけの医師にご相談ください。

⚠ 注意（ちゅうい）

ボードはストッパーを掛けてください。

ボードの取り付けが不完全な場合、身体を支えるためボードにつかまったときやベッド移動でボードを押す（引く）ときなどに不意に外れ、転倒などによるけがのおそれがあります。



木目ボードに濡れたタオルなどをかけたり、加湿器などの蒸気を直接あてないでください。

ボードが破損・変質するおそれがあります。水分などが付いた場合は、乾いたタオルなどですみやかに拭き取ってください。

棚ユニットを装着したベッドの操作をするときは、壁や梁はりに気をつけてください。

- ベッドや壁などが破損・変形するおそれがあります。
- 棚ユニットをベッドに取り付けた場合は、壁から30cm 以上離してベッドを設置してください。ご使用のときには、ベッド動作で棚ユニットや棚ユニットのコンセントに差し込んだ電源プラグが壁に当たらないか注意しながら操作してください。
- 棚ユニットに物を置いている場合は、43.5cm 離していても壁などに物がぶつかる場合があります。棚ユニットの高さより大きい物を置く場合は、壁や梁はりに当たらないか注意しながら操作してください。

スプレータイプの殺虫剤を、ベッドに直接噴射しないでください。

殺虫剤に含まれる溶剤によって、ベッドが破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがあります。

ハルンバッグかけに、最大積載質量を超えるものを吊り下げないでください。

- ハルンバッグかけの耐荷重は 5kg です。
- ハルンバッグかけに、ボトム記載の耐荷重 5kg を超えるものを吊り下げると、ボトムが変形して転落し、けがをするおそれやベッドが転倒してけがをするおそれがあります。

ハルンバッグ用のフックは確実に取り付けてください。

ハルンバッグが不意に落下してけがをしたり、破損したりするおそれがあります。

ベッドの乗り降りのときは、ハルンバッグにぶつからないように注意してください。

ハルンバッグが不意に落下してけがをしたり、破損したりするおそれがあります。

設置上の注意

ベッドを設置するにあたって、下記の注意事項を守ってください。ベッドは一度組み立てますと、部屋の中での移動や向きの変更が困難な場合があります。

⚠ 警告

電源プラグの抜き差しができなくなる場所には、ベッドを設置しないでください。

- 誤操作を防止するために、電源プラグを抜くことが必要になる場合があります。
- 誤操作によるけがをするおそれがあります。

電源は直接コンセントからとり、タコ足配線は行わないでください。

コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して火災のおそれがあります。

⚠ 注意

ベッド周辺のスペースを確保してください。

- ベッドを使用する方がベッドから起きあがる場合に、ベッドの左右どちら側からの乗り降りが可能か、車いすをご使用の場合は、ベッドのどちら側で使用するかによって、必要なスペースを確保してください。壁やものなどを傷つけるおそれがあります。
- 介護する方がベッド周りで介護をするためのスペースをどれだけとるか（シーツ交換だけか、おむつ交換・着替え・洗髪・歯磨き・食事の介助などが必要かどうかによってベッドの周囲をどれだけあけるか）を考慮してください。
- ベッドを操作するとき、周りの家具備品、部屋の構造物などに当たらないことを確認してください。家具備品や構造物などが破損するおそれがあります。

ベッド使用時に、ゆかにかかる荷重に耐えられる場所に設置してください。

寝具およびオプションやベッドを使用する方の体重を加えた総質量がベッド使用時にゆかにかかる荷重となります。この荷重に耐えられる場所に設置してください。ゆかなどが破損するおそれがあります。ベッド質量は仕様を、オプション質量は各取説を参照してください。

故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください。

- 直射日光のあたる場所
- 冷暖房器による冷気や暖気が直接あたる場所
- 過度の水蒸気や油蒸気のかかりやすい場所
- 高温・多湿・低温・乾燥した場所
- ほこり・煙・塩分・イオウ分・腐食性物質などの多い場所
- 換気の悪い場所
- 振動や衝撃のある場所
- ゆかが水平でない場所

結露の原因となるので、次のような場所での使用に注意してください。

- 温度が低い場所
- 湿度が高い場所
- 短時間での寒暖の差が大きい場所

上記の場所でご使用される場合は、次のことをおすすめします。

- 清拭タイプマットレスの使用
- 定期的な換気

ベッドの寝位置

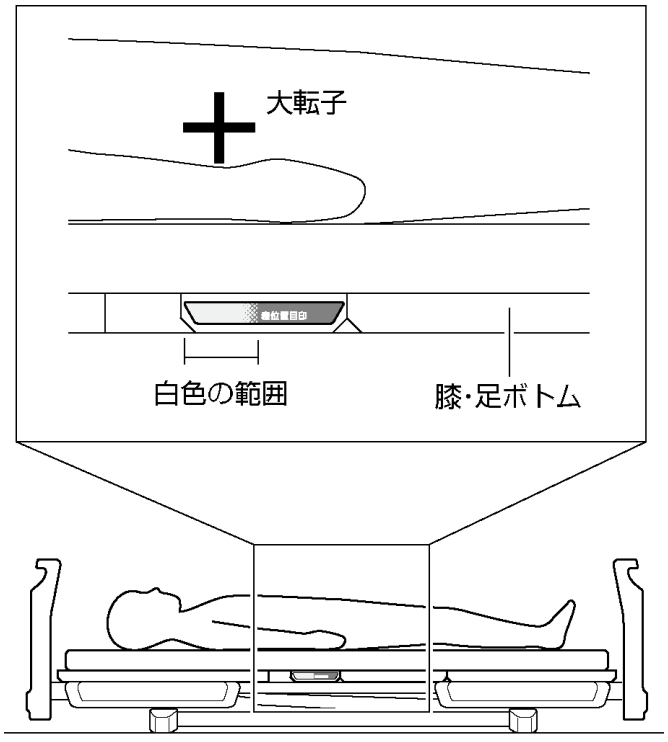
フィットラインボトムは圧迫感やずれを軽減し、より良い姿勢を保つことを目的とした機能です。本製品にはフィットラインボトムが標準で搭載されています。従来製品と比較して、次のようなご使用上の特長があります。

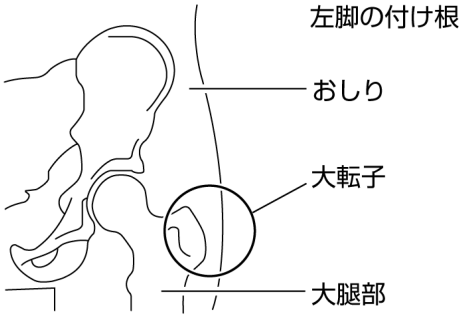
- 背あげ時の圧迫感を軽減します。
- 背あげ時の身体のずれを軽減します。
- 背あげ時の姿勢をしっかり保持します。
- 骨盤が立ち、次の動作をサポートします。

フィットラインボトムの効果を十分に発揮させるため、ご使用になるときは膝・足ボトム（腰側）側面にある寝位置ラベルの白色範囲内に使用する方のおしり（大転子）を合わせてください。

※ 大転子：

足の付け根、大腿骨上方にある大きな突起





手元スイッチの取付位置

⚠ 警告

手元スイッチを使用しないときは、ボードもしくはベッドサイドレールなどの外側に掛けてください。

それ以外の場所に掛けると誤って操作ボタンが押され、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

手元スイッチをベッド内側に掛けた状態で操作しないでください。

ボトムとベッドサイドレールなどのすき間に手（指）をはさまれてけがをしたり、手元スイッチが破損・変形したりするおそれがあります。

手元スイッチの取り扱いに注意してください。

ベッドが誤動作してけがをしたり、故障したりするおそれがります。また、ショートなどによる感電・火災のおそれがあります。

- ぶつけたり、傷つけたりしないでください。
- 落としたり、コードを無理に引っ張ったりしないでください。
- 傷んだ手元スイッチは修理（交換）を依頼してください。

手元スイッチの配線方向について

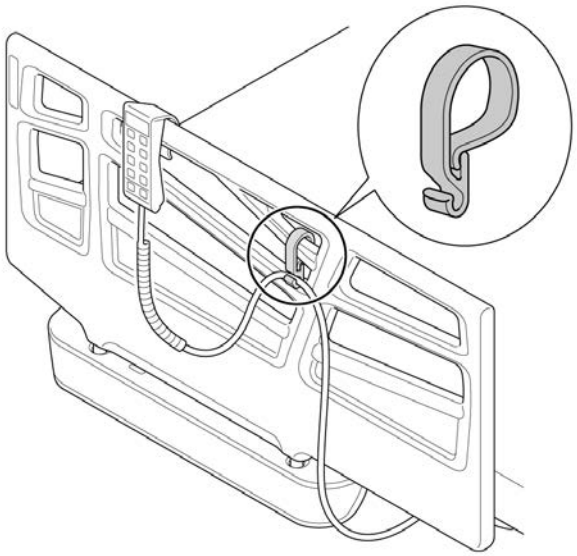
手元スイッチをベッドの左右どちら側で使用するかによって、コードの配線方向が異なります。正しい配線方向に必ず配線してください。

手元スイッチの取付けかた

手元スイッチを使用しないときは、ボードまたはベッドサイドレールなどの外側に手元スイッチのフックを掛けてください。

コードクリップ（付属品）の使いかた

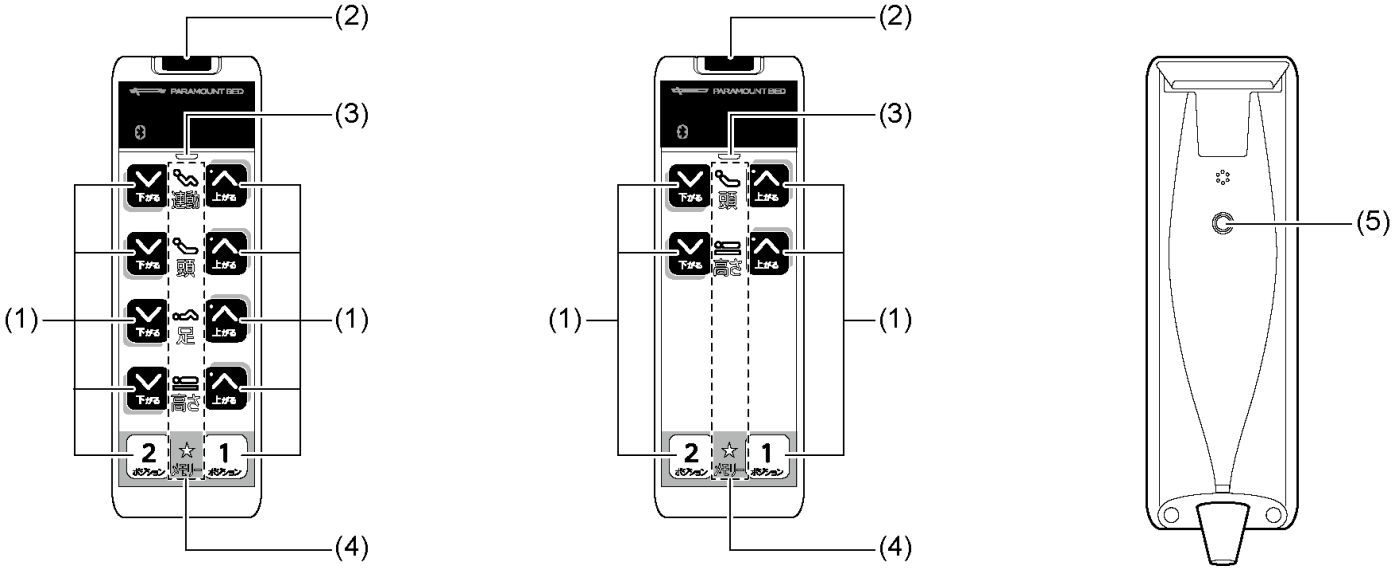
コードクリップを手元スイッチコードに取り付け、ベッドサイドレールなどに引っ掛けることで、コードがゆかに着くことを予防できます。



Note

- コードクリップは、乗り降りの妨げにならない位置に取り付けてください。
- コードクリップは、手元スイッチコードのカール部が常に引っ張られた状態にならない位置に取り付けてください。

操作ボタンと表示ランプ



No.	名　称	説　明
(1)	操作ボタン	ボタンを押すとベッドが動き、ボタンを離すとその位置で止まります。また、同時に 2 つ以上のボタンを押した場合も止まります。 ※ 同時に 2 つ以上のボタンを押して止めた場合、再度操作をするときは一度すべてのボタンから手を離してください。
(2)	呼出ボタン	ボタンを押すとブザー音が鳴ります。 事前にスマートフォン連携を設定した場合は、ブザー音が鳴ると同時にスマートフォンへ通知が送信されます。 ※ スマートフォンとの連携および呼出機能については、JIS 認証範囲外となります。
(3)	電源ランプ	ベッドの通電状態をお知らせします。 点灯（緑）：正常な通電状態 消　　灯　：電源プラグまたは手元スイッチプラグが外れているか、停電や断線などの場合 点滅（橙）：断線や障害物との接触などの異常を表示
(4)	操作選択ランプ	操作ボタンの有効（操作可能）／ロック（操作禁止）をお知らせします。 点灯（白）：操作が可能な状態 消　　灯　：電源が「OFF」になっている。もしくは操作が禁止状態 ※ 一定時間、操作がないと消灯します。手元スイッチを手に持つなど本体に揺れがあると自動で点灯します。
(5)	設定ボタン	操作ボタン（頭あげボタン）と一緒に 3 秒長押しすると各種設定が変更できます。またボタンを長押しすると、BLE 接続を開始します。 ※ お持ちのスマートフォンとベッドとの BLE 接続方法については、QR コードからセットアップガイドを参照してください。

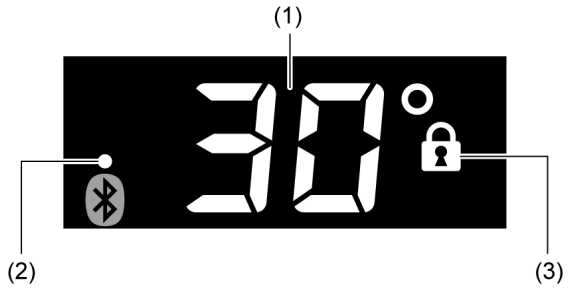
⚠ 警告

ベッドの動作を止めたい場合は手元スイッチの操作ボタンから手を離してください。

ベッドの可動部ではさまれたり、圧迫されたりするなどして、けがをするおそれがあります。

表示パネル付き手元スイッチの使いかた

表示パネル



(1) **角度／高さ表示／エラーコード**

動作中の各ボトムの動作を数字で表示します。

背角度：0°～74°まで 2°間隔で表示し、75°で停止

膝角度：0°～30°まで 2°間隔で表示

高　さ：21cm～65cm まで 2cm 間隔で表示

(2) **BLE 接続表示**

BLE の接続状態を表示します。接続状態の詳細については、専用アプリのヘルプを参照してください。

(3) **操作禁止表示**

操作ボタンがロック（操作禁止）に設定されているときに点滅します。

Note

- 表示される数値（角度・高さ）は目安としてください。
- らくらくモーションや背膝連動の場合、膝角度は表示されません。
- エラーが発生したとき、エラーコードを表示します。
- 脚座を超低床にした場合またはキャスター（KQ-P90C）を取り付けた場合、高さ表示を切りかえできます。

☞ 高さ表示の切りかえ(P.32)

- ハイトスペーサー・キャスター付ハイトスペーサーを取り付けた場合、ボトム上面までの高さが表示されている値より高くなります。

☞ ハイトスペーサー(P.65)

- お持ちのスマートフォンとベッドとの BLE 連携については、下記 QR コードからセットアップガイドを参照してください。スマートフォンとの連携および呼出機能については、JIS 認証範囲外となります。

電源の入れかた

ベッドおよび手元スイッチの電源の入れかたは、自動オフ設定によって異なります。

自動オフ設定が無効の場合（初期状態）

1. 電源プラグをコンセントに差し込む。

手元スイッチの電源ランプが緑色に点灯し、ベッドの操作ができます。

自動オフ設定が有効の場合

1. 電源プラグをコンセントに差し込む。

手元スイッチの電源ランプが緑色に点灯します。

2. 操作ボタンのいずれかを押す。

表示パネルに「On」と表示されます。

操作選択ランプが点灯し、ベッドを動作させる準備ができます。（電源 ON 状態）

Note

電源プラグをコンセントに差し込んだだけでは、手元スイッチの電源は「OFF」の状態です。ベッドの操作や設定を行う場合は、一度操作ボタンまたは呼出ボタンを押して電源「ON」の状態にすると操作できます。

呼出ボタン

呼出ボタン((♪))を使用すると、利用者が家族や介護者の方にブザー音で通知できます。また、家族や介護者がお持ちのスマートフォンに専用アプリケーションをインストールし設定を行うことで、スマートフォン側で BLE 接続を利用した通知を受け取れます。

※ 専用アプリケーションについては下記 QR コードからセットアップガイドを参照してください。

※ スマートフォンとの連携および呼出機能については、JIS 認証範囲外となります。

⚠ 警告

スマートフォンとの連携による通知の呼出機能は緊急時の使用を目的としたものではありません。

- スマートフォンと連携した通知による呼出機能は、BLE の電波が届く範囲に限られています。使用する前に電波が届く範囲を確認してから使用してください。
- スマートフォンの状態によっては通知を受信できないことがあります。

ブザー音の鳴らしかた

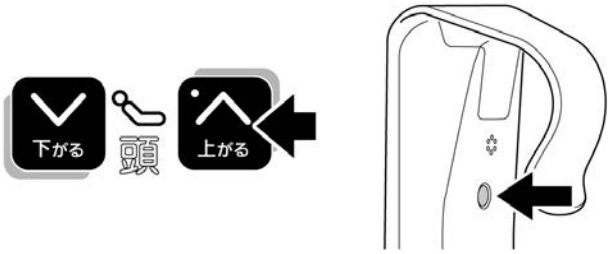
1. 呼出ボタンを 1 回押す。

ブザー音が鳴ります。ベッドとスマートフォンが BLE 接続している場合は、お持ちのスマートフォンにメッセージが送信されます。

呼出しボタンロック（操作禁止）のしかた

1. 頭あげボタンと設定ボタンを同時に 3 秒長押しする。

おもて面の設定選択ランプが点灯します。

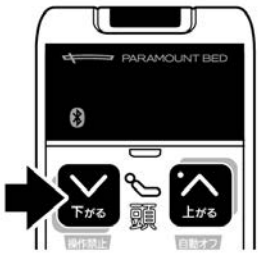


2. 操作禁止ボタンを押す。

操作選択ランプが切りかわります。

ロック状態：消灯

解除状態　：点滅



3. 呼出ボタンを押す。

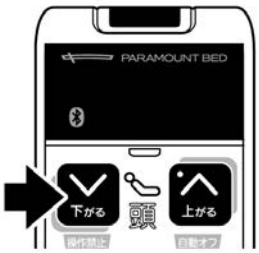
操作選択ランプが切りかわります。

禁止する：点滅→消灯

解除する：消灯→点滅

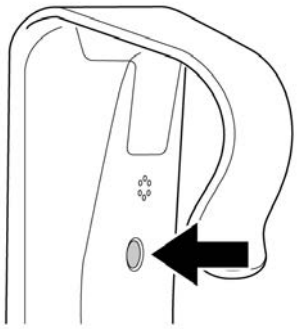
4. 操作禁止ボタンをもう 1 回押す。

設定が完了します。



5. 設定ボタンを再度押す。

設定が確定します。



設定モードへの切りかえ

手元スイッチ裏面の設定ボタンと操作ボタン（頭あげボタン）と一緒に 3 秒長押しすると、操作ボタン（機能選択スイッチ）で各種設定が変更できます。

⚠ 警告

操作が理解できないと思われる方（12 歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください。

操作が理解できないと思われる方が、1 人で手元スイッチを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1 人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。

- 操作禁止ボタンで手元スイッチの操作ボタン（すべての操作ボタンまたは各動作部位の操作ボタン）をロック（操作禁止）する。
- 電源プラグを抜く。

☞ 操作ボタンのロック（操作禁止）(P.29)

設定ボタンを一度押してから、20 秒間ボタン操作が行われない場合は、設定は完了せずに元の設定に戻りますのでご注意ください。

意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

設定変更が完了したら、設定ボタンを再度押して、設定を確定してください。

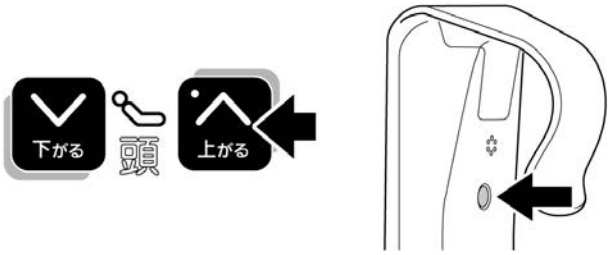
設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

⚠ 注意

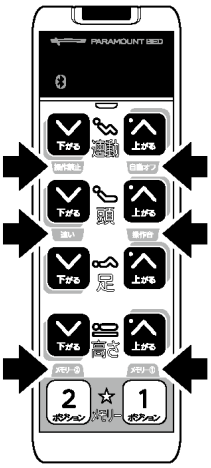
設定ボタンを押すときは、鋭利なものを使用しないでください。

破損の原因となります。

1. 頭あげボタンと設定ボタンを同時に 3 秒長押しする。



2. おもて面の設定選択ランプが点灯します。



3. 操作ボタンで各種設定を行う。

4. 設定ボタンを再度押す。

設定が確定します。

※ 設定ボタンを押さないと変更した設定は確定されません。

ベッドの動作設定（RC10D0）

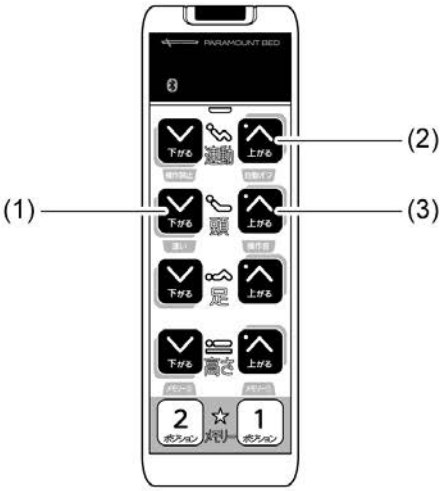
⚠ 警告

設定変更が完了したら、設定ボタンを再度押して、設定を確定してください。

設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

設定モードへ切りかえて、設定を変更してください。各設定の状態によって、設定選択ランプの明るさが変わります。

☞ 設定モードへの切りかえ(P.26)



No.	設定項目	設定内容	設定選択ランプ	初期状態
(1)	ベッドの動作速度の設定	ベッドの動作速度を「普通」と「速い」で切りかえます。 ※ ベッド高さが 36cm（超低床の場合は 30cm）以下では、高さ調節の動作速度は「普通」より低速でさがります。	暗い：普通 明るい：速い	普通
(2)	無操作時の自動オフ設定	手元スイッチを 60 秒間操作しないと、手元スイッチの電源を OFF 状態にできます。電源 OFF のときは、一度操作ボタンを押すと電源 ON になり、ベッドの操作や設定ができます。 ※ 電源プラグを抜いても設定は維持されます。	暗い：無効 明るい：有効	無効
(3)	操作音の設定	操作ボタンを押したときの操作音を「切」と「入」で切りかえます。	暗い：切 明るい：入	入

ベッドの動作設定（RC16D0）

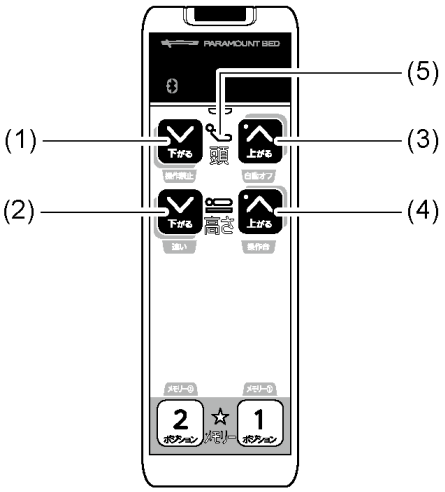
⚠ 警告

設定変更が完了したら、設定ボタンを再度押して、設定を確定してください。

設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

設定モードへ切りかえて、設定を変更してください。各設定の状態によって、設定選択ランプの明るさが変わります。

☞ 設定モードへの切りかえ(P.26)



No.	設定項目	設定内容	設定選択ランプ	初期状態
(1)	ベッド動作の切りかえ	以下のベッドの場合は、ボタンを 3 秒長押しすると、頭ボタンを押したときの動作を「背膝連動（モーター駆動）」と「背あげ」で交互に切りかえます。 ● 足側フレームが QC30＊0F の場合 ● 足側フレームが足側フレーム QC20＊0F に３モーター組み換えキット（KQ-PC00B）を取付けた場合 操作選択ランプ（5）が下記の通り表示されます。 橙点灯：背膝連動（モーター駆動） 消　灯：背あげ	―	背あげ
(2)	ベッドの動作速度の設定	ベッドの動作速度を「普通」と「速い」で切りかえます。 ※ ベッド高さが 36cm（超低床の場合は 30cm）以下では、高さ調節の動作速度は「普通」より低速でさがります。	暗い：普通 明るい：速い	普通
(3)	無操作時の自動オフ設定	手元スイッチを 60 秒間操作しないと、手元スイッチの電源を OFF 状態にできます。電源 OFF のときは、一度操作ボタンを押すと電源 ON になり、ベッドの操作や設定ができます。 ※ 電源プラグを抜いても設定は維持されます。	暗い：無効 明るい：有効	無効
(4)	操作音の設定	操作ボタンを押したときの操作音を「切」と「入」で切りかえます。	暗い：切 明るい：入	入

操作ボタンのロック（操作禁止）

手元スイッチの操作ボタンを使えなくすることができます。

※ 初期状態では、すべての操作が可能になっています。

⚠ 警告

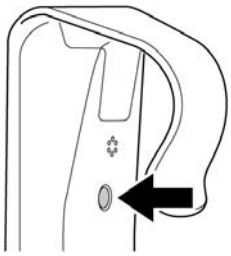
操作ボタンを操作禁止にしても、連動ボタンやメモリーボタンにより、ベッドが動作する場合があります。

意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。必要に応じて、連動ボタンやメモリーボタンも操作禁止に設定してください。

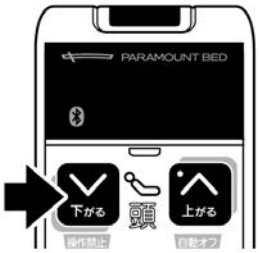
設定変更が完了したら、設定ボタンを再度押して、設定を確定してください。

設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

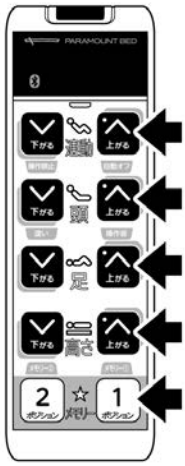
1. 頭あげボタンと設定ボタンを同時に 3 秒長押しする。
おもて面の設定選択ランプが点灯します。



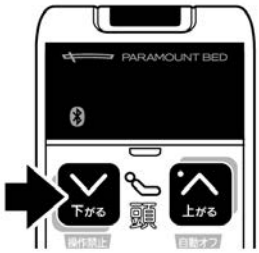
2. 操作禁止ボタンを押す。
操作選択ランプは点滅します。ロックが設定されているボタンは操作選択ランプが消灯します。



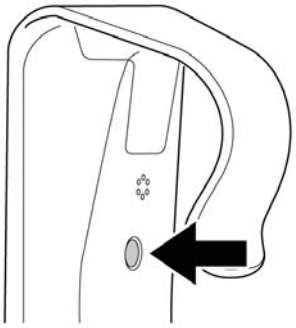
3. 禁止に設定したいボタンの「あがる」ボタンを押す。メモリーを設定したい場合はメモリー1 ボタンを押す。
操作選択ランプが切りかわります。
禁止する：点滅→消灯
解除する：消灯→点滅



4. 操作禁止ボタンを再度押す。
操作選択ランプの点滅が消えます。



5. 設定ボタンを再度押す。
設定が確定します。



Note

呼出ボタンも同様に操作禁止にすることができます。

☞ 呼出ボタン(P.24)

メモリーポジションの登録

メモリーボタンにベッドのポジションを最大 2 個まで登録できます。

⚠ 警告

設定変更が完了したら、設定ボタンを再度押して、設定を確定してください。

設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

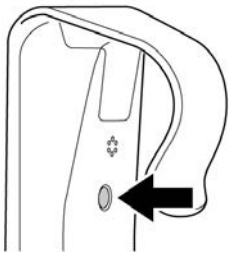
メモリーポジションの設定は、すべてのアクチュエーターをコントロールボックスに差し込んでから行ってください。

意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

1. 登録したいポジションまでベッドを動作させる。

2. 頭あげボタンと設定ボタンを同時に 3 秒長押しする。

おもて面の設定選択ランプが点灯します。

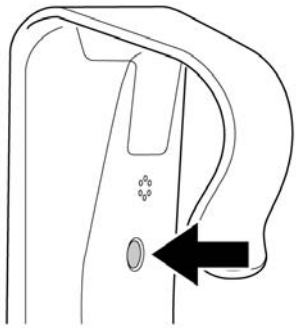


3. 登録したいメモリーボタンを押す。

現在のベッドのポジションが仮登録され、仮登録の数値が表示されます。

4. 仮登録の数値の表示が消えた後に、設定ボタンを押す。

現在のベッドのポジションが登録され、設定が確定します。



Note

仮登録の数値の表示が消えた後に、設定ボタンを押してください。仮登録の数字表示中に押しても設定が確定されません。

メモリーポジションの初期化

メモリーボタンに登録している設定を初期化します。

⚠ 警告

設定変更が完了したら、設定ボタンを再度押して、設定を確定してください。

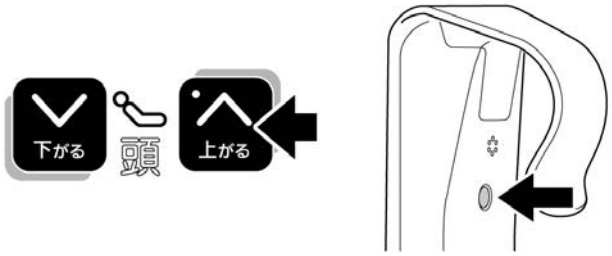
設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

メモリーポジションの設定は、すべてのアクチュエーターをコントロールボックスに差し込んでから行ってください。

意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

1. 頭あげボタンと設定ボタンを同時に 3 秒長押しする。

おもて面の設定選択ランプが点灯します。



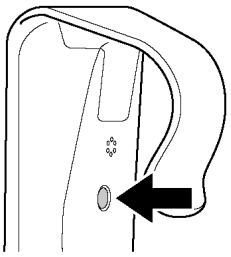
2. 初期化したいメモリーボタンを 3 秒長押しする。

初期設定のポジションが仮登録され、仮登録の数値が表示されます。

☞ 初期設定(P.52)

3. 仮登録の数値の表示が消えた後に、設定ボタンを押す。

初期設定のポジションが登録され、初期化が完了します。



Note

仮登録の数値の表示が消えた後に、設定ボタンを押してください。仮登録の数字表示中に押しても設定が確定されません。

高さ表示の切りかえ

脚座の付けかえによるベッドの高さ（床高）の変更にあわせて、手元スイッチの高さ表示を切りかえることができます。

脚座向き	高さ表示
低床位置（初期状態）	21cm～65cm
超低床位置	15cm～59cm

※ キャスター取付時は、脚座向きが超低床位置の場合と同じベッドの高さとなっています。

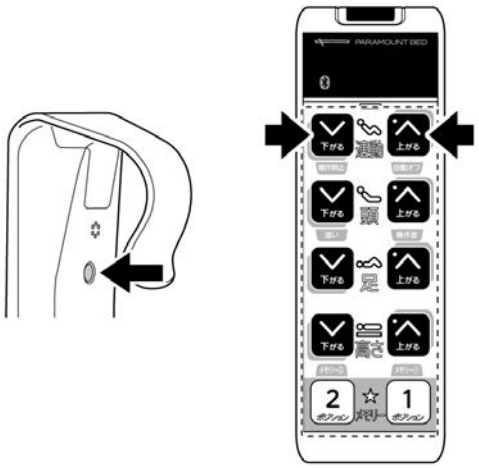
1. 電源プラグをコンセントから抜く。

2. 操作ボタン２ヶ所と設定ボタンを同時に押した状態で、電源プラグをコンセントに差し込む。

ボタンを押したまま３秒以上経過すると、「ピー」と音が鳴り、高さ表示が切りかわります。

※ 「ピピッ」と音が鳴りますが、ボタンを離さないでください。

※ エラーコード（U0）が表示されますが、故障ではありません。



3. 高さ表示が切りかわっていることを確認する。

Note

高さ表示を戻す場合は、設定の初期化を行ってください。

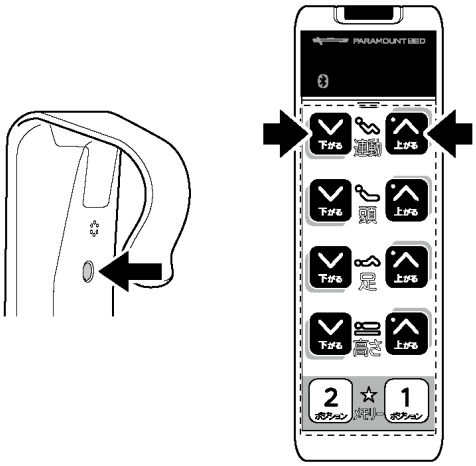
☞ 設定の初期化(P.32)

設定の初期化

設定内容をすべて初期状態に戻すことができます。

1. 設定モードにしていない状態で、操作ボタン 2 ヶ所と設定ボタンを同時に 3 秒以上押す。

設定が初期状態になります。



初期状態（RC10D0）

設定	状態
操作禁止	すべての操作が可能
速さ	普通
自動オフ	無効
操作音	入
メモリー1	背：30°　膝：6° 高さ：動作なし
メモリー2	背：0°　膝：0° 高さ：動作なし

初期状態（RC16D0）

設定	状態
操作禁止	すべての操作が可能
速さ	普通
ベッド動作※	背あげ
自動オフ	無効
操作音	入
メモリー1	背：30°　膝・高さ：動作なし
メモリー2	背：0°　膝・高さ：動作なし

※ 下記のベッドのみ設定ができます。

- 足側フレームが QC30＊0F のベッド
- 足側フレームが QC20＊0F にモーター組み換えキット（KQ-PC00B：別売）を取り付けたベッド

Note

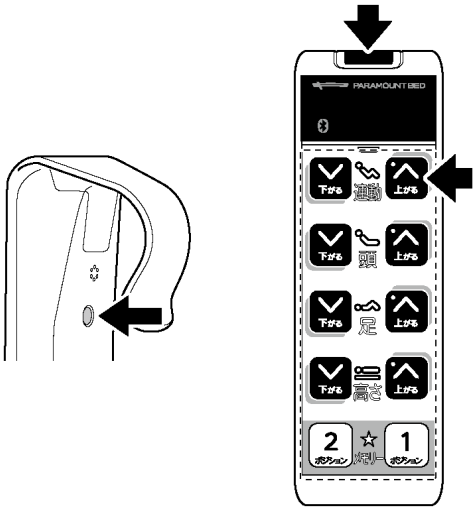
- 停電時や電源プラグ、手元スイッチプラグを抜いた場合も、機能選択ボタンで設定した内容は取消されません。
- 高さ表示を切りかえた場合は、高さ表示も初期化されます。（初期状態：21cm～65cm）

オールリセット

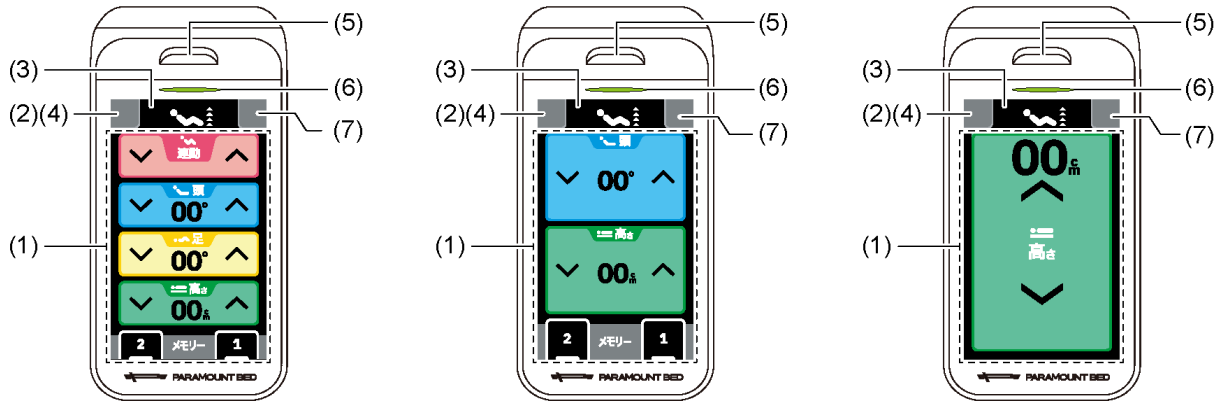
スマートフォンの接続情報や履歴情報の削除を含む、すべての設定を初期化できます。ベッドを返却する際や手放す際は、必ずオールリセットを行ってください。

1. 設定モードにしていない状態で、操作ボタン 1 ヶ所・呼出ボタン・設定ボタンを同時に３秒以上押す。

「ピー」と音が鳴り、設定がすべてリセットされます。



操作ボタンと表示ランプ



No.	名　称	説　明
(1)	操作ボタン	● ボタンをタッチし続けている間は手元スイッチが振動しつつ、ベッドが動き、ボタンを離すとその位置で止まります。また、画面と天面ボタンを同時に押した場合も止まります。 ※ ベッド動作中に天面ボタンを押して、動作を止めた場合、再度操作をするときは一度すべてのボタンから手を離してください。 ● 動作中の各ボトムの動作を数字で表示します。表示される数値（角度・高さ）は目安としてください。 背角度：0°～75°まで 1°間隔で表示 膝角度：0°～30°まで 1°間隔で表示 高　さ：21cm～65cm まで 1cm 間隔で表示 ● ロック（操作禁止）に設定されている操作ボタンは表示されません。 ● エラーが発生したとき、エラーコードを表示します。
(2)	設定ボタン	設定ボタンをタッチしながら、天面ボタンを押すと設定画面を表示します。 ※ 「呼出」の設定で「画面ボタンを ON」にすることで、「設定ボタン」から「呼出画面の表示ボタン」に切り替わります。
(3)	BLE 接続表示	BLE の接続状態を表示します。接続状態の詳細については、専用アプリのヘルプを参照してください。
(4)	インフォメーション画面表示	設定ボタンをタッチし続けている間は、インフォメーション画面とメッセージを表示します。
(5)	天面ボタン	初期状態は点灯/消灯ボタンとして使用します。 「呼出」の設定で「天面ボタンを ON」にすることで、「呼出しボタン」として使用することもできます。 ベッド動作中に押すと、動作が停止します。再度操作するときは一度すべてのボタンから手を離してください。

No.	名　称	説　明
(6)	電源ランプ	ベッドの通電状態をお知らせします。 点灯（緑）：正常 消　　灯　：電源プラグまたは手元スイッチプラグが外れているか、停電や断線などの場合 点滅（橙）：断線や障害物との接触などの異常の場合
(7)	操作画面切替ボタン	初期状態はボタンが表示されません。 「画面表示」の「ベッド操作画面」設定で 2 種類のベッド操作画面を有効にすると表示されます。

⚠ 警告

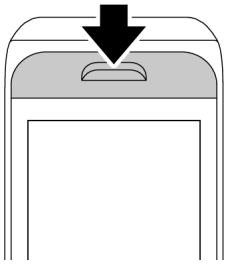
ベッドの動作を止めたい場合は、操作ボタンから指を離してください。ベッドの可動部ではさまれたり、圧迫されたりするなどして、けがをするおそれがあります。

画面の表示／ロック解除

表示のしかた

液晶タッチパネルが消灯したときは、以下の方法で表示できます。

- 天面ボタンを押す。
- 液晶タッチパネルをタッチする。
- 手元スイッチ本体を持ちあげる。



液晶タッチパネルが表示されているときは、以下の方法で消灯できます。

- 天面ボタンを押す。(天面ボタンの呼出機能を ON にした場合は、消灯しません)
- 設定した消灯時間が経過する。

画面ロックの解除

誤動作を防ぐために、画面ロックを設定できます。画面を 3 秒長押しすると、画面ロックを解除できます。

※ 画面ロック設定/解除は「画面表示設定」から設定できます。

☞ 画面表示設定(P.41)

設定画面の表示のしかた

⚠ 警 告

操作が理解できないと思われる方(12 歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください。

操作が理解できないと思われる方が、1 人で手元スイッチを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1 人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。

- 操作ボタンをロック（操作禁止）する。
- 電源プラグを抜く。

☞ 操作ボタンのロック（操作禁止）(P.44)

⚠ 注 意

液晶タッチパネルをタッチするときは、鋭利なものを使用しないでください。

破損のおそれがあります。

1. 設定ボタンをタッチしながら、天面ボタンを押す。

設定画面が表示されます。

設定項目	設定内容
ベッド操作	ベッドの各動作を設定します。 ☞ ベッド操作設定(P.38)
呼出	呼出しボタンを登録できます。 ☞ 呼出設定(P.40)
画面表示	各画面表示を設定できます。 ☞ 画面表示設定(P.41)
アプリ連携	お手持ちのスマートフォンと連携させ専用アプリを使用することができます。 下記 QR コードからセットアップガイドを参照してください。
デバイス情報	「高さ表示の切りかえ」「設定の初期化」「操作履歴」の確認「エラー履歴」の確認ができます。 ☞ 高さ表示の切りかえ(P.46) ☞ 設定の初期化(P.47) ☞ 操作履歴(P.37) ☞ エラー履歴(P.37)

操作履歴

ベッドの操作履歴として、操作回数、部位別の使用割合、使用頻度の高い姿勢を確認することができます。

エラー履歴

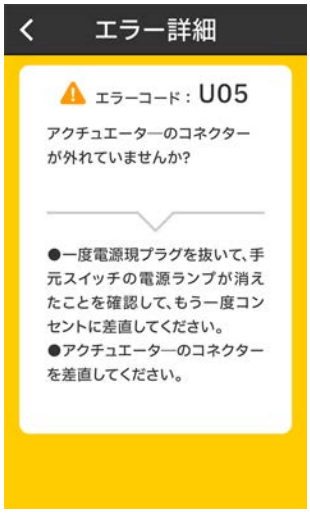
最新 8 件のエラー履歴を確認することができます。

1. 設定ボタンを押しながら、天面ボタンを押す。
設定画面が表示されます。

2. [デバイス状態]をタッチする。

3. [エラー履歴]をタッチする。

4. 確認したい[エラー情報]をタッチする。
エラー詳細が表示されます。



ベッド操作設定

ベッドの各動作を設定します。

設定項目	設定内容
動作速度	ベッドの動作速度を「ふつう」と「速い」で切りかえます。
操作音	● 操作音を「ブザー」「音声」から選択します。 ● 操作音の音量を 6 段階から設定します。
操作禁止	操作ボタンのロック（操作禁止）を設定します。 ※ ロック（操作禁止）にした操作ボタンは表示されません。 ☞ 操作ボタンのロック（操作禁止）(P.44)
操作範囲	● 各操作ボタンの操作範囲（上限・下限）を設定します。 ※ 操作範囲設定値から 1～3°/cm ずれて止まる可能性があります。動作に応じて、設定を調整してください。
メモリー登録	ベッドのポジションを最大 2 個まで登録します。 ※ 2 ボタンタイプ（RC5200／RC5200H）ではメモリー登録機能はありません。 ☞ メモリーポジションの登録(P.45)
動作切替（RC5600 のみ）	以下のベッドの場合は、頭ボタンを押したときの動作を「背あげ」と「背膝連動」で切りかえます。 ● 足側フレームが QC30＊0F の場合 ● 足側フレームが足側フレーム QC20＊0F に３モーター組み換えキット（KQ-PC00B）を取り付けた場合

※ 画面左上の「<」ボタンを押さないと変更した設定は確定されません。

初期状態

設定項目	スイッチ品番		
	RC5000	RC5600	RC5200/RC5200H
動作速度	ふつう	ふつう	ふつう
操作音	ブザー 音量 2	ブザー 音量 2	ブザー 音量 2
操作禁止	すべての操作が可能	すべての操作が可能	すべての操作が可能
操作範囲	無効	無効	無効
メモリー1	背：30° 膝：6°　高さ：動作なし	背：30° 膝・高さ：動作なし	―
メモリー2	背：0° 膝：0°　高さ：動作なし	背：0° 膝・高さ：動作なし	―
動作切替	―	背あげ	―

呼出設定

呼出ボタンとして最大 3 個（天面ボタン・画面ボタン 2 個）まで登録できます。

呼出ボタンを使用すると、利用者が家族や介護者の方にブザー音で通知できます。また、家族や介護者がお持ちのスマートフォンに専用アプリケーションをインストールし設定を行うことで、スマートフォン側で通知を受け取ることができます。

※ 専用アプリケーションについては下記 QR コードからセットアップガイドを参照してください。

※ スマートフォンとの連携および呼出機能については、JIS 認証範囲外となります。

⚠ 警告

スマートフォンとの連携による通知の呼出機能は緊急時の使用を目的としたものではありません。

- スマートフォンと連携した通知による呼出機能は、BLE の電波が届く範囲に限られています。使用する前に電波が届く範囲を確認してから使用してください。
- スマートフォンの状態によっては通知を受信できないことがあります。

設定項目	設定内容	初期設定
ON/OFF	呼出ボタンの登録を「ON」と「OFF」で切りかえます。	OFF
音量	サウンドの音量を 6 段階で設定します。	2
サウンド	サウンドを 6 種類から設定します。	ブザー
鳴動時間	サウンドの鳴動時間を 5 種類から設定します。	5 秒
メッセージ	専用アプリケーションをインストールしたスマートフォンに通知するメッセージを 6 種類から設定します。	呼出

※ 画面左上の「<」ボタンを押さないと変更した設定は確定されません。

画面表示設定

液晶タッチパネルの各画面表示を設定します。

設定項目	設定内容	初期設定
明るさ	画面の明るさを 5 段階で設定します。	3
消灯時間	手元スイッチの操作が無くなってから画面が消灯するまでの時間を設定します。	30 秒
画面ロック	画面ロックを「ON」と「OFF」で切りかえます。	OFF
起動画面	画面を起動させたときに、はじめに表示される画面を設定します。	ベッド操作（標準）
ベッド操作画面	● 表示されるベッド操作画面を「標準」と「シンプル」から選択できます。 ● 「シンプル」では、選択した 1 種類のボタンを大きく表示します。 ※ 1 モーター機種（RC5200／RC5200H）の場合、ベッド操作画面設定はありません。	標準

※ 画面左上の「<」ボタンを押さないと変更した設定は確定されません。

呼出ボタンの登録

呼出ボタンを使用すると、利用者が家族や介護者の方にブザー音で通知できます。また、家族や介護者がお持ちのスマートフォンに専用アプリケーションをインストールし設定を行うことで、スマートフォン側で通知を受け取ることができます。

※ スマートフォンとの連携および呼出機能については、JIS 認証範囲外となります。

※ 天面ボタンを呼出ボタンとして使用する場合は、画面消灯機能は無効になります。

⚠ 警告

スマートフォンとの連携による通知の呼出機能は緊急時の使用を目的としたものではありません。

- スマートフォンと連携した通知による呼出機能は、BLE の電波が届く範囲に限られています。使用する前に電波が届く範囲を確認してから使用してください。
- スマートフォンの状態によっては通知を受信できないことがあります。

登録のしかた

呼出ボタンとして最大 3 個（天面ボタン・画面ボタン 2 個）まで登録できます。

1. 設定ボタンをタッチしながら、天面ボタンを押す。設定画面が表示されます。

2. [呼出]をタッチする。

3. 呼出ボタンとして登録したいボタンをタッチする。

4. [ON]をタッチする。必要に応じて、「音量」「サウンド」「鳴動時間」「メッセージ」を変更する。

5. 画面左上の「<」ボタンを押す。

※ 画面左上の「<」ボタンを押さないと変更した設定は確定されません。

※ 呼出ボタンが登録されると、呼出画面が表示されます。

※ 天面ボタンのみ呼出で使用する場合は、呼出画面は表示されません。

※ ベッド操作画面に戻る場合は[ベッド操作へ戻る]をタッチしてください。

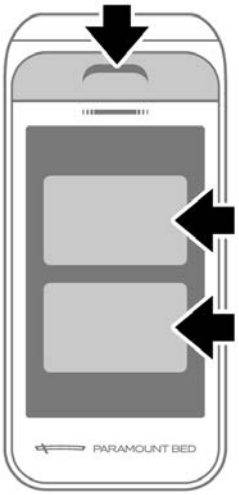
Note

呼出ボタンを登録すると、ベッド操作画面の設定アイコンが呼出アイコンに変わります。

呼出ボタンの使いかた

1. 呼出ボタンを 1 回押す。

呼出音が鳴り、呼出中画面が表示されます。お持ちのスマートフォンで専用アプリケーションをインストールしベッドが登録されている場合は、スマートフォンにメッセージが表示されます。



呼出中

操作ボタンのロック（操作禁止）

手元スイッチの操作ボタンを非表示にすることができます。

※ 初期状態では、すべての操作が可能になっています。

⚠ 警告

操作ボタンを操作禁止にしても、連動ボタンやメモリーボタンにより、ベッドが動作する場合があります。

意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。必要に応じて、連動ボタンやメモリーボタンも操作禁止に設定してください。

1. 設定ボタンをタッチしながら、天面ボタンを押す。
設定画面が表示されます。

2. [ベッド操作]をタッチする。

3. [操作禁止]をタッチする。

4. ロック（操作禁止）する動作のONをタッチする。

5. 画面左上の「<」ボタンを押す。

※ 画面左上の「<」ボタンを押さないと変更した設定は確定されません。

※ ロック（操作禁止）にした操作ボタンは画面に表示されません。

メモリーポジションの登録

メモリーボタンにベッドのポジションを最大 2 個まで登録できます。

⚠ 警告

メモリーポジションの設定は、すべてのアクチュエーターをコントロールボックスに差し込んでから行ってください。

意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

1. 登録したいポジションまでベッドを動作させる。
2. 設定ボタンをタッチしながら、天面ボタンを押す。
   設定画面が表示されます。

3. [ベッド操作]をタッチする。
4. [メモリー登録]をタッチする。
5. 登録したいメモリーボタンの[変更]をタッチする。

6. [決定]をタッチする。
   現在のポジションが登録されます。

高さ表示の切りかえ

脚座の付けかえや脚座オプションの使用によるベッドの高さ（床高）の変更にあわせて、手元スイッチの高さ表示を切りかえることができます。

脚座向き	高さ表示
低床位置（初期状態）	21cm～65cm
超低床位置	15cm～59cm

※ キャスター取付時は、脚座向きが超低床位置の場合と同じベッドの高さとなっています。

1. 設定ボタンをタッチしながら、天面ボタンを押す。
設定画面が表示されます。

2. [デバイス情報]をタッチする。

3. [高さ表示切替]をタッチする。

4. 表示したい高さ表示をタッチする。
高さ表示が切りかわります。

5. 画面左上の「<」ボタンを押す。

※ 画面左上の「<」ボタンを押さないと変更した設定は確定されません。

6. 高さ表示が切りかわっていることを確認する。

Note

キャスターなど脚座オプションを使用している場合は、手元スイッチ内の画像を確認してください。

設定の初期化

設定内容をすべて初期状態に戻すことができます。

1. 設定ボタンをタッチしながら、天面ボタンを押す。
設定画面が表示されます。

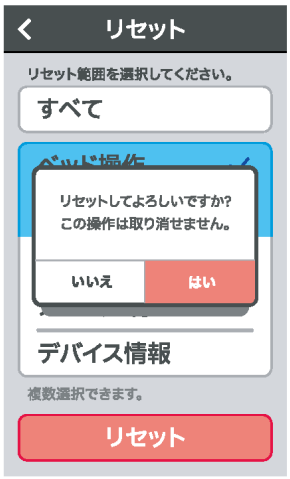
2. [デバイス情報]をタッチする。

3. [リセット]をタッチする。

4. 初期化したい項目を選択し、[リセット]をタッチする。

※ 項目は複数選択できます。

5. [はい]をタッチする。
設定が初期状態になります。



オールリセット

[すべて]を選択すると、スマートフォンの接続情報や履歴情報の削除を含む、すべての設定を初期化できます。ベッドを返却する際や手放すときは、必ずオールリセットを行ってください。

Note

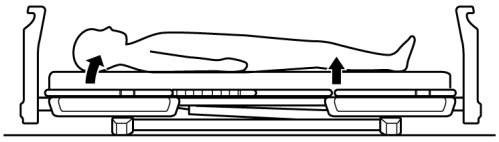
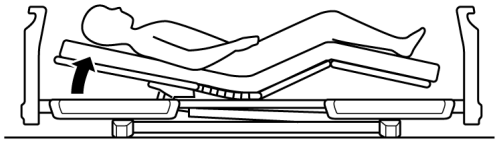
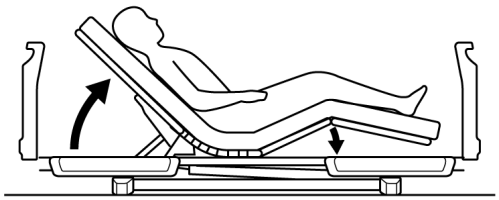
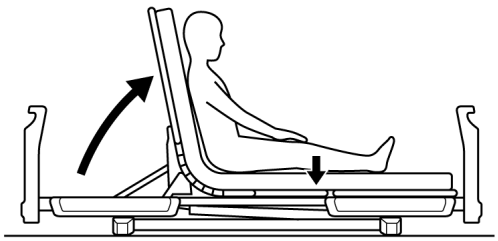
- 停電時や電源プラグ、手元スイッチプラグを抜いた場合、設定画面で設定した内容は取り消されません。
- 高さ表示も初期化されます。（初期状態：21cm～65cm）

ベッドの操作のしかた

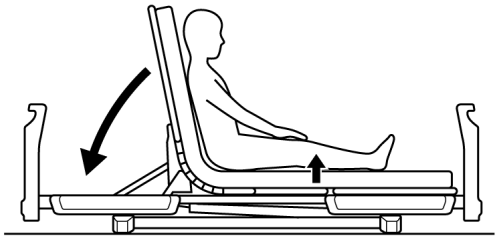
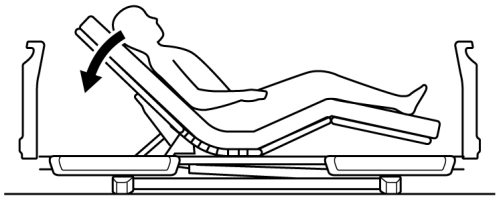
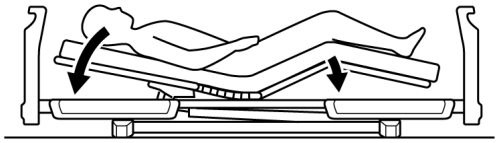
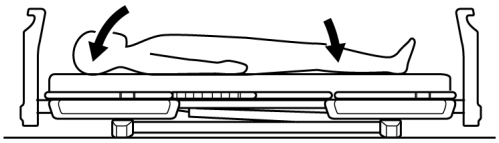
らくらくモーション

背ボトムの動作と連動して、膝・足ボトムが自動で動作します。

背あげ操作

	(1) 連動あげボタンを押すと、背と膝が同時にあがり始める。
	(2) 膝が最大角度まであがると停止し、背はそのままあがる。
	(3) 背はそのままあがり、膝がさがり始める。
	(4) 背が最大角度になるタイミングで、膝が 0°までさがる。

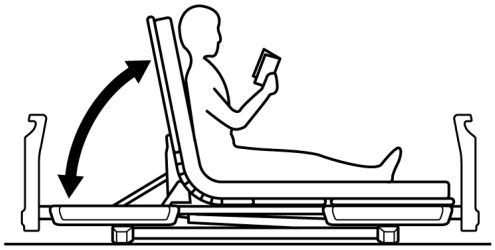
背さげ操作

	(1) 連動さげボタンを押すと、背がさがり始めるのとほぼ同時に膝があがり始める。
	(2) 膝が最大角度まであがると停止し、背はそのままさがる。
	(3) 背はそのままさがり、膝がさがり始める。
	(4) 背と膝が連動して、ほぼ同時に 0°までさがる。

背あげ／背さげ

背ボトムの角度を調節できます。

動作範囲：0°～75°



背あげ操作

頭あげボタンを押すと、背があがる。ボタンを離すと、背はその位置で止まる。

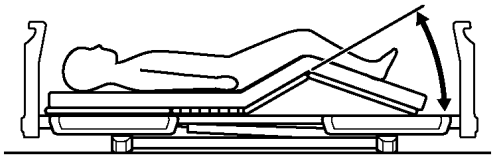
背さげ操作

頭さげボタンを押すと、背がさがる。ボタンを離すと、背はその位置で止まる。

膝あげ／膝さげ

膝・足ボトムの角度を調節できます。

動作範囲：0°～30°



膝あげ操作

足あげボタンを押すと、膝があがる。ボタンを離すと、膝はその位置で止まる。

膝さげ操作

足さげボタンを押すと、膝がさがる。ボタンを離すと、膝はその位置で止まる。

Note

手動で膝・足ボトム（足側）先端の角度を 2 段階に切りかえることができます。

☞ 足先角度の切りかえかた(P.56)

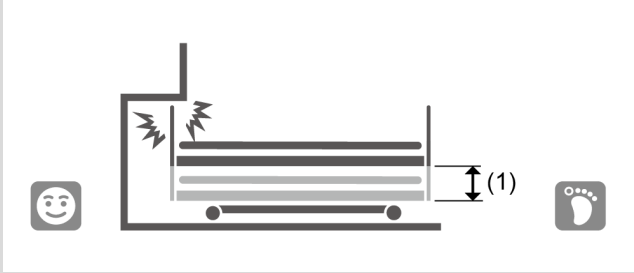
高さ調節

ゆかからベッドのボトム上面までの高さ（床高）を調節できます。

⚠注意

高さ調節をするときは、壁や梁、壁のコンセントに気をつけてください。

ベッドや壁などが破損・変形するおそれがあります。ベッドは高さ調節操作で上下に 43.5cm（1）動きます。ご使用のときには、ベッド動作でベッドが壁や梁、電源プラグに当たらないことを確認してください。



動作範囲：
21cm～64.5cm（低床）／15cm～58.5cm（超低床）

※ 表示される数値は、高さが 58.5cm のときは「59」、64.5cm のときは「65」となります。

※ ハイトスペーサーやキャスター付ハイトスペーサーを取り付けた場合は、床高は表示される数値より高くなります。

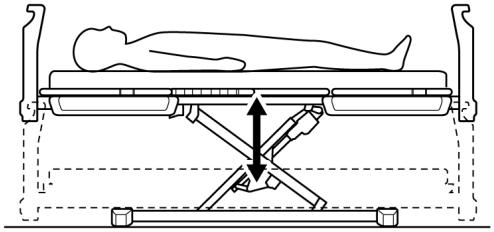
※ 脚座を取り付けた場合やキャスターを取り付けた場合は、表示される数値を切りかえることができます。

表示パネル付き手元スイッチ

☞ 高さ表示の切りかえ(P.32)

液晶タッチパネル付き手元スイッチ

☞ 高さ表示の切りかえ(P.46)



高さあげ操作

高さあげボタンを押すと、ベッドの高さがあがる。ボタンを離すと、ベッドがその位置で止まる。

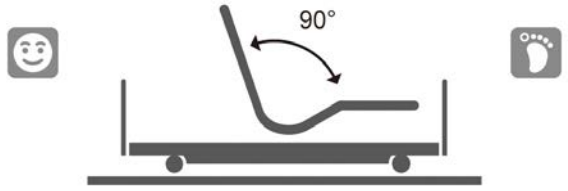
高ささげ操作

1. 高ささげボタンを押すと、ベッドの高さがさがる。ボタンを離すと、ベッドがその位置で止まる。ボタンを押していても床高が 36cm（超低床の場合は 30cm）になると「ピピッ」と鳴って一旦停止する。
2. ボタンを離し、再びボタンを押すと「ピピッ」と警告音を鳴らしながら、最低高さまでさがる。最低高さに近づくにつれて、警告音の鳴る間隔が短くなる。

Note

- 床高 36cm（超低床の場合は 30cm）以下の場合は、動作速度「普通」より低速でさがります。
- 床高 36cm（超低床の場合は 30cm）以下で使用しているベッドをさげる場合（低床動作）は、一旦停止せずに 21cm（最低高さ）までさがります。
- 安全のため、警告音は切ることができません。

角度制限機能



胸部や腹部にかかる圧迫感を軽減するため、背ボトムと膝・足ボトムの間の角度が90°より小さくならないように自動的に動作します。

Note

- 安全のため、角度制限機能は解除できません。
- 頭・足のボタン操作を禁止にしている場合でも、角度制限機能による自動動作で背ボトムと膝・足ボトムは動きます。

メモリーポジション

あらかじめ設定したポジションに向けて、ベッドが動作します。

メモリーボタン操作

ボタンを押している間は動作を続け、離すとその位置で止まる。メモリーポジションの位置になると「ピピッ」と音が鳴り、ベッドが停止する。

※ ベッドの高さ（床高）を設定する場合は、脚座の取付状態（低床・超低床）を確認してください。

Note

メモリーポジションを床高36cm（超低床の場合は30cm）より低く登録している場合は、動作中に床高が36cm（超低床の場合は30cm）になると「ピピッ」と鳴って一旦停止します。メモリーボタンから一度手を離し、再度押すと「ピピッ」と警告音を鳴らしながら動作します。

初期設定

メモリーポジションには、あらかじめ初期設定が登録されています。お好みのポジションを登録することもできます。

	登録ポジション
メモリー1	背あげ：30°　膝あげ：6° 高さ調節：動作なし
メモリー2	背あげ：0°　膝あげ：0° 高さ調節：動作なし

※ 初期設定ではメモリーボタンを押しても高さ調節はしません。

※ 膝あげ動作は、手元スイッチ（RC10D0･RC5000）になります。

表示パネル付き手元スイッチ

☞ メモリーポジションの登録(P.30)

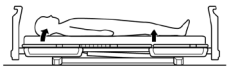
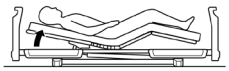
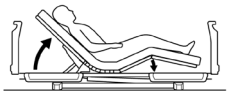
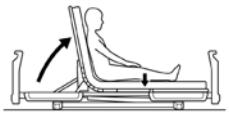
液晶タッチパネル付き手元スイッチ

☞ メモリーポジションの登録(P.45)

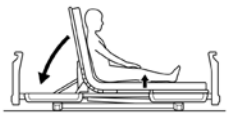
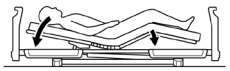
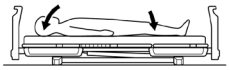
背膝連動

足側フレームが QC30＊0F のベッド、または足側フレーム QC20＊0F のベッドにオプションの３モーター組み換えキット（KQ-PC00B）を取り付けた場合は、背ボトムの動作と連動して、膝・足ボトムが自動で動作します。３モーター組み換えキット（KQ-PC00B）の取付方法は、取扱説明書を参照してください。

背膝連動による背あげ操作

	(1) 頭あげボタンを押すと、背と膝が同時にあがり始める。
	(2) 膝が最大角度まであがると停止し、背はそのままあがる。
	(3) 背はそのままあがり、膝がさがり始める。
	(4) 背が最大角度になるタイミングで、膝が0°までさがる。

背膝連動による背さげ操作

	(1) 背がさがり始めるのとほぼ同時に膝があがり始める。
	(2) 膝が最大角度まであがると停止し、背はそのままさがる。
	(3) 背はそのままさがり、膝がさがり始める。
	(4) 背と膝が連動して、ほぼ同時に0°までさがる。

背膝連動には 2 種類あります。

背膝連動（背膝連動幹）

背膝連動幹の切換金具の操作により、背あげ時の膝の動作の切りかえができます。背を 75°まであげたときに膝が 14°まであがります。

背膝連動（モーター駆動）

下記のベッドの場合は、背あげ動作に連動して膝の角度が 20°まで動作します。

- 足側フレームが QC30＊0F のベッド
- 足側フレームが QC20＊0F にモーター組み換えキット（KQ-PC00B：別売）を取り付けたベッド

背膝連動／背あげの切りかえ

※ この操作は背膝連動（背膝連動幹）の場合のみ行います。

⚠ 警告

背膝連動/背あげの切りかえ操作を行うときは、すべてのボトムをさげた状態で作業してください。

けがをするおそれがあります。

ベッド動作中にフレームに手を入れないでください。

けがをするおそれがあります。

1. 背ボトムと膝・足ボトムを一番下までさげる。

2. ベッドを作業しやすい高さまであげる。

※ ベッドの高さをあげても操作しにくい場合は、膝・足ボトムを取り外してください。

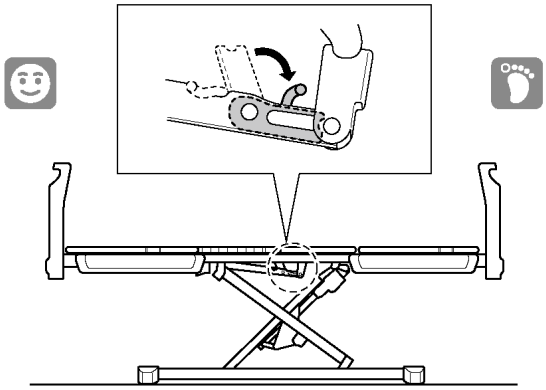
3. 電源プラグをコンセントから抜く。

4. 切換金具を操作して、「背膝連動」もしくは「背あげ」に設定する。

背膝連動

切換金具を足側に倒す。

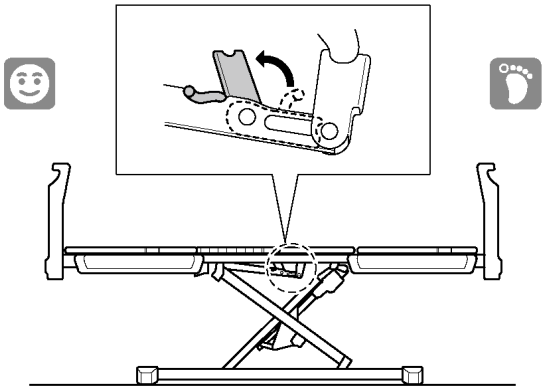
※ 切換金具が背膝連動幹の中に確実に収まっているか確認してください。



背あげ動作のみ

切換金具を頭側にあげる。

※ 切換金具が背膝連動幹の溝に確実に入っているか確認してください。

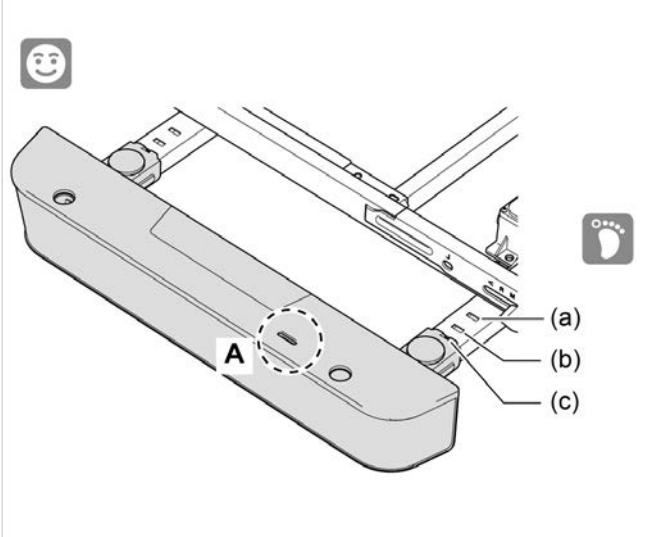


5. 電源プラグをコンセントに差し込む。

オプション受の使いかた

オプション受 4 ヶ所（頭側・足側の左右各 1 ヶ所）のオプション取付穴にベッドサイドレールやベッド用グリップなどを取り付けることができます。

使いかた



オプション受の位置には「使用位置」と「格納位置」の状態があります。

表に従って、適切な位置に調節してください。

	マットレス幅 83cm	マットレス幅 91cm
使用位置	(b)	(c)
格納位置	(a)	(a)(b)

- 車いすなどをベッドに近づけたいときや、ベッドの設置スペースを小さくしたいときは（a）の位置にしてください。
- 格納位置でベッドサイドレールなどを取り付けて使用しないでください。
- マットレス幅 83cm は（c）の位置で使用しないでください。
- オプション受には左右があります。オプション受を取り外してしまった場合は、オプション受のスリット（A）をボード側に向けて取り付けてください。

位置の調節手順

⚠ 警告

オプション受は、オプション受のツメを本体の四角い穴に入れ、ノブナットでしっかりと固定した状態で使用してください。

オプション受ががたついたり外れたりして、けがをするおそれがあります。

オプション受は、マットレス幅（83cm/91cm）にあわせて、正しい位置・正しい向きに設定してください。

誤った位置や向きで使用すると、ベッドとベッドサイドレール･ベッド用グリップなどの間に意図せぬすき間ができ、はさまれてけがをするおそれがあります。

格納位置に設定したオプション受には、サイドレール･ベッド用グリップなどのオプションを取り付けないでください。

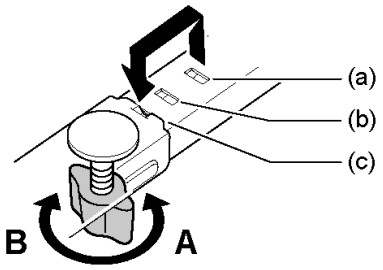
背ボトムが不意に落下してけがをしたり、手や腕などをはさまれてけがをするおそれがあります。

⚠ 注意

オプション受の位置を調節するときは、手・指をはさまないように注意してください。

けがをするおそれがあります。

1. オプション受を固定しているノブナットをゆるめる。（1 つのオプション受につき 2 ヶ所）
2. オプション受を引きあげながらマットレス幅に合わせた使用位置にスライドさせ、四角い穴にツメを入れる。
3. ノブナットをしっかりと締め付ける。(A：しまる B：ゆるむ)



足先角度の切りかえかた

足あげステーを使用して、膝あげ時の足先の角度を 2 段階に切りかえることができます。足先さげの状態にすると、膝・足ボトム（足側）の先端がさがった状態で（ベッドフレームに沿って）膝あげ動作をします。足先あげの状態にすると、膝・足ボトム（足側）の先端があがった状態で膝あげ動作をします。

⚠ 注 意

足先あげ状態にするときは、足ボトムステーをステー受に確実に載せてください。

載せかたが不十分な場合や、間違った場所に載せた場合は、膝・足ボトムが不意に落下してけがをしたり、膝あげ動作のときにベッドが破損したりするおそれがあります。

足先の角度を切りかえるときは、手や腕などをはさまないよう注意して行ってください。

手や腕などをはさまれて、けがをするおそれがあります。

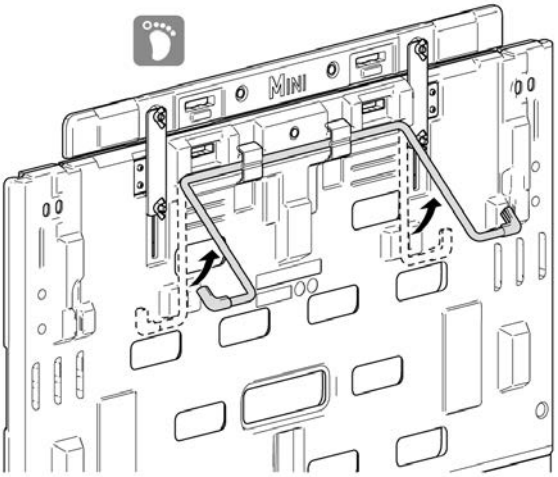
ベッドを使用中の場合は、ベッドを使用している方にベッドから降りていただき、作業を行ってください。

手や腕などをはさまれて、けがをするおそれがあります。

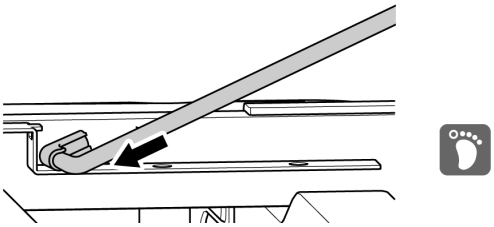
足先あげにするとき

1. 膝・足ボトム（足側）を持ちあげる。

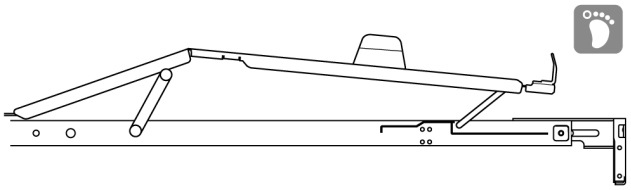
2. 膝・足ボトム（足側）の裏側にある足ボトムステーを凹み（2 ヶ所）から外す。



3. 足ボトムステーをベッドフレームのステー受に載せて、膝・足ボトム（足側）を降ろす。

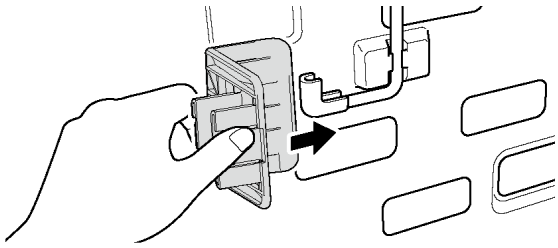


足先あげ状態



Note

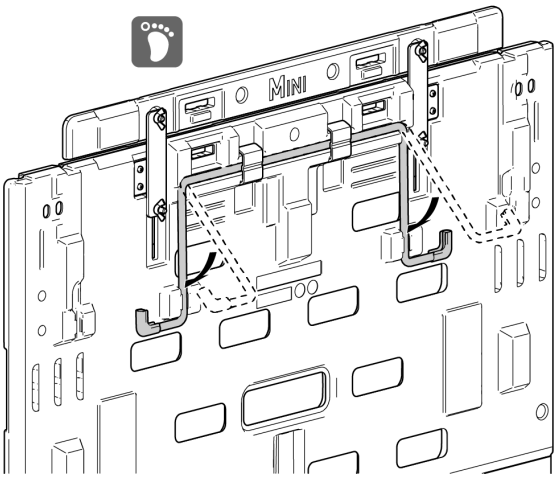
- 足ボトムステーが外しにくい場合は、マットレス止め（大）を足ボトムステー（先端部）に差し込み、押し込んでください。



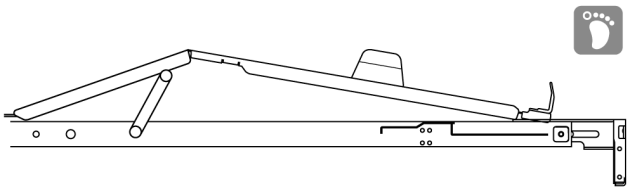
- 足ボトムステーが左右ともステー受に、確実に載っていることを確認してください。

足先さげにするとき

1. 膝・足ボトム（足側）を持ちあげる。
2. 足ボトムステーを膝・足ボトム（足側）裏側の凹み（2 ヶ所）に取り付ける。
3. 膝・足ボトム（足側）を降ろす。



足先さげ状態



Note

足ボトムステーが凹み（2 ヶ所）に、確実に取り付いていることを確認してください。

収納カバーの使いかた

収納カバーは、樹脂ボードに付いています。収納カバーを開くと、取扱説明書やノートなどを収納できます。

⚠ 警告

収納カバーに寄り掛かったり、手でつかんで力を加えたりしないでください。

収納カバーが不意に外れ、転倒するなどしてけがをするおそれがあります。

⚠ 注意

許容寸法や耐荷重を超えるものを入れないでください。

収納カバーや収納物が落下・破損し、けがをするおそれがあります。

収納物が収納カバーからとび出た状態にしないでください。

ベッドの動作時に接触し、ベッドや収納物が破損するおそれがあります。

収納カバーを乱暴に開閉しないでください。

収納物や収納カバーが破損するおそれがあります。

収納カバーにものを引っ掛けたり、外側から力をかけたりしないでください。

収納カバーが外れたり、破損したりするおそれがあります。

収納物を取り出すときは、収納カバーに外向きの力を無理に加えないでください。

収納カバーが外れたり、破損したりするおそれがあります。

壊れやすいものを入れるときは、ケースなどに入れてから収納カバーに入れてください。

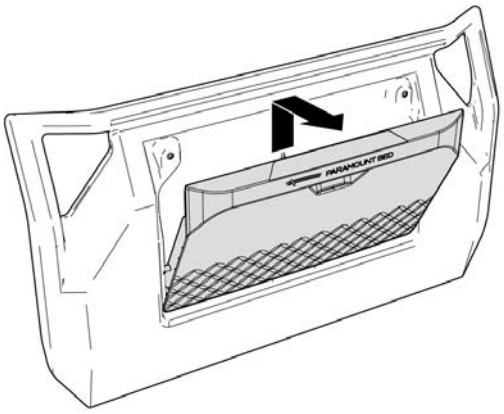
破損するおそれがあります。

収納カバーを開いた状態のままにしないでください。

収納カバーにぶつかってけがをしたり、ベッドの動作時にベッド周りの家具備品・部屋の構造物の一部などに接触して、ベッドや収納物が破損したりするおそれがあります。

使いかた

1. 収納カバーを少し持ちあげ、手前に開く。



許容寸法と耐荷重

許容寸法［cm］	耐荷重
幅 45×高さ 30×厚み 5	1kg

適合オプション

本書に記載されているオプション以外を使用する場合は、販売店または直接弊社までお問い合わせください。各オプションの品番は、段ボール箱・製品識別表示ラベルに記載されています。

※ 製品識別表示ラベル上は、S＊＊＊＊、Q＊＊＊＊と表示されています。

例）S161Q ➡ KS-161Q を示します。

※ 棚ユニット（KQ-PC00E）のみ製品識別ラベル上は QA0308A と表示されています。

⚠ 警告

オプションは正しい組み合わせを確認した上でご使用ください。

誤った組み合わせで使用すると、思わぬけがや故障するおそれがあります。

記載されているオプション以外は使用しないでください。

意図せぬすき間の発生や製品の破損・変形などにより、けがをするおそれがあります。

オプションを使用するときは、各オプションの取扱説明書をお読みください。

Note

適合品は、仕様の変更や組み合わせなどにより変わる場合があります。また、新製品や製品の販売終了により、適合品が記載されていない場合があります。適合品についてご不明な点は、販売店または直接弊社までお問い合わせください。

適合表

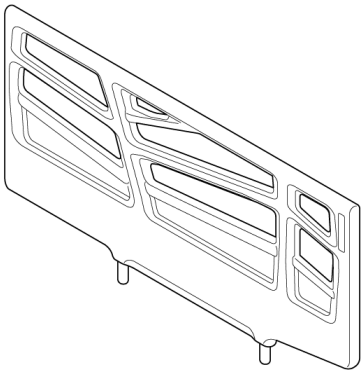
製品名		品　番
ベッドサイドレール JIS認証取得	KS-161Q シリーズ	KS-161Q・KS-166・KS-126M/W
	KS-171Q シリーズ	KS-171Q・KS-176・KS-146M/W
	KS-151Q シリーズ	KS-151Q
	KS-191Q シリーズ	KS-191Q
	KS-111Q シリーズ	KS-111Q・KS-116Q
ソフトガードサイドレール JIS認証取得		KS-019A
ソフトカバー付ベッドサイドレール		KS-151QC・KS-161QC・KS-171QC・KS-191QC・KS-126MC/WC・KS-146MC/WC・KS-166QC・KS-176QC
クリアカバー付ベッドサイドレール		KS-151QT・KS-161QT・KS-171QT・KS-191QT・KS-126MT/WT・KS-146MT/WT・KS-166QT・KS-176QT
キャスター JIS認証取得		KQ-P90C
オプション脚座セット JIS認証取得		KQ-PA0A
ハイトスペーサー JIS認証取得		KQ-P90H・KQ-027A
キャスター付ハイトスペーサー JIS認証取得		KQ-P90CH
ベッド用グリップ JIS認証取得	スイングアーム介助バー	KS-099A/B
	サイドグリップ	KS-030A
ソフトカバー付ベッド用グリップ	サイドグリップ	KS-030AC
オーバーテーブル		KQ-060L・KQ-060M
アジャストテーブル		KQ-090
ベッドサイドテーブル※1		KF-1920・KF-1930・KF-1970・KF-1980・KF-1924・KF-1934・KF-1974・KF-1984・KF-282・KF-2923・KF-2933・KF-2973
IV ポールホルダー		KQ-PC00V
マットレスストッパー		KQ-PC00D
棚ユニット JIS認証取得		KQ-PC00E
フットパネル JIS認証取得		KQ-PC01C・KQ-PC02C
3 モーター組み換えキット JIS認証取得		KQ-PC00B
脚座ゴムシート		KQ-P732
脚座カーペット		KQ-P731
呼出受信機		KQ-PA0J

※1 脚座を低床位置のベッドの高さにした場合のみ使用することができます。KF-282 は床高を 24 ㎝以上にして使用してください。

ベッドサイドレール

ベッドサイドレールは、ベッドで寝ている方の転落予防、寝具の落下防止を目的としています。

- ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、ベッドサイドレールが使用できます。
- 立ちあがり時など、支えとしてお使いになる場合は、ベッド用グリップをお使いください。
- 使用する方の状態に応じて、すき間を少なくしたソフトガードサイドレール（KS-019A）や各種カバーをお使いください。



適合表

		全長（cm）	全高（cm）	厚さ（cm）	ベッド取付時ボトムからのサイドレール高さ（cm）
ベッドサイドレール	KS-151Q	59	50.5	2.5	37.5
	KS-161Q	96.5	50.5	2.5	37.5
	KS-171Q	96.5	56.5	2.5	43.5
	KS-191Q	83	50.5	2.5	37.5
	KS-126M/W	96.5	50.5	2.5	37.5
	KS-146M/W	96.5	56.5	2.5	43.5
	KS-166	96.5	50.5	2.5	37.5
	KS-176	96.5	56.5	2.5	43.5
	KS-111Q/KS-116Q	98	53.5	2.8	41
ソフトガードサイドレール	KS-019A	102	59	4	45

Note

- 「仕様」の JIS 認証取得マークがあるベッドと表のベッドサイドレールの組み合わせは、JIS 認証を取得しています。表以外のベッドサイドレールとは組み合わせないでください。表以外のベッドサイドレールと組み合わせた場合は、JIS 認証を取得していない状態となります。

☞ 仕様(P.87)

- KS-191Q は KS-099A/B・KS-030A と組み合わせる、もしくは単独でベッドサイドに取り付けて使用するものです。他のベッド用グリップやベッドサイドレールなどと並列で組み合わせたり、KS-191Q を 2 本並列で使用したりしないでください。

☞ 適合オプションの組み合わせと取付位置(P.73)

ソフトカバー付／クリアカバー付ベッドサイドレール

- ソフトカバー付／クリアカバー付ベッドサイドレールは、表のベッドサイドレールと各種カバーのセットです。
- ソフトカバー／クリアカバーのみでもお求めいただけます。
- 表以外のベッドサイドレールとは組み合わせないでください。

ソフトカバー付ベッドサイドレール適合表

ソフトカバー付ベッドサイドレール	ベッドサイドレール	ソフトカバー
KS-151QC	KS-151Q	KS-15C
KS-161QC	KS-161Q	KS-16C
KS-166QC	KS-166	
KS-126MC/WC	KS-126M/W	
KS-171QC	KS-171Q	KS-17C
KS-176QC	KS-176	
KS-146MC/WC	KS-146M/W	
KS-191QC	KS-191Q	KS-19CA

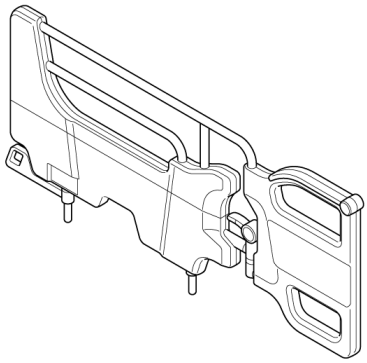
クリアカバー付ベッドサイドレール適合表

クリアカバー付ベッドサイドレール	ベッドサイドレール	クリアカバー
KS-151QT	KS-151Q	KS-15TA
KS-161QT	KS-161Q	KS-16T
KS-166QT	KS-166	
KS-126MT/WT	KS-126M/W	
KS-171QT	KS-171Q	KS-17T
KS-176QT	KS-176	
KS-146MT/WT	KS-146M/W	
KS-191QT	KS-191Q	KS-19T

ベッド用グリップ

ベッド用グリップには、スイングアーム介助バーとサイドグリップがあります。

- ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、ベッド用グリップが使用できます。
- 安全のために、利用者が転落するおそれがある場合は、ベッド用グリップと併用して、サイドグリップ（KS-030A）・サイドレール（KS-151Q・KS-191Q シリーズ）をお使いください。
- 使用する方の状態に応じて、すき間を少なくした各種ソフトカバーをお使いください。



適合表

		全長（cm）	全高（cm）	厚さ（cm）	ベッド取付時ボトムからのベッド用グリップ高さ（cm）
スイングアーム介助バー	KS-099A/B	112	52.1	4	41
サイドグリップ	KS-030A	82.2	52.3	4	41

※ ベッド用グリップと同じ側で使用できるのは、サイドグリップ（KS-030A）・サイドレール（KS-151Q・KS-191Q シリーズ）のみです。

Note

「仕様」の JIS 認証取得マークがあるベッドと表のベッド用グリップの組み合わせは、JIS 認証を取得しています。表以外のベッド用グリップとは組み合わせないでください。表以外のベッド用グリップと組み合わせた場合は、JIS 認証を取得していない状態となります。

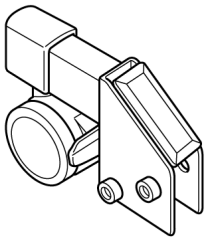
☞ 仕様(P.87)

キャスター

キャスターを取り付けると、室内での配置換えや掃除をするときなどのベッドの移動を補助します。

- 脚座が超低床位置のベッドの高さと変わりません。
- 「仕様」の JIS 認証取得マークがあるベッドと表のキャスターの組み合わせは、JIS 認証を取得しています。表以外のキャスターとは組み合わせないでください。表以外のキャスターと組み合わせた場合は、JIS 認証を取得していない状態となります。

☞ 仕様(P.87)



適合表

キャスター
KQ-P90C

Note

ベッドサイドテーブル（KF-1920/1930/1970/1980/1924/1934/1974/1984/282/2923/2933/2973）・リハビリテーブル（KF-840）・端座位保持テーブル（KF-890）を使用する場合は、このベッドに付属の脚座を低床位置にして取りかえるか、オプション脚座セット（KQ-PA0A）とハイトスペーサー（KQ-P90H）を組み合わせるか、ハイトスペーサー（KQ-027A）またはキャスター付ハイトスペーサー（KQ-P90CH）が必要になります。

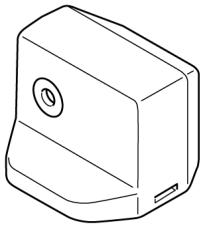
オプション脚座セット

- ハイトスペーサー（KQ-P90H）と組み合わせて取り付けることにより、脚座が低床位置のベッドの高さより 1cm 高くなります。

※ オプション脚座セットを単体で取り付けた場合は、ベッド付属の脚座を超低床位置に取り付けたときのベッドの高さと同じになります。

- 「仕様」の JIS 認証取得マークがあるベッドと表のオプション脚座セットの組み合わせは、JIS 認証を取得しています。表以外のオプション脚座セットとは組み合わせないでください。表以外のオプション脚座セットと組み合わせた場合は、JIS 認証を取得していない状態となります。

☞ 仕様(P.87)



適合表

オプション脚座セット
KQ-PA0A

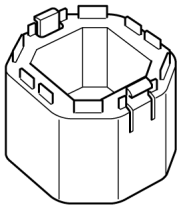
ハイトスペーサー

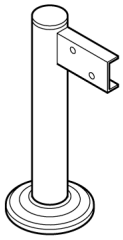
- ハイトスペーサー（KQ-P90H）とオプション脚座セット（KQ-PA0A）を組み合わせて取り付けることにより、脚座が低床位置のベッドの高さより1cm 高くなります。
- ハイトスペーサー（KQ-P90H）とオプション脚座セット（KQ-PA0A）を組み合わせて取り付けたとき、手元スイッチで高さ表示切替が可能です。
- ハイトスペーサー（KQ-027A）を取り付けることにより、脚座が低床位置のベッドの高さより11cm 高くなります。
- 「仕様」の JIS 認証取得マークがあるベッドと表のハイトスペーサーの組み合わせは、JIS 認証を取得しています。表以外のハイトスペーサーとは組み合わせないでください。表以外のハイトスペーサーと組み合わせた場合は、JIS 認証を取得していない状態となります。

☞ 仕様(P.87)

- ハイトスペーサー（KQ-P90H）は、オプション脚座セット（KQ-PA0A）と組み合わせて使用してください。

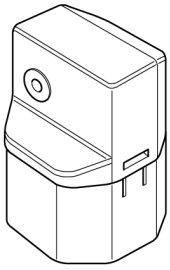
※ ハイトスペーサー（KQ-P90H）はベッド付属の脚座には取り付けることができません。





適合表

ハイトスペーサー
KQ-P90H・KQ-027A



※ イラストはオプション脚座セット（KQ-PA0A）とハイトスペーサー（KQ-P90H）を組み合わせた状態です。

Note

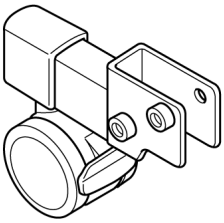
オプション脚座セット（KQ-PA0A）とハイトスペーサー（KQ-P90H）を組み合わせるか、ハイトスペーサー（KQ-027A）またはキャスター付ハイトスペーサー（KQ-P90CH）を取り付けるとリハビリテーブル（KF-850）、床走行式電動介護リフト（KQ-781/787）を使用できます。

キャスター付ハイトスペーサー

キャスター付ハイトスペーサーを取り付けることにより、室内での配置換えや掃除をするときなどのベッドの移動を補助します。

- 脚座が低床位置のベッドの高さより 1cm 高くなります。
- 「仕様」の JIS 認証取得マークがあるベッドと表のキャスター付ハイトスペーサーの組み合わせは、JIS 認証を取得しています。表以外のキャスター付ハイトスペーサーとは組み合わせないでください。表以外のキャスター付ハイトスペーサーと組み合わせた場合は、JIS 認証を取得していない状態となります。

☞ 仕様(P.87)



適合表

キャスター付ハイトスペーサー
KQ-P90CH

ソフトカバー付ベッド用グリップ

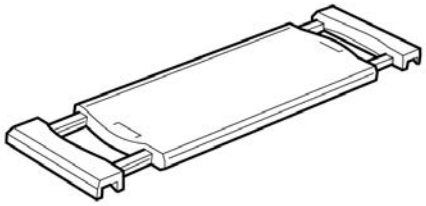
- ソフトカバー付ベッド用グリップは、表のベッド用グリップとソフトカバーのセットです。
- 表以外のベッド用グリップとは組み合わせないでください。
- ソフトカバー単体でもお求めいただけます。

適合表

ソフトカバー付ベッド用グリップ	ベッド用グリップ	ソフトカバー
KS-030AC	KS-030A	KS-30C

オーバーテーブル／アジャストテーブル

オーバーテーブル/アジャストテーブルはベッドサイドレールの上に載せて使用してください。

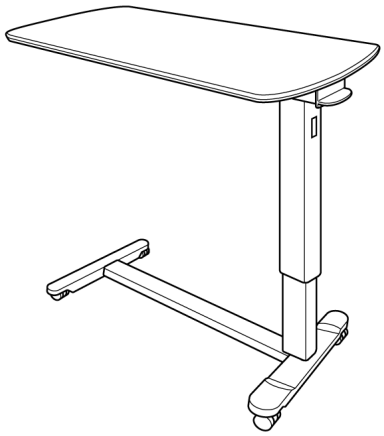


適合表

	オーバーテーブル	アジャストテーブル
83cm 幅	KQ-060M	KQ-090
91cm 幅	KQ-060L	KQ-090

ベッドサイドテーブル

ベッドサイドテーブルは、ベッド上で食事や軽作業をするときに使用する製品です。



ベッドサイドテーブル適合表

ベッドサイドテーブル
KF-1920・KF-1930・KF-1970・KF-1980・KF-1924・KF-1934・KF-1974・KF-1984・KF-282・KF-2923・KF-2933・KF-2973

⚠ 警告

ベッドサイドテーブルをベッドに設置しているときは、ベッドの操作をしないでください。

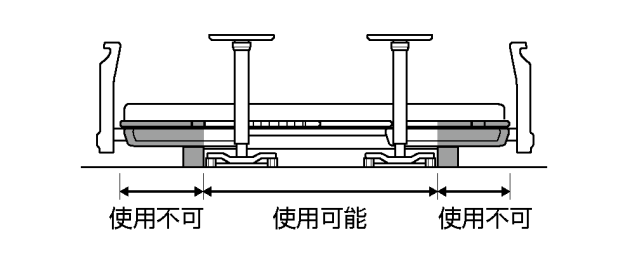
背あげ・高さ調節などのベッド操作をするとベッドとベッドサイドテーブルの間にはさまれてけがをしたり、ベッドサイドテーブルやベッドが破損・変形したりするおそれがあります。ベッドの背・膝あげや高さ調節などをするときは、ベッドサイドテーブルをベッドから離してください。

⚠ 注意

図は、脚座を低床位置にしたときのベッドサイドテーブルの使用範囲を示しています。（　　部分は使用不可）ベッドサイドテーブルはこの範囲で使用してください。

KF-282 を使用する場合は、床高を 24cm 以上にしてください。床高 24cm 未満または図の範囲外で使用すると、ベッドサイドテーブルが破損・変形するおそれがあります。

使用可能範囲寸法は 107cm です。

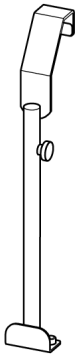


ベッドにベッドサイドレール・ベッド用グリップなどを併用する（設置している）場合、ベッドの高さが最高高さ付近ではベッドサイドテーブルを使用できません。

ベッドサイドテーブルの間にはさまれてけがをしたり、ベッドサイドテーブルやベッドが破損・変形したりするおそれがあります。

IV ポールホルダー

多機能ボードに取り付けることで、IV ポール（別売）が使用できます。



適合表

IV ポールホルダー
KQ-PC00V

⚠ 警告

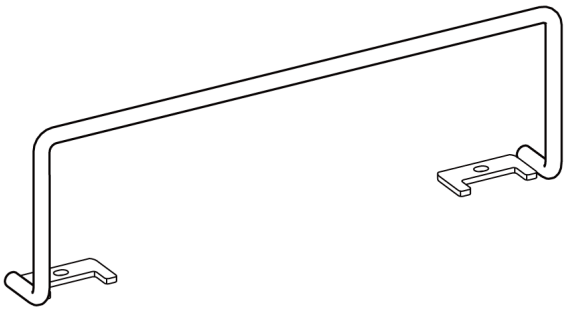
IV ポールをご使用になる場合、IV ポールホルダーをご使用になり、IV ポールホルダー以外には IV ポールを取り付けないでください。

意図せぬすき間の発生により、けがをするおそれがあります。

マットレスストッパー

フットパネルを取り付けたベッドでエアマットレスを使用する際に、エアマットレスの落下防止をします。

※ 弊社適合エアマットレスのみ組み合わせてください。適合エアマットレスに関してはマットレスストッパー本体をご確認ください。



適合表

マットレスストッパー
KQ-PC00D

棚ユニット

樹脂ボードに取り付けて、小物などを置くことができます。またコンセントでスマートフォンなどの充電もできます。

適合表

棚ユニット
KQ-PC00E

⚠ 警告

棚ユニットを適合品以外のボードに載せて使用しないでください。

棚ユニットが固定できないため、不意に落下して、けがや破損のおそれがあります。

収納カバーを取り付けた状態で、棚ユニットを取り付けないでください。

収納カバーにぶつかってけがをしたり、ベッド動作時に周囲のものに当たり、破損・変形したりするおそれがあります。

棚ユニットを取り付けるときは、ケーブル類の上に棚ユニットを置かないでください。

ケーブル類の破損などにより、感電・火災のおそれがあります。

ベッドの高さ・膝を最大まであげた状態で配線してください。

あげた状態で配線しないと高さをあげたときに電源コードが引っ張られて断線し、火災のおそれがあります。

棚ユニットを取り付けるときは、棚ユニットの電源コードをはさまないように注意してください。

ケーブル類の破損などにより、感電・火災のおそれがあります。

棚ユニットを取り付けるときは、ボルトでボードにしっかりと固定してください。

棚ユニットが落下して、けがをしたり棚ユニットが破損・変形したりするおそれがあります。

棚ユニットの電源コードは、ベッドへの乗り降りやベッドサイドテーブルなどを使用しない側に配線してください。

電源コードに足を引っ掛けて転倒するおそれがあります。また、電源コードの破損などにより、感電・火災のおそれがあります。

棚ユニットの電源コード・電源プラグは正しく配線してください。

間違った配線をすると、手・足などが引っ掛かりけがをするおそれがあります。また、電源コードがベッドの可動部にはさまれて断線し、感電・火災のおそれがあります。

ボードと棚ユニットがしっかりと固定されているか確認してください。

棚ユニットが落下して、けがをしたり棚ユニットが破損・変形したりするおそれがあります。

2 つのケーブルクランプは、できるだけ離した位置でたるみなく取り付けてください。詳細は付属の取扱説明書を参照してください。

- 近い位置で固定すると電源コードがたるみ、足を引っ掛けて転倒しけがをするおそれがあります。また、ベッドサイドテーブルなどの脚が引っ掛かり電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- ケーブルクランプが破損する原因となります。

棚ユニットの電源コードを無理に引っ張ったり、引っ張った状態で固定したりしないでください。

電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。

棚ユニットの電源コードは、たるみのないように配線してください。また、ベッドの可動部にはさまれないように配線してください。

電源コードがベッドの可動部にはさまれて断線し、感電・火災のおそれがあります。詳細は付属の取扱説明書を参照してください。

棚ユニットのコンセントに差した電源プラグや棚ユニットの電源コードに無理な力を加えないでください。

⚠ 警告

電源プラグや電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。

棚ユニットのコンセントに水分やほこりを付着させないでください。

コンセントの表面に水分やほこりが付着していると、火災や感電のおそれがあります。また、故障の原因となります。コンセントの表面に水をこぼしたり、ほこりが付着したりしている場合は、棚ユニットの電源プラグを抜き、乾いた布などですぐに拭き取ってください。

棚ユニットのコンセントを使用するときは、プラグを奥までしっかりと差し込んでください。

水分やほこりが付着すると、火災や感電のおそれがあります。

棚ユニットに手をついたり、寄りかかったりしないでください。

棚ユニットが破損して、けがをするおそれがあります。

濡れた手で棚ユニットのコンセントに触れないでください。

感電したり、故障したりするおそれがあります。

ベッドの電源を棚ユニットのコンセントからとらないでください。

電源コードがベッドの可動部にはさまれて、破損するおそれがあります。

棚ユニットを取り外すときに、電源プラグや電源コードに無理な力を加えないでください。

電源プラグや電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。

⚠ 注意

ベッドの動作時は、棚ユニットの上に置いたものの落下に注意してください。

落下物がぶつかってけがをするおそれがあります。また、落下によりものが破損したり、ゆかが傷ついたりするおそれがあります。

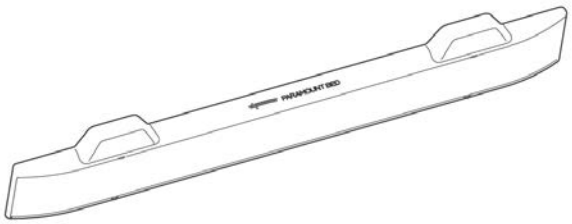
Note

- 「仕様」の JIS 認証取得マークがあるベッドと表の棚ユニットの組み合わせは、JIS 認証を取得しています。表以外の棚ユニットとは組み合わせないでください。表以外の棚ユニットと組み合わせた場合は、JIS 認証を取得していない状態となります。

☞ 仕様(P.87)

フットパネル

ボードの代わりに取り付けることで、足側からの介護がしやすくなります。



適合表

フットパネル
KQ-PC01C・KQ-PC02C

⚠ 警告

体位を自分で保持できない方は使用しないでください。

転落･転倒して、けがをするおそれがあります。

フットパネルを手すり代わりにしたり、足をかけて乗り降りしたりしないでください。

- ベッドから転落･転倒してけがをするおそれがあります。
- フットパネルに大きな力がかかり、フットパネルが破損・変形するおそれがあります。

フットパネルに足をかけて乗り降りしないでください。

- ベッドから転落･転倒してけがをするおそれがあります。
- フットパネルに大きな力がかかり、フットパネルが破損・変形するおそれがあります。

弊社の適合エアマットレスを使用するときは、マットレスストッパー（KQ-PC00D）を取り付けてください。

エアマットレスが落下して転落・転倒し、けがをするおそれがあります。

フットパネルを持って、ベッドを移動しないでください。

- フットパネルが不意に外れ、転倒などしてけがをするおそれがあります。
- フットパネルに大きな力がかかり、フットパネルが破損・変形するおそれがあります。

⚠ 注意

フットパネルの角に注意してください。

足などをぶつけて、けがをするおそれがあります。

フットパネルにものを引っ掛けないでください。

フットパネルが破損・変形するおそれがあります。

Note

「仕様」の JIS 認証取得マークがあるベッドとフットパネルの組み合わせは、JIS 認証を取得しています。JIS 認証取得マーク以外のベッドと組み合わせた場合は、JIS 認証を取得していない状態となります。

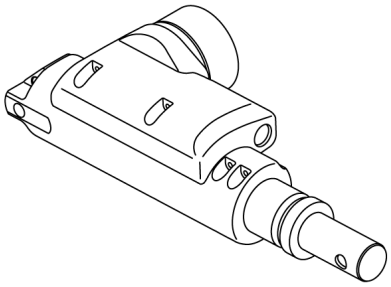
☞ 仕様(P.87)

３モーター組み換えキット

ベッド（KQ-C2＊＊＊/KQ-C2＊＊＊＊）に膝アクチュエーターを取り付け、手元スイッチを交換することで「らくらくモーション」や「膝あげ／膝さげ」の操作を行うことができます。

- ３モーター組み換えキットをベッドに取り付けたときは、手元スイッチを交換してください。詳細は付属の取扱説明書を参照してください。
- 「仕様」の JIS 認証取得マークがあるベッドと表の３モーター組み換えキットの組み合わせは、JIS 認証を取得しています。表以外の３モーター組み換えキットとは組み合わせないでください。

☞ 仕様(P.87)

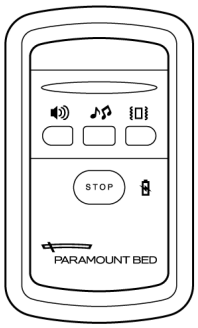


適合表

３モーター組み換えキット
KQ-PC00B

呼出受信機

利用者が手元スイッチの呼出ボタンを押したときに、スマートフォンの代わりに通知を受けることができます。



適合表

呼出受信機
KQ-PA0J

適合オプションの組み合わせと取付位置

適合オプションの組み合わせと取付位置は、図を参照して正しく取り付けてください。正しい組み合わせと取付位置を「○」で、誤った組み合わせと取付位置を「×」で表しています。

⚠ 警告

ベッド用グリップやベッドサイドレールは、正しい組み合わせを確認した上でご使用ください。

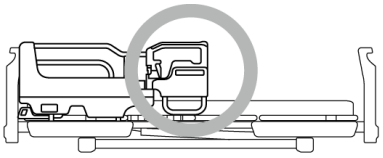
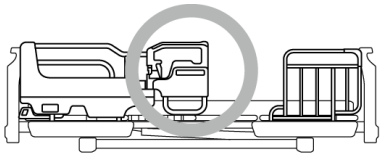
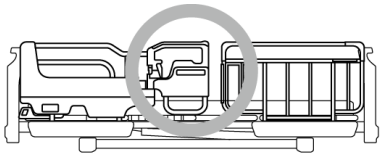
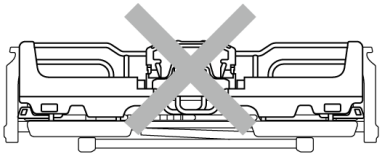
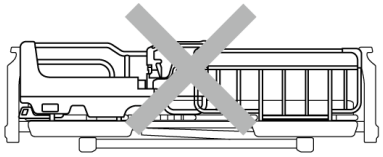
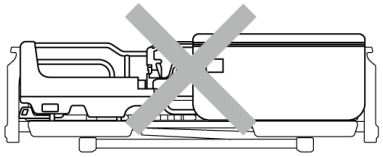
意図せぬすき間の発生により、けがをするおそれがあります。

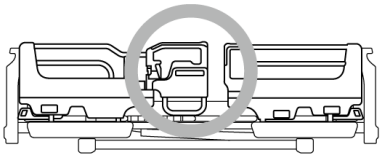
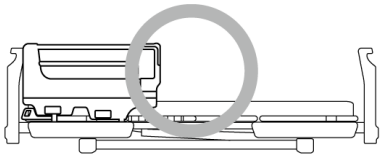
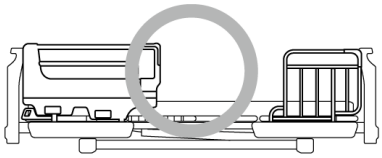
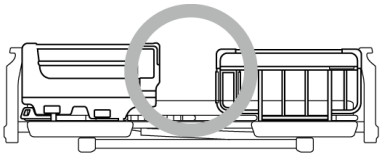
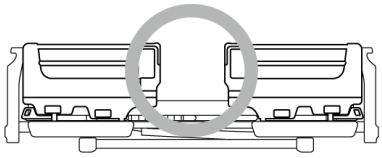
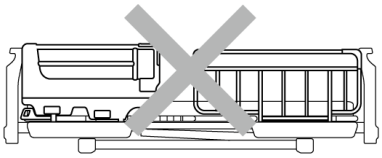
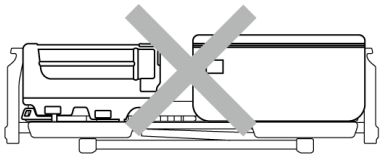
Note

- 正しい組み合わせと取付位置については、モーター数・サイズ（ボトム幅・長さ）・デザイン（ボードタイプ）に関わらず全機種共通です。
- 各オプションにソフトカバーやクリアカバーを取り付けた場合の正しい組み合わせと取付位置も同じです。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合せください。

ベッド用グリップを 使用する場合

各オプションを頭側と足側で入れ替えた場合も同様です。

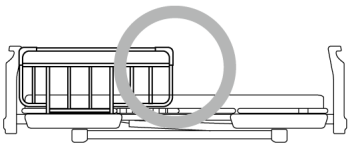
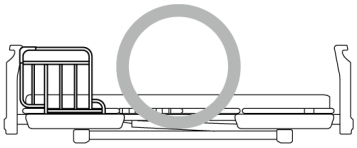
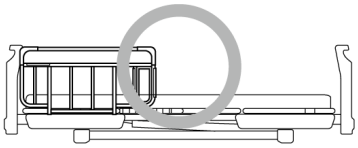
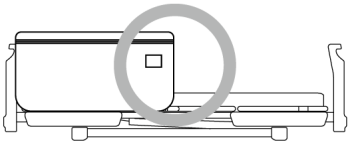
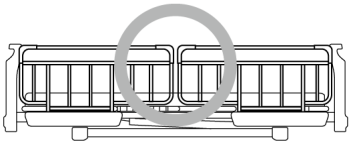
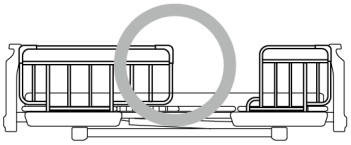
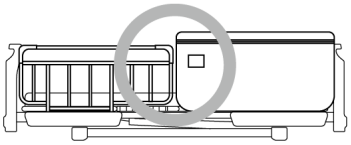
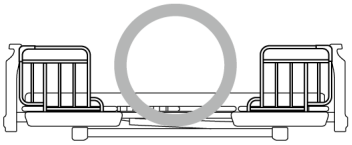
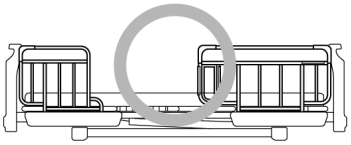
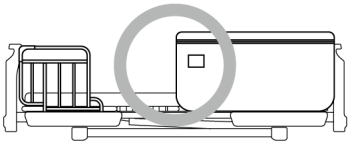
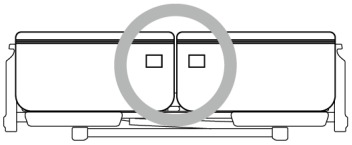
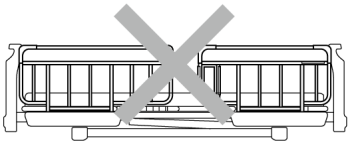
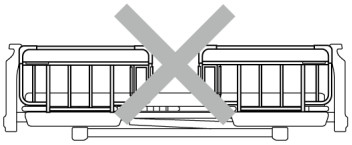
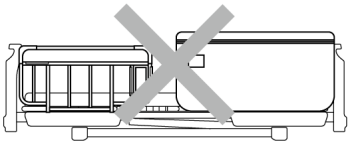
● KS-099A/B 	● KS-099A/B ＋ ● KS-151Q 	● KS-099A/B ＋ ● KS-191Q 
● KS-099A/B ＋ ● KS-099A/B 	● KS-099A/B ＋ ● KS-161Q シリーズ ● KS-171Q シリーズ ● KS-111Q シリーズ 	● KS-099A/B ＋ ● KS-019A 

● KS-099A/B ＋ ● KS-030A 	● KS-030A 	● KS-030A ＋ ● KS-151Q 
● KS-030A ＋ ● KS-191Q 	● KS-030A ＋ ● KS-030A 	
● KS-030A ＋ ● KS-161Q シリーズ ● KS-171Q シリーズ ● KS-111Q シリーズ 	● KS-030A ＋ ● KS-019A 	

適合オプションの組み合わせと取付位置

ベッドサイドレールを使用する場合

- 各オプションを頭側と足側で入れ替えた場合も同様です。
- 別シリーズのベッドサイドレールの組み合わせでは高さに差が生じる場合があります。

● KS-161Q シリーズ ● KS-171Q シリーズ ● KS-111Q シリーズ 	● KS-151Q 	● KS-191Q 
● KS-019A 	● KS-161Q シリーズ ● KS-171Q シリーズ ● KS-111Q シリーズ ＋ ● KS-161Q シリーズ ● KS-171Q シリーズ ● KS-111Q シリーズ 	● KS-161Q シリーズ ● KS-171Q シリーズ ● KS-111Q シリーズ ＋ ● KS-151Q 
● KS-161Q シリーズ ● KS-171Q シリーズ ● KS-111Q シリーズ ＋ ● KS-019A 	● KS-151Q ＋ ● KS-151Q 	● KS-151Q ＋ ● KS-191Q 
● KS-151Q ＋ ● KS-019A 	● KS-019A ＋ ● KS-019A 	
● KS-191Q ＋ ● KS-161Q シリーズ ● KS-171Q シリーズ ● KS-111Q シリーズ 	● KS-191Q ＋ ● KS-191Q 	● KS-191Q ＋ ● KS-019A 

適合マットレス

適合マットレス

⚠ 警告

マットレスを設置しない状態では、ベッドを使用しないでください。

ボトムのすき間や穴に手や足の指などがはさまれて、けがをするおそれがあります。

このベッドには、弊社が指定する適合品のマットレスを組み合わせてご使用ください。

弊社が指定する適合品以外のマットレスと組み合わせると、寸法や折れ曲がりの点で適合しないだけでなく、ベッドサイドレールやベッド用グリップなどにはさまれてけがをしたり、ベッドに負担をかけて故障したりするおそれがあります。

Note

- 詳細な取り扱いは、マットレスに添付されている取扱説明書をご覧ください。
- マットレスはベッドの幅・長さにあわせたものをご使用ください。
- 仕様変更などにより、この取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- ロングサイズのベッドには、レギュラーサイズのマットレスと、適合する延長マットレスと合わせて使用してください。

スタンダードマットレス

ベッドサイズ	ミニサイズ		レギュラーサイズ		厚（cm）
	83cm 幅	91cm 幅	83cm 幅	91cm 幅	
マットレスサイズ幅×長さ（cm）	83×180	91×180	83×191	91×191	
品名	品番				
ソフティア（通気）	KE-264T	KE-262T	KE-263T	KE-261T	8
プレグラーSTR（通気）	KE-514T	KE-512T	KE-513T	KE-511T	8
プレグラー（通気）	KE-5531Q	KE-5511Q	KE-553Q	KE-551Q	
エバーリーフ 7（通気）	KE-544T	KE-542T	KE-543T	KE-541T	7
エバーリーフ 7（清拭）	-	-	KE-543S	KE-541S	
ポケットコイル	-	-	RB-ZA83P	RB-ZA91P	13.5
クレーター	-	-	KE-763	KE-761	9
ウレタンフォーム	-	-	KE-253	KE-251	8

適合マットレス

ハイ・スタンダードマットレス

ベッドサイズ	ミニサイズ		レギュラーサイズ		厚（cm）
	83cm 幅	**91cm 幅**	**83cm 幅**	**91cm 幅**	
マットレスサイズ幅×長さ（cm）	**83×180**	**91×180**	**83×191**	**91×191**	
品名	品番				
ストレッチフィットⅡ（通気）	KE-7A4T	KE-7A2T	KE-7A3T	KE-7A1T	10
ストレッチフィットⅡ（清拭）	-	-	KE-7A3S	KE-7A1S	
ストレッチフィットⅡ（さらドライ）	-	-	KE-7A3N	KE-7A1N	
ストレッチフィットⅡ（ドライ）	-	-	KE-7A3U	KE-7A1U	
ストレッチフィットⅡ（抗ウィルス）	-	-	KE-7A3V	KE-7A1V	
エバーフィット C3（清拭）	KE-614SQ	KE-612SQ	KE-613SQ	KE-611SQ	10
エバーフィット C3（通気）	KE-614TQ	KE-612TQ	KE-613TQ	KE-611TQ	
エバーフィット C3（ドライ）	KE-614UQ	KE-612UQ	KE-613UQ	KE-611UQ	
エバーフィット C3（抗ウィルス）	-	-	KE-613V	KE-611V	
エバーリーフ	-	-	KE-533	KE-531	9

床ずれ防止マットレス（静止型：ウレタンフォーム）

ベッドサイズ	ミニサイズ		レギュラーサイズ		厚（cm）
	83cm 幅	91cm 幅	83cm 幅	91cm 幅	
マットレスサイズ幅×長さ（cm）	83×180	91×180	83×191	91×191	
品名	品番				
ストレッチグライドⅡ（通気）	KE-7B4T	KE-7B2T	KE-7B3T	KE-7B1T	12.5
ストレッチグライドⅡ（ドライ）	-	-	KE-7B3U	KE-7B1U	
ストレッチグライドⅡ（さらドライ）	-	-	KE-7B3N	KE-7B1N	
ストレッチグライドⅡ（抗ウィルス）	-	-	KE-7B3V	KE-7B1V	
エバープラウド（清拭）	KE-624SQ	KE-622SQ	KE-623SQ	KE-621SQ	13
エバープラウド（通気）	KE-624TQ	KE-622TQ	KE-623TQ	KE-621TQ	
エバープラウド（ドライ）	KE-624UQ	KE-622UQ	KE-623UQ	KE-621UQ	
エバープラウド（抗ウィルス）	-	-	KE-623V	KE-621V	

床ずれ防止マットレス（圧切替型：エア）

Note

フットパネルを取り付けたベッドでエアマットレスを使用するときは、マットレスストッパー（KQ-PC00D）を取り付けてください。

ベッドサイズ	ミニサイズ		レギュラーサイズ		厚（cm）
	83cm 幅	91cm 幅	83cm 幅	91cm 幅	
マットレスサイズ幅×長さ（cm）	83×180	91×180	83×191	91×191	
品名	品番				
エアマットレスここちあ風香（清拭）※2	-	-	KE-953M	KE-951M	13
エアマットレス ここちあ利楽（清拭）	KE-974S	KE-972S	KE-973S	KE-971S	
エアマットレス ここちあ利楽（通気）	KE-974T	KE-972T	KE-973T	KE-971T	
エアマットレス ここちあ利楽 flow（清拭）※1	KE-914S	KE-912S	KE-913S	KE-911S	17
エアマットレス ここちあ利楽 flow（通気）※1	KE-914T	KE-912T	KE-913T	KE-911T	
エアマットレス ここちあ結起 Rise（ドライ）※1	KE-944U	KE-942U	KE-943U	KE-941U	
エアマットレス ここちあ結起 Rise（通気）※1	KE-944T	KE-942T	KE-943T	KE-941T	

※1 ベッドサイドレール・ベッド用グリップを併用する場合は、KS-171Q シリーズ・KS-111Q シリーズ・KS-019A・KS-099A/B・KS-030A をご使用ください。

※2 フットパネルを取り付けたベッドには使用できません。

延長マットレス

※ ベッドをロングサイズで使用する場合は、レギュラーサイズマットレスと、適合する延長マットレスと合わせて使用してください。

※ 延長マットレスはエアマットレスには適合しません。

ベッドサイズ	83cm 幅	91cm 幅	延長マットレス厚（cm）	適合マットレス
品名	品番			
延長マットレス	KE-553L	KE-551L	8.0	厚さ 8cm（プレグラーマットレス・プレグラー STR マットレスに適合）
	KE-L113	KE-L111	9.5	厚さ 7～10cm の弊社マットレス
	KE-L123	KE-L121	12.5	厚さ 11～13cm の弊社マットレス

電動介護リフトの使用上のご注意

電動介護リフト（床走行式リフト/ベッド設置式リフト）は、ベッドから車いすへの移乗など、さまざまな移乗動作を補助する製品です。

適合表

電動介護リフト
KQ-781・KQ-787・KQ-788S・KQ-788L

⚠ 警告

電動介護リフトに添付されている取扱説明書をお読みください。

誤った使いかたをすると、思わぬけがをするおそれがあります。

ベッド操作時および電動介護リフト操作時は、電動介護リフトの周囲に注意してください。

- ベッドとハンガーの間にはさまれたり、ハンガーに当たったりしてけがをするおそれがあります。
- ブームやハンガーが人に当たってけがをしたり、ベッドや家具などに当たり破損したりするおそれがあります。
- ハンガーフックがベッドサイドレールなどに引っ掛かり、電動介護リフトやベッドサイドレールなどが破損･変形するおそれがあります。
- ベッドと電動介護リフトの脚やアクチュエーター部などが当たり、破損・変形するおそれがあります。

電動介護リフト（床走行式）の脚をベッドの下に差し込んでいるときは、電動介護リフト（床走行式）のキャスターのロックを掛けないでください。

ベッド操作のときにベッドと電動介護リフト（床走行式）の脚部やアクチュエーター部などが当たると、電動介護リフト（床走行式）が転倒してけがをしたり、ベッドや電動介護リフト（床走行式）が破損・変形したりするおそれがあります。

電動介護リフト（床走行式）の脚をベッドの下に差し込むときは、電源コードを踏んだり乗り越えたりしないでください。

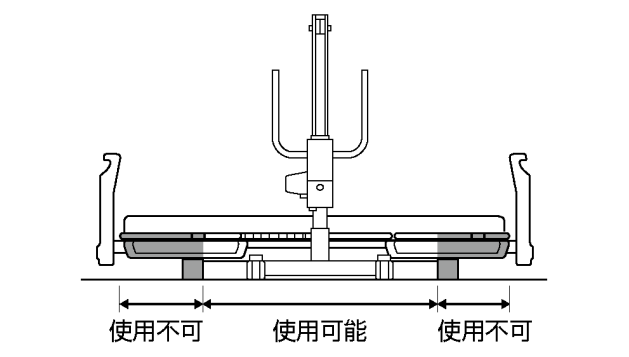
電源コードが破損して、感電・火災のおそれがあります。

⚠ 注意

電動介護リフト（床走行式）は使用可能な範囲で使用してください。（　　部分は使用不可）

図の範囲外で使用すると、電動介護リフト（床走行式）が破損・変形するおそれがあります。

使用可能範囲寸法は 116cm です。



ベッドにベッドサイドレールやベッド用グリップなどを併用する（設置している）場合、ベッドの高さが最高高さ付近では電動介護リフトを使用できません。

Note

- 電動介護リフト（床走行式）を使用する場合は、オプション脚座セット（KQ-PA0A）とハイトスペーサー（KQ-P90H）の組み合わせ、ハイトスペーサー（KQ-027A）またはキャスター付ハイトスペーサー（KQ-P90CH）を使用してください。このベッドに付属の脚座またはキャスター（KQ-P90C）を使用している場合、ベッドとの併用はできません。
- 仕様変更などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合せください。

緊急時のベッド操作

停電時やベッドの故障時にベッドを操作する場合は、以下の方法で行ってください。

乾電池使用による操作

コントロールボックスに乾電池をセットすることで、停電時でも電動で背･膝ボトムをさげることができます。

☞ 乾電池使用での背さげ・膝さげ(P.81)

手動による操作

停電時やベッドの故障により、背ボトムがさげられなくなった場合、手動で背ボトムをさげることができます。

☞ 手動での背さげ／戻しかた(P.82)

Note

停電時以外の理由で背ボトムがさげられなくなった場合、ベッドのチェックを行い、故障している場合には、販売店またはパラテクノコールセンターまでご連絡ください。

乾電池使用での背さげ・膝さげ

乾電池はお客様自身で用意してください。

使用する乾電池：角型 9V アルカリ乾電池 2 個

⚠ 注 意

接続ケーブルを強く引っ張らないでください。
断線するおそれがあります。

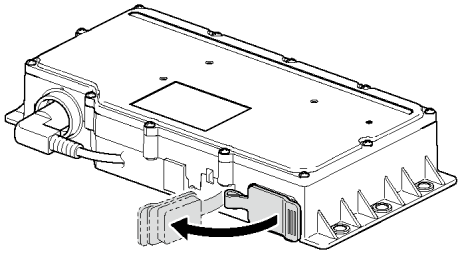
乾電池を接続ケーブルに付けたままにしないでください。
劣化して液漏れで汚れたり、故障のおそれがあります。

Note

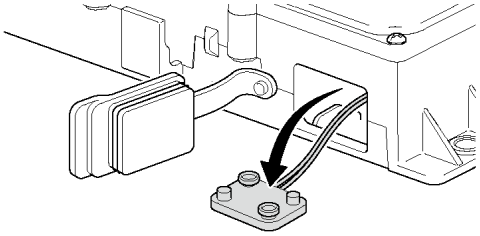
- 新品のアルカリ乾電池をご用意ください。消耗している乾電池の場合、動作できないおそれがあります。
- 乾電池が外れないようにしっかりと取り付けてください。
- 背さげ・膝さげ以外のベッド操作は乾電池による動作の対象外です。ボタンの押し間違いにご注意ください。
- 乾電池によるベッド操作は、手元スイッチのみで行います。

1. 足側のボードまたはフットパネルを取り外す。

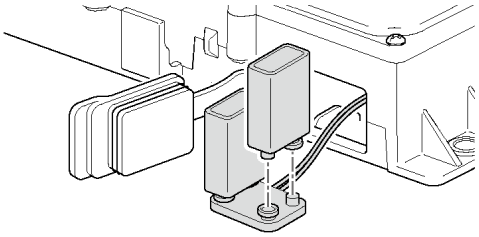
2. コントロールボックスのキャップを開ける。



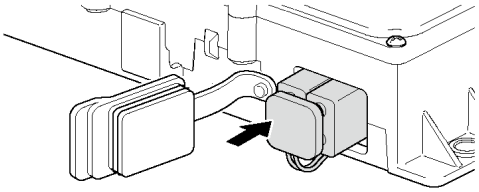
3. 接続ケーブルを引き出す。



4. 乾電池を接続ケーブルに取り付ける。



5. 乾電池を収納する。



6. 手元スイッチを操作して、ベッドをフラット状態にする。

7. 逆の手順で乾電池を取り外し、キャップを閉じる。

8. 足側のボードまたはフットパネルを取り付ける。

手動での背さげ／戻しかた

⚠注 意

作業は 2 人以上で行ってください。

手や腕などをはさまれて、けがをするおそれがあります。

電源プラグを抜いて、作業を行ってください。

ベッドが不意に動き、けがをするおそれがあります。

背ボトムを持って作業を行わないでください。

作業は、背あげリンクをしっかり持ってください。背ボトムが不意に動いて、背あげリンクがさがり、けがをするおそれがあります。

作業は手袋などをしてからおこなってください。

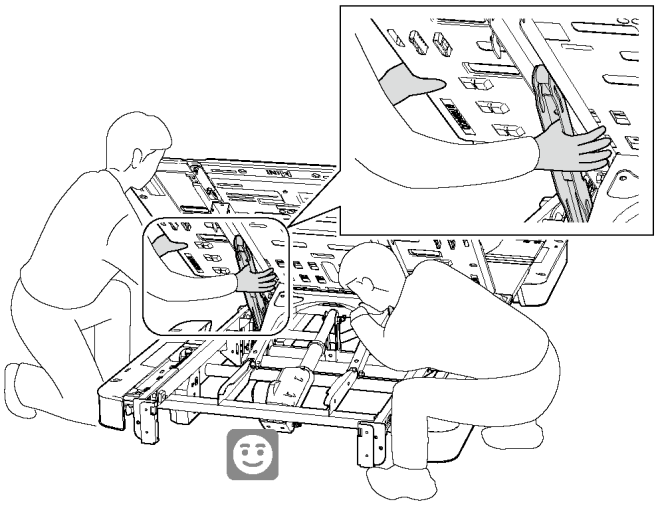
背ボトムが不意に動くなどしてけがをするおそれがあります。

使用する工具

ラジオペンチまたはプライヤー（小）

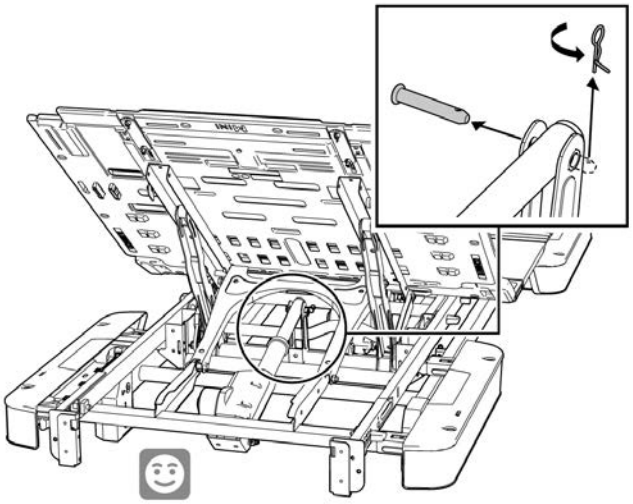
背さげのしかた

1. ベッドの電源プラグをコンセントから抜く。
2. ベッドを使用する方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろす。
3. 頭側のボードを取り外す。
4. 背ボトムの腰側と背あげリンクを支える。

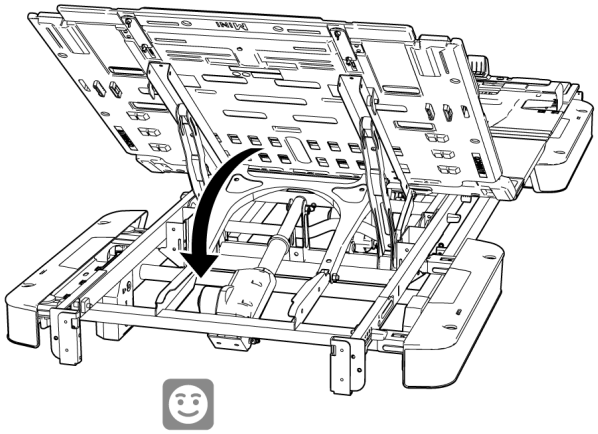


5. 図の矢印方向にひねり、スナップピン（赤）を取り外す。
6. 背アクチュエーターを手で支えながら連結ピンを取り外す。

   背あげリンクが自由に動きます。



7. 背ボトムをゆっくり降ろす。



8. 頭側のボードを取り付ける。

Note

- スナップピン（赤）を取り外すときは、ラジオペンチなどで先端部をはさんで引っ掛けて作業を行うと取り外しが容易です。
- 取り外した連結ピンは、元の状態に戻すときに使用しますので、紛失しないように保管してください。
- 作業を行ったときは、停電や故障から復帰後、元の状態に戻すまで、電源プラグはコンセントから抜いたままにしておいてください。

戻しかた

停電時に手動で背さげを行った場合は、電源の復帰後、「背さげのしかた」の手順を逆に行ってベッドを元の状態に戻してください。

Note

連結ピンは、手動で背さげしたときに取り外したものを使用してください。

⚠ 注意

スナップピン（赤）は、再利用しないでください。

ベッドが破損して、けがをするおそれがあります。新しいスナップピンは、販売店またはパラテクノコールセンターまでご依頼ください。

定期点検と日常のお手入れ

定期点検

ベッドを安全にご使用いただくために、1 年に 1 回は定期的に点検してください。使用の頻度や環境により製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。

- 点検項目は、「組立後の点検」を参照してください。
- 異常が認められた場合や詳しい点検を希望される場合は、パラテクノコールセンターまでお問い合せください。

日常のお手入れ

ベッドを快適にご使用いただくためには、日常のお手入れが大切です。下記の要領で、ベッドを清潔にしてください。

⚠ 警告

お手入れや掃除をするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

誤操作により、はさまれてけがをするおそれがあります。

ベッドに水をかけて掃除しないでください。

ショートして感電するおそれがあります。

⚠ 注意

お手入れするときは、ベッド各部の突起部分でけがをしないように注意してください。

手や足などをぶつけて、けがをするおそれがあります。

ベッド本体

汚れの落としかた

1. 水で薄めた中性洗剤にひたした布を、よくしぼって拭く。
2. 水にひたした布をよくしぼって、残った洗剤分を拭き取る。
3. 乾いた布で残った水分を拭き取る。

消毒のしかた

下記の消毒剤を指定の濃度や消毒剤の取扱説明書などの指示に従ってご使用ください。

消毒剤	指定の濃度
消毒用エタノール	76.9～81.4%
塩化ベンザルコニウム（オスバンなど）	～0.2%
塩化ベンゼトニウム（ハイアミンなど）	～0.2%
グルコン酸クロルヘキシジン（ヒビテンなど）	～0.05%
次亜塩素酸ナトリウム（ミルトンなど）	～0.05%

Note

- 別の方がベッドを使用する前には、ベッドを消毒することをおすすめします。
- オゾン殺菌器、オートクレーブ滅菌器などには対応できません。

⚠ 注意

揮発性のもの（シンナー、ベンジン、ガソリンなど）やクレゾールは使用しないでください。

変色・変質するおそれがあります。

消毒剤を使用する場合は、指定以外の薬品を使用しないでください。

破損・変質のおそれがあります。

中性洗剤を使用した場合は、その後水拭きをしてください。

水拭きをしないと樹脂の部分が割れるおそれがあります。

樹脂部品を上記薬品で清拭する場合は、薬品を含ませた布を固くしぼってから清拭してください。

変色のおそれがあります。

オプション／マットレス

各製品に添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

長期保管

長期にわたりベッドを使用しない場合

- 高温・多湿・低温・乾燥・ほこりの多い場所を避けてください。温度－10～50℃、湿度 30～90% RH の環境で保管してください。
- 取扱説明書は、紛失しないように大切に保管してください。

組んだベッドを保管する場合

- すべてのボトムを水平にしてください。
- ベッドの高さを最低高さまでさげてください。
- ベッドの上にはマットレス以外のものを載せないでください。
- ベッドは壁に立て掛けたりせず、水平なゆかに水平のまま保管してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いて、電源コードをはさんだり踏んだりしない場所に束ねておいてください。

分解して保管する場合

- ベッドの分解は、販売店にご依頼されることをおすすめします。
- お客様でベッドを分解される場合は、「分解手順」に従って分解し、保管してください。使用を再開する場合は、「組立手順」に従って正しく組立てた後、「組立後の点検」に従って点検してください。

移動（移設）

組んだベッドを移動（移設）する場合

⚠ 警告

移動（移設）するときは、オプション受のツメを本体の四角い穴に入れ、ノブナットでしっかりと固定した状態で持ってください。

オプション受ががたついたり外れたりして、けがをするおそれがあります。

指定の場所以外を持って、持ちあげたり運んだりしないでください。

ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。

⚠ 注意

オプション受のカバー上部や両端を持たないでください。

カバーが破損してけがをするおそれがあります。

オプション受を持つときは、カバー裏面の突起部分に指などを触れないでください。

けがをするおそれがあります。

棚ユニット（別売）を持って、ベッドを移動させないでください。

棚ユニットやボードが破損するおそれがあります。

キャスターを使用する場合は、段差や傾斜のある路面での移動は避けてください。

故障の原因となります。また、ベッドの部品とゆかとのすき間が少ないため、ゆかを傷つけるおそれがあります。やむを得ない場合は、ベッドをできるだけゆっくりと動かして移動させてください。

- 背や腰などを痛めないように、少なくとも 4 人で運んでください。
- ベッドを使用している方にベッドから降りていただき、寝具、マットレスを降ろし、オプションを取り外してください。
- オプション受がしっかりと固定されていることを確認し、頭側フレームと足側フレームのオプション受中央部（オプション取付穴の間）のフレーム部を持って運んでください。
- 手元スイッチ、電源コード、電源プラグを破損や傷から守るために、束ねてベッド本体に固定して運んでください。
- 棚ユニット（別売）をご使用の場合は、棚ユニットの電源コードをコンセントから外し、棚ユニットの上にものがない状態にしてください。

分解して移動（移設）させる場合

- ベッドの分解は、販売店にご依頼されることをおすすめします。
- お客様でベッドを分解される場合は、「分解手順」に従って分解してください。使用を再開する場合は、「組立手順」に従って正しく組立てた後、「組立後の点検」に従って点検してください。

ベッド本体

ベッド品番 QR コード

本書に記載のない品番については、右記 QR コードから確認できます。

全機種共通仕様

主な材質	ボトム		ポリプロピレン
	足・頭側フレーム	本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ（一部樹脂成形品）
		オプション受カバー	ポリプロピレン・ポリウレタン系シート
	ベースフレーム		スチール製…電着・粉体塗装仕上げ（一部樹脂成形品）
最大利用者体重			138kg
安全動作荷重※1			174kg（1700N）
最大マットレス厚※2			14（17cm）
動作保証条件		温度/湿度	10～40℃/30～75%RH
電源コード長さ			有効長さ 3m
耐用期間（予想耐用期間）			8 年　自己認証（弊社データ）による※ただし消耗品は除く

※1 安全動作荷重：ベッドを安全に使用できる荷重。（利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重）

※2 ベッドサイドレール（KS-151Q・161Q・191Q シリーズ）使用時に適合する弊社製の最大マットレス厚。（　）寸法は、ベッドサイドレール（KS-171Q・111Q シリーズ・KS-019A）、ベッド用グリップ（KS-099A/B・KS-030A）使用時に適合する弊社製の最大マットレス厚。

注） JIS 規格を満たす最大マットレス厚は以下の通りです。

- KS-151Q・161Q・191Q シリーズ：15cm
- KS-099A/B・KS-030A・KS-111Q シリーズ：18cm
- KS-171Q シリーズ・KS-019A：21cm

※上記製品を組み合わせて使用する場合は、寸法が小さいものを基準にしてください。

※ KS-151Q・161Q・171Q・191Q・111Q シリーズの詳細につきましては「適合表」を参照してください。

☞ 適合表(P.60)

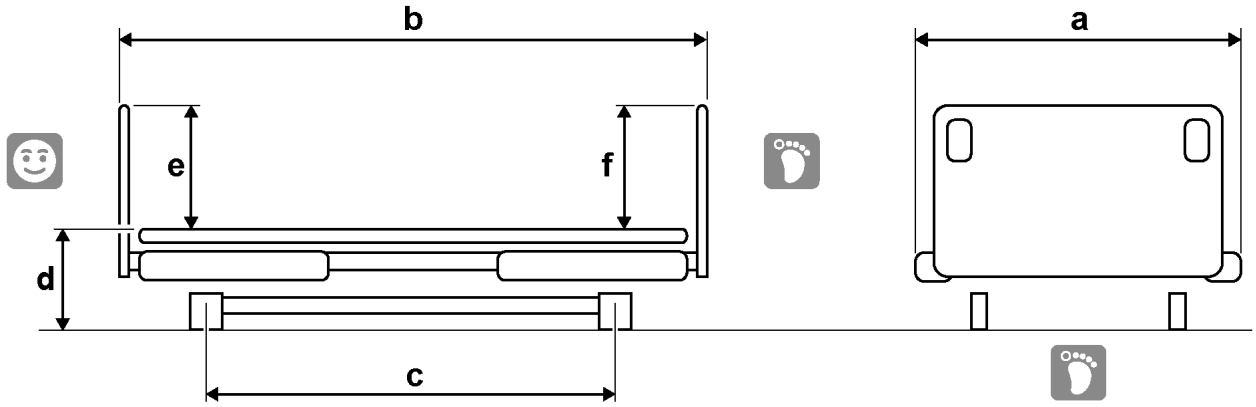
電装品

形式	リニアアクチュエータ（DC モーター）
電源電圧、周波数	AC100V、50/60Hz
消費電力	背あげ：70W 以下　膝あげ：100W 以下　高さ調節：225W 以下
待機電力	5W 以下
最大連続使用時間	3 分（休止時間 57 分※3）
動作音	65dB 以下

※3 ベッドを最大連続使用時間（3 分）動作させた場合、電装品を加熱から保護するための時間。

各部の寸法

項　目		箇　所
a	全幅	最大外形寸法（オプション受格納時寸法）
b	全長	最大外形寸法
c	脚座間の長さ	脚座の中心間長さ
d	ボトムの高さ	ゆか～ボトム上面（最低高さ～最高高さ）
e	ボードの高さ	ボトム上面～ボード上端
f	ボードの高さ	ボトム上面～ボード上端



ベッド本体

3 モーターシリーズ（らくらく・背・膝・高さ）

83 幅	品番 JIS 認証取得	KQ-C31＊1/KQ-C31＊1A KQ-C31＊2/KQ-C31＊2A KQ-C31＊0/KQ-C31＊0A ※4	KQ-C31＊B/KQ-C31＊BA KQ-C31＊C/KQ-C31＊CA ※4	KQ-C31＊4/KQ-C31＊4A KQ-C31＊5/KQ-C31＊5A	KQ-C31＊D/KQ-C31＊DA KQ-C31＊E/KQ-C31＊EA
	寸法（cm）	a.95.2 b.212（ミニ 201 ロング 223）c.125.2 d.21-64.5（超低床 15-58.5）e.40.6 f.40.6	a.95.2 b.206（ミニ 195 ロング 217）c.125.2 d.21-64.5（超低床 15-58.5）e.40.6 f.-	a.95.2 b.202.5（ミニ 191.5 ロング 213.5）c.125.2 d.21-64.5（超低床 15-58.5）e.41 f.41	a.95.2 b.201（ミニ 190 ロング 212）c.125.2 d.21-64.5（超低床 15-58.5）e.41 f.-
	製品質量（kg）	80.5	76.5	81.5	77
91 幅	品番 JIS 認証取得	KQ-C33＊1/KQ-C33＊1A KQ-C33＊2/KQ-C33＊2A KQ-C33＊0/KQ-C33＊0A ※4	KQ-C33＊B/KQ-C33＊BA KQ-C33＊C/KQ-C33＊CA ※4	KQ-C33＊4/KQ-C33＊4A KQ-C33＊5/KQ-C33＊5A	KQ-C33＊D/KQ-C33＊DA KQ-C33＊E/KQ-C33＊EA
	寸法（cm）	a.99.2 b.212（ミニ 201 ロング 223）c.125.2 d.21-64.5（超低床 15-58.5）e.40.6 f.40.6	a.99.2 b.206（ミニ 195 ロング 217）c.125.2 d.21-64.5（超低床 15-58.5）e.40.6 f.-	a.99.2 b.202.5（ミニ 191.5 ロング 213.5）c.125.2 d.21-64.5（超低床 15-58.5）e.41 f.41	a.99.2 b.201（ミニ 190 ロング 212）c.125.2 d.21-64.5（超低床 15-58.5）e.41 f.-
	製品質量（kg）	80.5	76.5	81.5	77
フットパネル		なし	あり	なし	あり
モーター数		3 モーター			
手元スイッチ ※5		表示パネル付き手元スイッチ（10 ボタン） Bluetooth Low Energy（BLE）対応 液晶タッチパネル付き手元スイッチ Bluetooth Low Energy（BLE）対応			
主な材質	ボード	ポリプロピレン ポリウレタン系シート		MDF など オレフィン系シート	
動作範囲	背あげ傾斜角度/所要時間	0～75° [+7.5° , -5°] / 33 秒（普通）・25 秒（速い）			
	膝あげ傾斜角度/所要時間	0～30±3° / 12 秒（普通）・9 秒（速い）			
	昇降高さ調節量/所要時間 ※6	43. 5cm / 42 秒（普通）・30 秒（速い）			

※4 樹脂ボードには棚ユニットの取り付けが可能です。棚ユニット付ベッドの品番は QR コードを参照してください。
棚ユニット付きベッドの場合、寸法が変わります。製品質量は＋2 kg、全長は＋6.7cm、棚ユニットを取り付けたボード高さは＋1.7cm です。
棚ユニットの電源コード有効長さは、棚ユニットとコンセントが同じ側にある場合 2.5m、異なる場合 0.5mになります。

☞ ベッド品番 QR コード(P.87)

※5 付属の手元スイッチによって販売製品コードが変わります。

KQ - C3＊＊＊の手元スイッチは RC10D0

KQ - C3＊＊＊A の手元スイッチは RC5000

※6 所要時間はあげるときの時間です。さげるときに、ゆかからボトム上面までの高さが 36cm（超低床時：30cm）に達した時点で安全性確保のため警告音が鳴り一旦停止します。再度、高ささげボタンを押すと警告音を繰り返し鳴らしながら低速で最低高さまでさがるため、所要時間は異なります。

２モーションシリーズ（背・高さ）

83 幅	品番 JIS 認証取得	KQ-C41＊1/KQ-C41＊1A KQ-C41＊2/KQ-C41＊2A KQ-C41＊0/KQ-C41＊0A ※4	KQ-C41＊B/KQ-C41＊BA KQ-C41＊C/KQ-C41＊CA ※4	KQ-C41＊4/KQ-C41＊4A KQ-C41＊5/KQ-C41＊5A	KQ-C41＊D/KQ-C41＊DA KQ-C41＊E/KQ-C41＊EA
	寸法（cm）	a.95.2 b.212（ミニ 201 ロング 223）c.125.2 d.21-64.5（超低床 15-58.5）e.40.6 f.40.6	a.95.2 b.206（ミニ 195 ロング 217）c.125.2 d.21-64.5（超低床 15-58.5）e.40.6 f.-	a.95.2 b.202.5（ミニ 191.5 ロング 213.5）c.125.2 d.21-64.5（超低床 15-58.5）e.41 f.41	a.95.2 b.201（ミニ 190 ロング 212）c.125.2 d.21-64.5（超低床 15-58.5）e.41 f.-
	製品質量（kg）	79	75	80	75.5
91 幅	品番 JIS 認証取得	KQ-C43＊1/KQ-C43＊1A KQ-C43＊2/KQ-C43＊2A KQ-C43＊0/KQ-C43＊0A ※4	KQ-C43＊B/KQ-C43＊BA KQ-C43＊C/KQ-C43＊CA ※4	KQ-C43＊4/KQ-C43＊4A KQ-C43＊5/KQ-C43＊5A	KQ-C43＊D/KQ-C43＊DA KQ-C43＊E/KQ-C43＊EA
	寸法（cm）	a.99.2 b.212（ミニ 201 ロング 223）c.125.2 d.21-64.5（超低床 15-58.5）e.40.6 f.40.6	a.99.2 b.206（ミニ 195 ロング 217）c.125.2 d.21-64.5（超低床 15-58.5）e.40.6 f.-	a.99.2 b.202.5（ミニ 191.5 ロング 213.5）c.125.2 d.21-64.5（超低床 15-58.5）e.41 f.41	a.99.2 b.201（ミニ 190 ロング 212）c.125.2 d.21-64.5（超低床 15-58.5）e.41 f.-
	製品質量（kg）	79	75	80	75.5
フットパネル		なし	あり	なし	あり
モーター数		3 モーター			
手元スイッチ※5		表示パネル付き手元スイッチ（6 ボタン） Bluetooth Low Energy（BLE）対応 液晶タッチパネル付き手元スイッチ Bluetooth Low Energy（BLE）対応			
主な材質	ボード	ポリプロピレン ポリウレタン系シート		MDF など オレフィン系シート	
動作範囲	背あげ傾斜角度 /所要時間	0～75° [+7.5° , -5°] / 33 秒（普通）・25 秒（速い）			
	膝あげ傾斜角度 /所要時間	0～20±2°（背膝連動（モーター駆動）時）/-			
	昇降高さ調節量 /所要時間※6	43. 5cm / 42 秒（普通）・30 秒（速い）			

※4 樹脂ボードには棚ユニットの取り付けが可能です。棚ユニット付ベッドの品番は QR コードを参照してください。
棚ユニット付きベッドの場合、寸法が変わります。製品質量は＋2 kg、全長は＋6.7cm、棚ユニットを取り付けたボード高さは＋1.7cm です。
棚ユニットの電源コード有効長さは、棚ユニットとコンセントが同じ側にある場合 2.5m、異なる場合 0.5mになります。

☞ ベッド品番 QR コード(P.87)

※5 付属の手元スイッチによって販売製品コードが変わります。

KQ - C3＊＊＊の手元スイッチは RC10D0

KQ - C3＊＊＊A の手元スイッチは RC5000

※6 所要時間はあげるときの時間です。さげるときに、ゆかからボトム上面までの高さが 36cm（超低床時：30cm）に達した時点で安全性確保のため警告音が鳴り一旦停止します。再度、高ささげボタンを押すと警告音を繰り返し鳴らしながら低速で最低高さまでさがるため、所要時間は異なります。

ベッド本体

２モーターシリーズ（背・高さ）

83 幅	品番 JIS 認証取得	KQ-C21＊1/KQ-C21＊1A KQ-C21＊2/KQ-C21＊2A KQ-C21＊0/KQ-C21＊0A ※4	KQ-C21＊B/KQ-C21＊BA KQ-C21＊C/KQ-C21＊CA ※4	KQ-C21＊4/KQ-C21＊4A KQ-C21＊5/KQ-C21＊5A	KQ-C21＊D/KQ-C21＊DA KQ-C21＊E/KQ-C21＊EA
	寸法（cm）	a.95.2 b.212（ミニ 201 ロング 223）c.125.2 d.21-64.5（超低床 15-58.5）e.40.6 f.40.6	a.95.2 b.206（ミニ 195 ロング 217）c.125.2 d.21-64.5（超低床 15-58.5）e.40.6 f.-	a.95.2 b.202.5（ミニ 191.5 ロング 213.5）c.125.2 d.21-64.5（超低床 15-58.5）e.41 f.41	a.95.2 b.201（ミニ 190 ロング 212）c.125.2 d.21-64.5（超低床 15-58.5）e.41 f.-
	製品質量（kg）	79	75	80	75.5
91 幅	品番 JIS 認証取得	KQ-C23＊1/KQ-C23＊1A KQ-C23＊2/KQ-C23＊2A KQ-C23＊0/KQ-C23＊0A ※4	KQ-C23＊B/KQ-C23＊BA KQ-C23＊C/KQ-C23＊CA ※4	KQ-C23＊4/KQ-C23＊4A KQ-C23＊5/KQ-C23＊5A	KQ-C23＊D/KQ-C23＊DA KQ-C23＊E/KQ-C23＊EA
	寸法（cm）	a.99.2 b.212（ミニ 201 ロング 223）c.125.2 d.21-64.5（超低床 15-58.5）e.40.6 f.40.6	a.99.2 b.206（ミニ 195 ロング 217）c.125.2 d.21-64.5（超低床 15-58.5）e.40.6 f.-	a.99.2 b.202.5（ミニ 191.5 ロング 213.5）c.125.2 d.21-64.5（超低床 15-58.5）e.41 f.41	a.99.2 b.201（ミニ 190 ロング 212）c.125.2 d.21-64.5（超低床 15-58.5）e.41 f.-
	製品質量（kg）	79	75	80	75.5
フットパネル		なし	あり	なし	あり
モーター数		2 モーター			
手元スイッチ※5		表示パネル付き手元スイッチ（6 ボタン） Bluetooth Low Energy（BLE）対応 液晶タッチパネル付き手元スイッチ Bluetooth Low Energy（BLE）対応			
主な材質	ボード	ポリプロピレン ポリウレタン系シート		MDF など オレフィン系シート	
動作範囲	背あげ傾斜角度 /所要時間	0～75° [+7.5° , -5°] / 33 秒（普通）・25 秒（速い）			
	膝あげ傾斜角度 /所要時間	0～14±2°（背膝連動時）/-			
	昇降高さ調節量 /所要時間※6	43. 5cm / 42 秒（普通）・30 秒（速い）			

※4 樹脂ボードには棚ユニットの取り付けが可能です。棚ユニット付ベッドの品番は QR コードを参照してください。
棚ユニット付きベッドの場合、寸法が変わります。製品質量は＋2 kg、全長は＋6.7cm、棚ユニットを取り付けたボード高さは＋1.7cm です。
棚ユニットの電源コード有効長さは、棚ユニットとコンセントが同じ側にある場合 2.5m、異なる場合 0.5mになります。

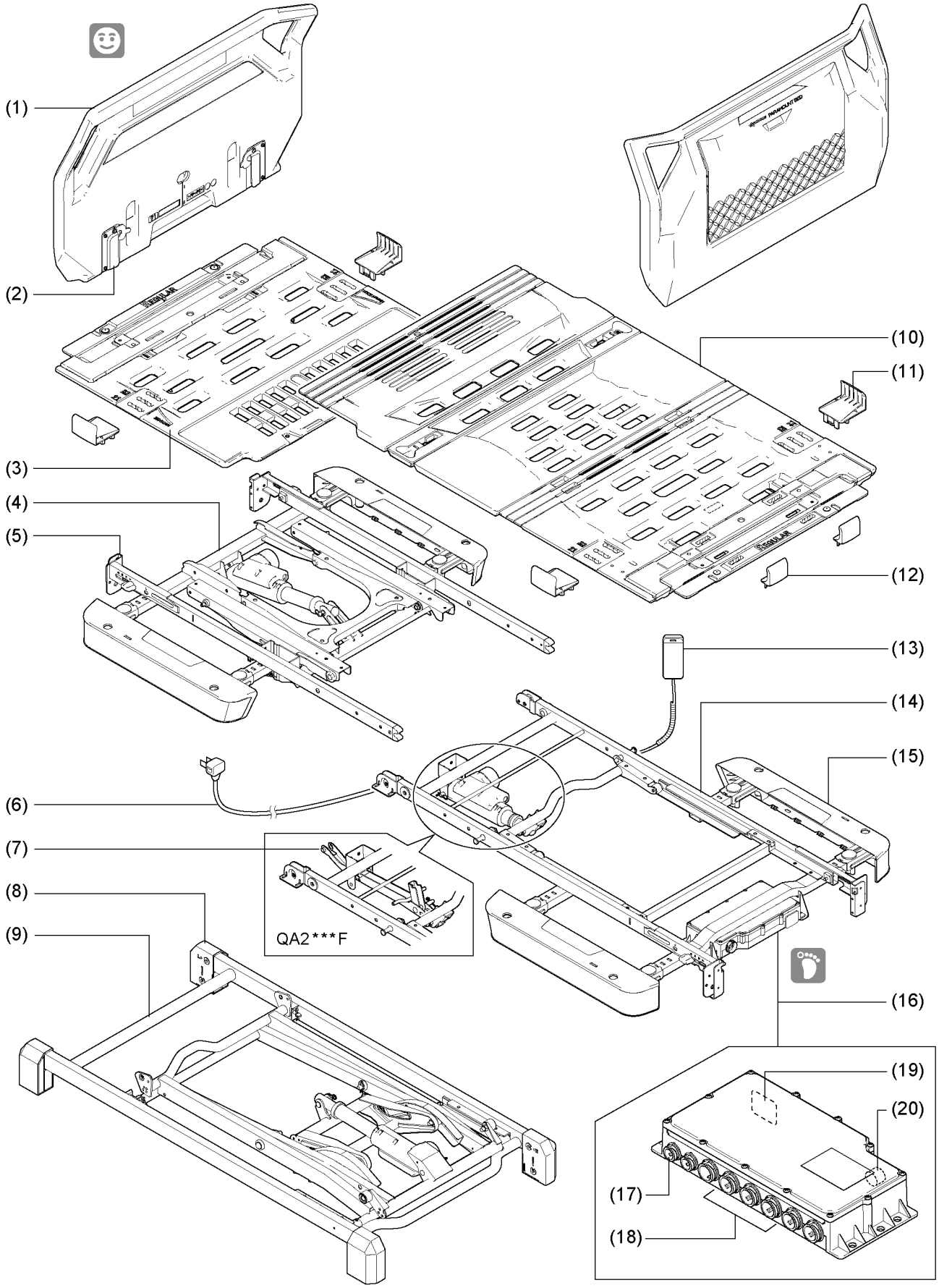
☞ ベッド品番 QR コード(P.87)

※5 付属の手元スイッチによって販売製品コードが変わります。

KQ - C3＊＊＊の手元スイッチは RC10D0

KQ - C3＊＊＊A の手元スイッチは RC5000

※6 所要時間はあげるときの時間です。さげるときに、ゆかからボトム上面までの高さが 36cm（超低床時：30cm）に達した時点で安全性確保のため警告音が鳴り一旦停止します。再度、高ささげボタンを押すと警告音を繰り返し鳴らしながら低速で最低高さまでさがるため、所要時間は異なります。


(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
(7)
(8)
(9)
(10)
(11)
(12)
(13)
(14)
(15)
(16)
(17)
(18)
(19)
(20)
QA2***F

各部の名称

No.	名　称	参照先
1	ボード（樹脂ボード・木目ボード・フットパネルがあります）	☞ ボードの取り付け(P.136) ☞ フットパネルの取り付け(P.137)
2	ボード取付金具	
3	背ボトム	☞ 背ボトムの取り付け(P.131)
4	頭側フレーム	☞ 頭側フレームの取り付け(P.120)
5	ボード受金具	☞ ボード受金具の調節(P.127)
6	電源コード	☞ 電源コードの配線(P.125)
7	背膝連動幹	☞ 背膝連動幹の取り外し(P.115) ☞ 背膝連動幹の取り付け(P.121)
8	脚座	☞ 脚座の取り付け(P.110)
9	ベースフレーム	☞ ベースフレームの設置(P.110)
10	膝・足ボトム	☞ 膝・足ボトムの取り付け(P.132)
11	マットレス止め（大）	☞ マットレス止めの取り付け(P.134)
12	マットレス止め（小）	
13	手元スイッチ	☞ 表示パネル付き手元スイッチの使いかた(P.22) ☞ 液晶タッチパネル付き手元スイッチの使いかた(P.34)
14	足側フレーム	☞足側フレームの取り付け(P.115)
15	オプション受	☞ オプション受の調節(P.126)
16	コントロールボックス	☞ ハイローアクチュエーターの配線(P.123) ☞ 背アクチュエーターの配線(P.124)
17	手元スイッチのコネクター差込部	―
18	アクチュエーターケーブルのコネクター差込部	―
19	乾電池接続部	☞ 乾電池使用での背さげ･膝さげ(P.81)
20	電源コードのコネクター差込部	―

梱包部品の確認

開梱後、下記の部品がすべて揃っていること、破損していないことを確認してください。万一、部品の不足や破損があった場合には、販売店またはコールセンターまでご連絡ください。

⚠ 注意

重量のあるユニットを用いてベッドを組み立てたり、移動したりするときは、2 人以上で作業を行ってください。

背や腰などを痛めるおそれがあります。

組み立てのときには、ユニット同士やユニットの可動部などで、手や指をはさまないように注意してください。

けがをするおそれがあります。

⚠ 警告

QA3000V を使用してベッドを組み立てる場合は、梱包されている取扱説明書や組立付属部品（脚座を除く）は使用しないでください。

正しく組み立てができず、思わぬけがや故障するおそれがあります。

QA3000V に梱包されている取扱説明書を使用者に渡さないでください。

誤ったベッドの操作を行い、 思わぬけがや故障するおそれがあります。

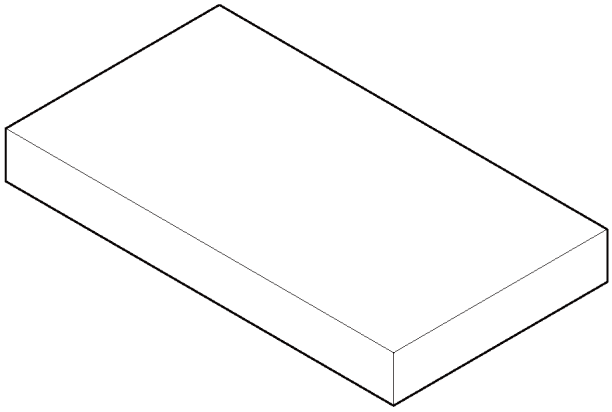
QA3000V を使用する場合のユニット組合せに関しては下記仕様ページの QR コードを参照してください。

☞ ベッド品番 QR コード(P.87)

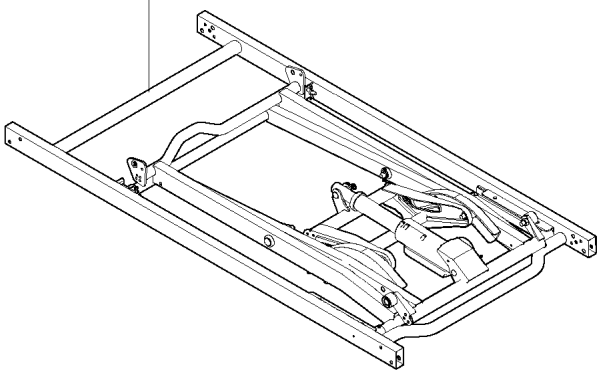
梱包部品の確認

ベースフレーム

梱包状態



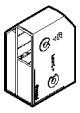
製品識別表示ラベル



品番	QC3000Ⅴ
質量（kg）	23.5（28）
梱包サイズ（cm）	133.6×73.6×15.7

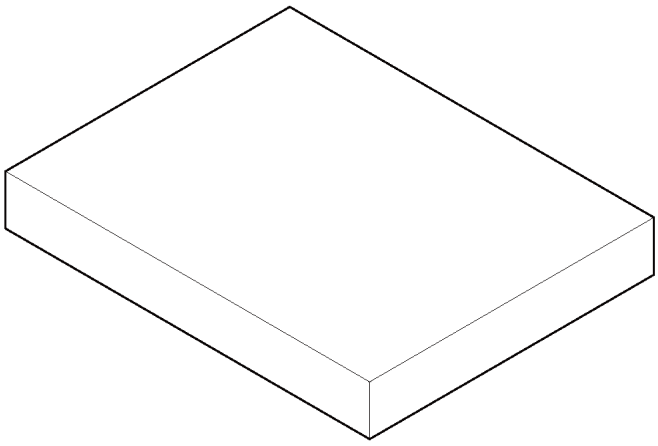
※（　）内の数字は、梱包材を含む質量です。

付属部品

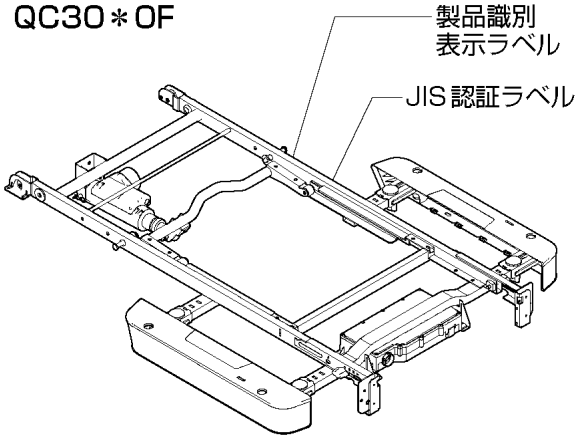
部品名	図	数量	部品名	図	数量
脚座（右）		2	脚座（左）		2
プッシュリベット（グレー）		4			

足側フレーム

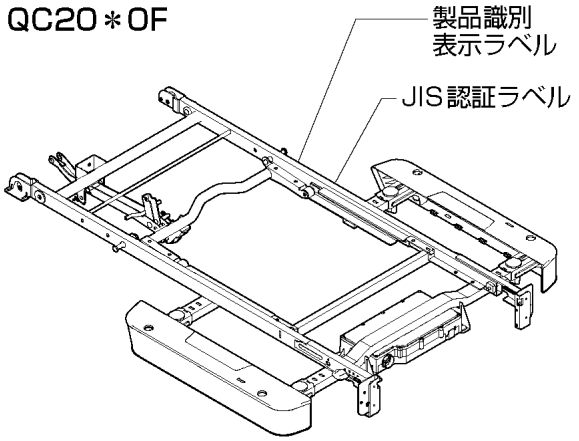
梱包状態



QC30＊OF



QC20＊OF

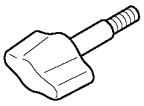
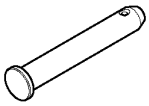


ベッドの種類	KQ-C3＊＊＊/KQ-C3＊＊＊＊ KQ-C4＊＊＊/KQ-C4＊＊＊＊	KQ-C2＊＊＊/KQ-C2＊＊＊＊
品番	QC3000F/QC3010F/QC3020F	QC2000F/QC2010F/QC2020F
質量（kg）	18.5（22.5）	17（21）
梱包サイズ（cm）	127.8×94.4×17.7	

※ （　）内の数字は、梱包材を含む質量です。

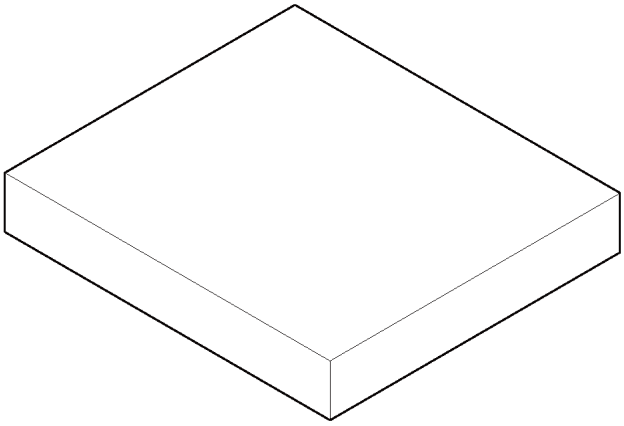
梱包部品の確認

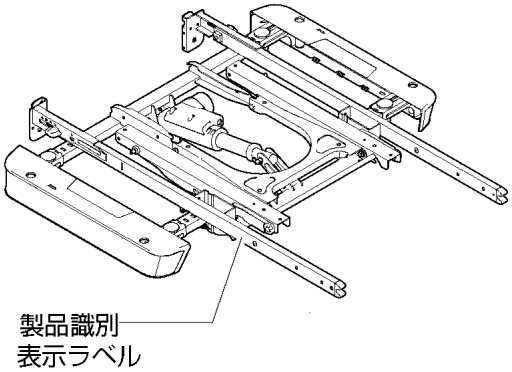
付属部品

部品名	図	数量	部品名	図	数量
連結ピン（短）		2	ノブボルト		2
スナップピン（大）		2	連結ピン（長）		2
コードクリップ		1	スナップピン（小）		2
取扱説明書 すき間および電装品についての注意事項 保証書		各 1			

頭側フレーム

梱包状態





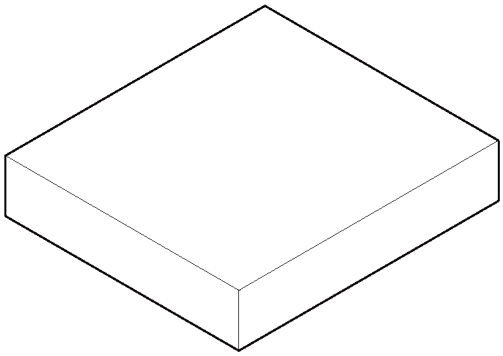
品番	QC3000H/QC3010H/QC3020H
質量（kg）	19（22.5）
梱包サイズ（cm）	110×94.4×17.7

※ （　）内の数字は、梱包材を含む質量です。

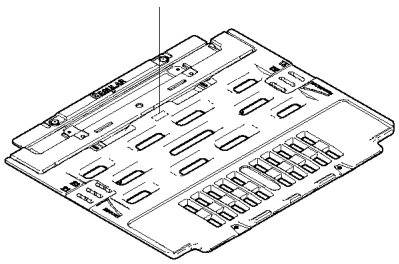
梱包部品の確認

ボトム

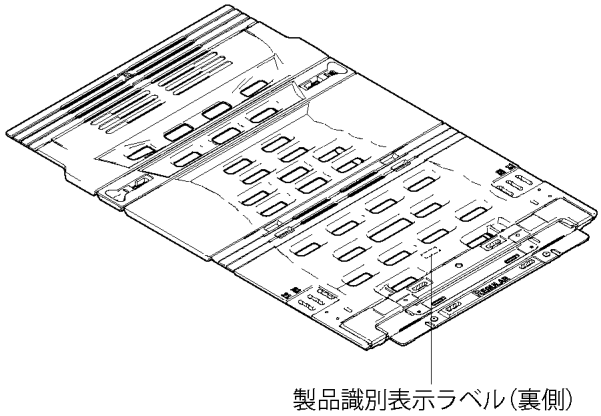
梱包状態



背ボトム



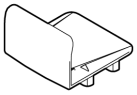
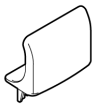
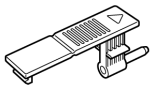
膝・足ボトム



品番	QC0400U
質量（kg）	10.5（12.5）
梱包サイズ（cm）	89.5×81×18

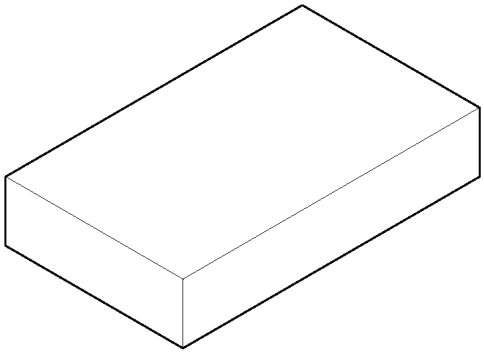
※ （　）内の数字は、梱包材を含む質量です。

付属部品

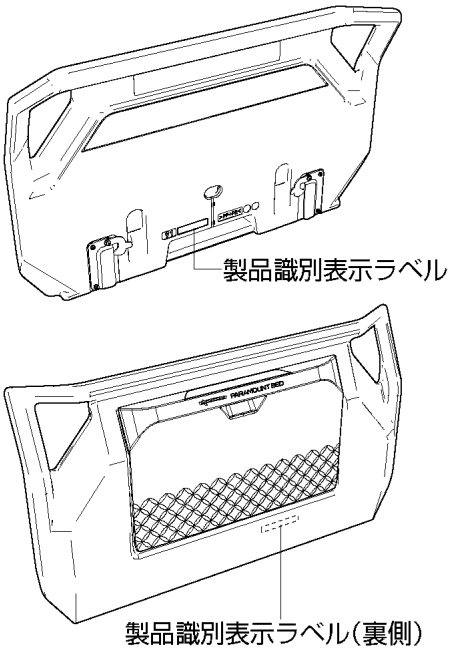
部品名	図	数量	部品名	図	数量
マットレス止め（大）		4	マットレス止め（小）		2
プッシュリベット（黒）		2	ロックピン		2

樹脂ボード

梱包状態



ヘッド・フットボード(共通)



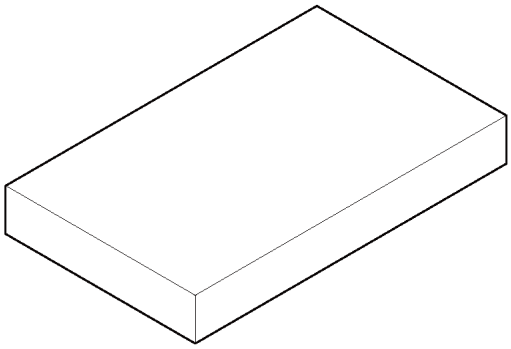
ベッドの種類	KQ-C＊1＊＊/KQ-C＊1＊＊＊	KQ-C＊3＊＊/KQ-C＊3＊＊＊
品番	QC0100B/QC0101B/QC0102B	QC0300B/QC0301B/QC0302B
質量（kg）	9(10.5)［4.5(6)］	9(10.5)［4.5(6)］
梱包サイズ（cm）	92×55×17.9	

※ （　）内の数字は、梱包材を含む質量です。

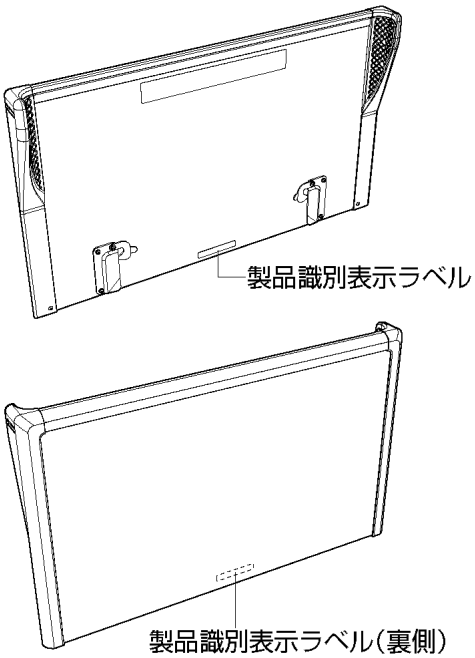
※ ［　］内の数字は、足側にフットパネルを取り付けるとき（ボード 1 枚）の質量です。

木目ボード

梱包状態



ヘッド・フットボード(共通)



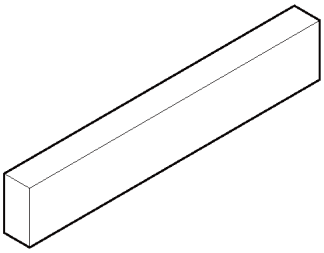
ベッドの種類	KQ-C＊1＊＊/KQ-C＊1＊＊＊	KQ-C＊3＊＊/KQ-C＊3＊＊＊
品番	QC0104B/QC0105B	QC0304B/QC0305B
質量（kg）	10(12)［5(7)］	10(12)［5(7)］
梱包サイズ（cm）	90.9×57.2×12.9	94.9×57.2×12.9

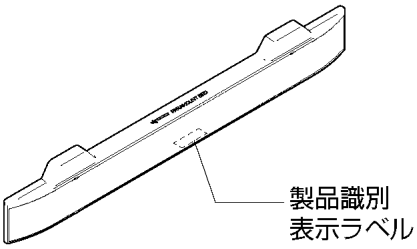
※ （　）内の数字は、梱包材を含む質量です。

※ ［　］内の数字は、足側にフットパネルを取り付けるとき（ボード 1 枚）の質量です。

フットパネル

梱包状態

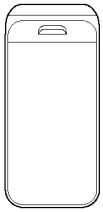




ベッドの種類	KQ-C＊＊＊B/KQ-C＊＊＊B＊ KQ-C＊＊＊D/KQ-C＊＊＊D＊	KQ-C＊＊＊C/KQ-C＊＊＊C＊ KQ-C＊＊＊E/KQ-C＊＊＊E＊
品番	QPC01C	QPC02C
質量（kg）	0.5（0.7）	
梱包サイズ（cm）	88.1×13.5×6	

※ （　）内の数字は、梱包材を含む質量です。

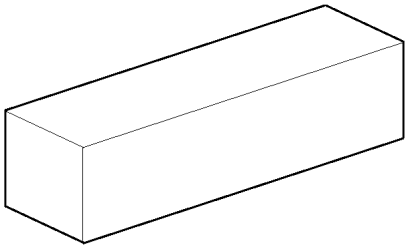
手元スイッチ

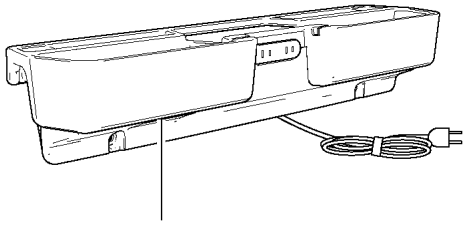
品番	RC10D0	RC16D0	RC5＊00
質量（kg）	0.5	0.5	0.5
			

梱包部品の確認

棚ユニット

梱包状態





品番	QA0308A
質量（kg）	2（2.5）
梱包サイズ（cm）	70×19×18.8

※ （　）内の数字は、梱包材を含む質量です。

付属部品

部品名	図	数量	部品名	図	数量
ボルト		2	クリップ		1
ケーブルクランプ		3	取扱説明書		1

ベースフレーム（QA3000V）を使用する場合

楽匠フィットシリーズは、楽匠プラスシリーズのベースフレーム（QA3000V）を使用して、ベッドを組み立てることができます。

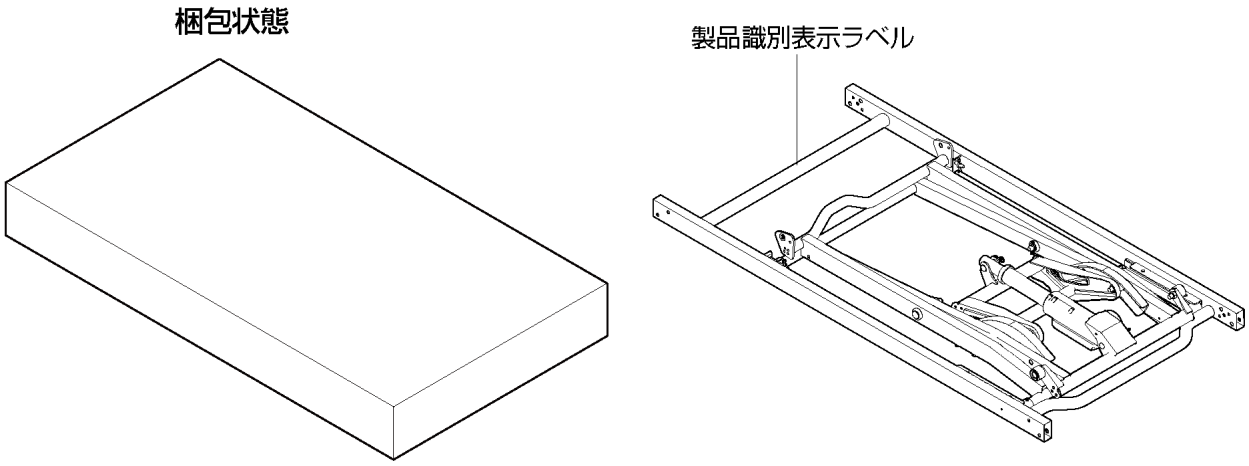
⚠ 警告

QA3000V を使用してベッドを組み立てる場合は、梱包されている取扱説明書や組立付属部品（脚座、プッシュリベットを除く）は使用しないでください。

正しく組み立てができず、思わぬけがや故障するおそれがあります。

QA3000V に梱包されている取扱説明書を使用者に渡さないでください。

誤ったベッドの操作を行い、 思わぬけがや故障するおそれがあります。



品番	QA3000Ⅴ
質量（kg）	23.5（27.7）
梱包サイズ（cm）	133.6×73.6×15.7

※ （　）内の数字は、梱包材を含む質量です。

梱包部品の確認

使用します。

部品名	図	数量	部品名	図	数量
脚座（右）		2	脚座（左）		2
プッシュリベット（グレー）		4			

使用しないでください。

部品名	図	数量	部品名	図	数量
連結ピン（短）		2	ノブボルト		2
スナップピン（大）		2	連結ピン（長）		2
コードクリップ		1	スナップピン（小）		2
取扱説明書 すき間および電装品についての注意事項 保証書		各 1			

ユニットの組み合わせ

下表は楽匠フィットシリーズのユニットの組み合わせです。下表にないベッド品番のユニット組み合わせは、QR コードから参照してください。下表および QR コードに記載がある組み合わせで JIS 認証を取得しています。その他の組み合わせでは使用しないでください。JIS 認証を取得していない状態となります。

☞ ベッド品番 QR コード(P.87)

⚠ 警告

ベッドは正しいユニットの組み合わせを確認した上で組み立ててください。

誤った組み合わせで使用すると、思わぬけがや故障のおそれがあります。各ユニットの番号は、段ボール箱・製品識別表示ラベルに記載されています。

3 モーターシリーズ（らくらく・背・膝・高さ）

83cm 幅	レギュラー/ロング/ミニ　共通								
	KQ-C3111	KQ-C3114	KQ-C311B	KQ-C311D	KQ-C3122	KQ-C3125	KQ-C312C	KQ-C312E	KQ-C3100
	KQ-C3111A	KQ-C3114A	KQ-C311BA	KQ-C311DA	KQ-C3122A	KQ-C3125A	KQ-C312CA	KQ-C312EA	KQ-C3100A
ベースフレーム	QC3000V								
足側フレーム	QC3010Ｆ				QC3020Ｆ				QC3000Ｆ
頭側フレーム	QC3010H				QC3020H				QC3000H
ボトム	QC0400U								
ボード	QC0101B	QC0104B	QC0101B※2	QC0104B※2	QC0102B	QC0105B	QC0102B※2	QC0105B※2	QC0100B
手元スイッチ	RC10D0/RC5000※1								
フットパネル	—		QPC01C		—		QPC02C		—

91cm 幅	レギュラー/ロング/ミニ　共通								
	KQ-C3311	KQ-C3314	KQ-C331B	KQ-C331D	KQ-C3322	KQ-C3325	KQ-C332C	KQ-C332E	KQ-C3300
	KQ-C3311A	KQ-C3314A	KQ-C331BA	KQ-C331DA	KQ-C3322A	KQ-C3325A	KQ-C332CA	KQ-C332EA	KQ-C3300A
ベースフレーム	QC3000V								
足側フレーム	QC3010Ｆ				QC3020Ｆ				QC3000Ｆ
頭側フレーム	QC3010H				QC3020H				QC3000H
ボトム	QC0400U								
ボード	QC0301B	QC0304B	QC0301B※2	QC0304B※2	QC0302B	QC0305B	QC0302B※2	QC0305B※2	QC0300B
手元スイッチ	RC10D0/RC5000※1								
フットパネル	—		QPC01C		—		QPC02C		—

※1 付属の手元スイッチによって販売製品コードが変わります。

KQ - C3＊＊＊の手元スイッチは RC10D0

KQ - C3＊＊＊A の手元スイッチは RC5000

※2 足側にフットパネルを取り付ける仕様のボードは 1 枚です。

ユニットの組み合わせ

2 モーションシリーズ（背・高さ）

83cm 幅	レギュラー/ロング/ミニ　共通								
	KQ-C4111	KQ-C4114	KQ-C411B	KQ-C411D	KQ-C4122	KQ-C4125	KQ-C412C	KQ-C412E	KQ-C4100
	KQ-C4111A	KQ-C4114A	KQ-C411BA	KQ-C411DA	KQ-C4122A	KQ-C4125A	KQ-C412CA	KQ-C412EA	KQ-C4100A
ベースフレーム	QC3000V								
足側フレーム	QC3010Ｆ				QC3020Ｆ				QC3000Ｆ
頭側フレーム	QC3010H				QC3020H				QC3000H
ボトム	QC0400U								
ボード	QC0101B	QC0104B	QC0101B※2	QC0104B※2	QC0102B	QC0105B	QC0102B※2	QC0105B※2	QC0100B
手元スイッチ	RC16D0/RC5600※1								
フットパネル	―		QPC01C		―		QPC02C		―

91cm 幅	レギュラー/ロング/ミニ　共通								
	KQ-C4311	KQ-C4314	KQ-C431B	KQ-C431D	KQ-C4322	KQ-C4325	KQ-C432C	KQ-C432E	KQ-C4300
	KQ-C4311A	KQ-C4314A	KQ-C431BA	KQ-C431DA	KQ-C4322A	KQ-C4325A	KQ-C432CA	KQ-C432EA	KQ-C4300A
ベースフレーム	QC3000V								
足側フレーム	QC3010Ｆ				QC3020Ｆ				QC3000Ｆ
頭側フレーム	QC3010H				QC3020H				QC3000H
ボトム	QC0400U								
ボード	QC0301B	QC0304B	QC0301B※2	QC0304B※2	QC0302B	QC0305B	QC0302B※2	QC0305B※2	QC0300B
手元スイッチ	RC16D0/RC5600※1								
フットパネル	―		QPC01C		―		QPC02C		―

※1 付属の手元スイッチによって販売製品コードが変わります。

KQ‐C4＊＊＊の手元スイッチは RC16D0

KQ‐C4＊＊＊A の手元スイッチは RC5600

※2 足側にフットパネルを取り付ける仕様のボードは 1 枚です。

2 モーターシリーズ（背・高さ）

83cm 幅	レギュラー/ロング/ミニ　共通								
	KQ-C2111	KQ-C2114	KQ-C211B	KQ-C211D	KQ-C2122	KQ-C2125	KQ-C212C	KQ-C212E	KQ-C2100
	KQ-C2111A	KQ-C2114A	KQ-C211BA	KQ-C211DA	KQ-C2122A	KQ-C2125A	KQ-C212CA	KQ-C212EA	KQ-C2100A
ベースフレーム	QC3000V								
足側フレーム	QC2010Ｆ				QC2020Ｆ				QC2000Ｆ
頭側フレーム	QC3010H				QC3020H				QC3000H
ボトム	QC0400U								
ボード	QC0101B	QC0104B	QC0101B※2	QC0104B※2	QC0102B	QC0105B	QC0102B※2	QC0105B※2	QC0100B
手元スイッチ	RC16D0/RC5600※1								
フットパネル	―		QPC01C		―		QPC02C		―

91cm 幅	レギュラー/ロング/ミニ　共通								
	KQ-C2311	KQ-C2314	KQ-C231B	KQ-C231D	KQ-C2322	KQ-C2325	KQ-C232C	KQ-C232E	KQ-C2300
	KQ-C2311A	KQ-C2314A	KQ-C231BA	KQ-C231DA	KQ-C2322A	KQ-C2325A	KQ-C232CA	KQ-C232EA	KQ-C2300A
ベースフレーム	QC3000V								
足側フレーム	QC2010Ｆ				QC2020Ｆ				QC2000Ｆ
頭側フレーム	QC3010H				QC3020H				QC3000H
ボトム	QC0400U								
ボード	QC0301B	QC0304B	QC0301B※2	QC0304B※2	QC0302B	QC0305B	QC0302B※2	QC0305B※2	QC0300B
手元スイッチ	RC16D0/RC5600※1								
フットパネル	―		QPC01C		―		QPC02C		―

※1 付属の手元スイッチによって販売製品コードが変わります。

KQ - C2＊＊＊の手元スイッチは RC16D0

KQ - C2＊＊＊A の手元スイッチは RC5600

※2 足側にフットパネルを取り付ける仕様のボードは 1 枚です。

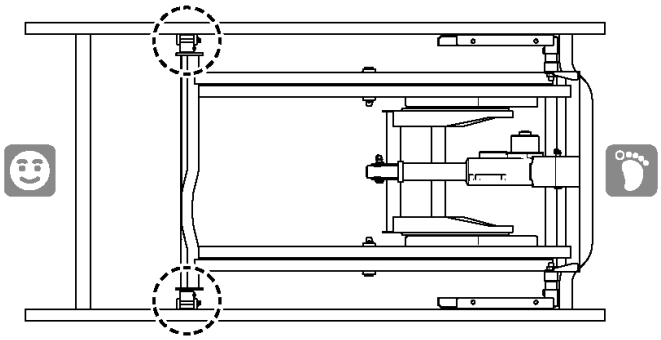
ベースフレームの分解・組立

ベースフレームの分解

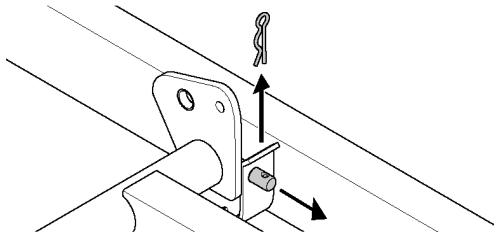
ベースフレームを分解すると、ユニットが軽量化できます。分解しないときは、ベースフレームの設置から行ってください。

☞ ベースフレームの設置(P.110)

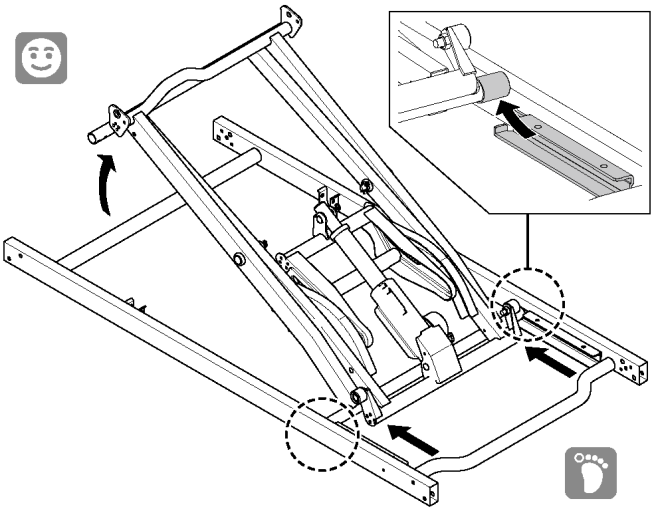
1. スナップピンを抜き、連結ピンを抜く。（左右各1ヶ所）



拡大図



2. パンタグラフ先端部を持ちあげ、ローラーを頭側にスライドさせて、パンタグラフを取り外す。



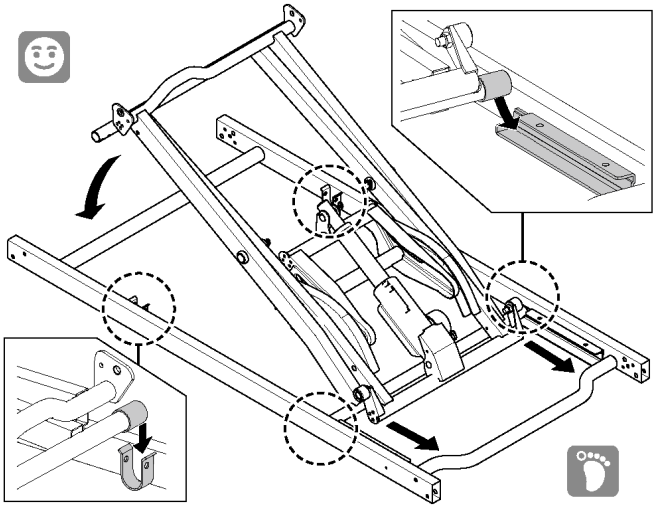
Note

取り外したスナップピン・連結ピンは紛失しないように保管してください。

ベースフレームの組立

1. パンタグラフのローラーをローラーガイドに載せ、足側にスライドさせる。

2. パンタグラフの先端部を持ってゆっくり倒し、台車のローラー受にパンタグラフのローラーをはめ込む。

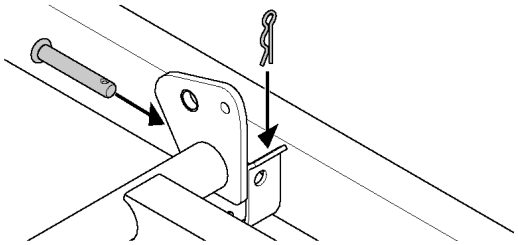


⚠ 警告

手や指、アクチュエーターのケーブルが台車やパンタグラフにはさまれないように注意してください。

けがや破損・断線のおそれがあります。

3. 連結ピンを差し込み、スナップピンで固定する。（左右各1ヶ所）



⚠ 警 告

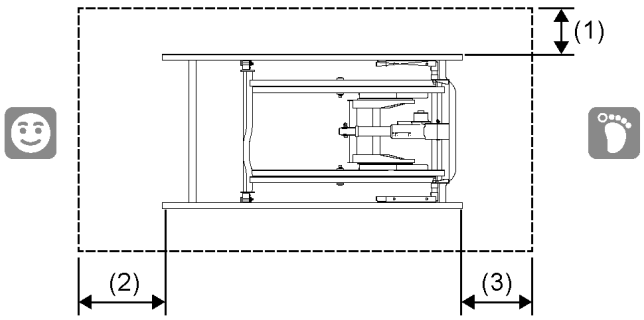
連結ピンはしっかりと差し込み、スナップピンを確実に取り付けてください。

取り付けが不完全な場合、ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。

ベースフレームの設置

下図を参考に「設置上の注意」に従い、頭側・足側の向きに注意してベッドの設置場所を決めてください。

下図の寸法はボトム長さがレギュラーで、マットレス幅 91cm の場合になります。ボトム長さをロングにする場合や棚ユニットを使用する場合は設置スペースにご注意ください。



(1) 17cm
(2) 44cm
(3) 40cm

☞ 設置上の注意(P.19)

脚座の取り付け

- 脚座の代わりにオプションを取り付ける場合は、脚座の取付作業は不要です。オプションの取り付けは、付属の取扱説明書を参照してください。

☞ 適合オプション(P.59)

- 脚座は取付向きによって、ベッドの高さ（床高）を変えることができます。

⚠ 警 告

プッシュリベットで脚座を確実に固定してください。

脚座が外れてけがや破損のおそれがあります。

脚座の向きやプッシュリベットの取付位置に注意して取り付けてください。

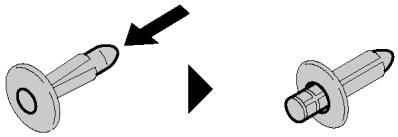
脚座が外れてけがや破損のおそれがあります。

すべりやすいゆか材（フローリングなど）の上で使用するときは、脚座やキャスターの下に敷物や脚座ゴムシート（別売）などを敷いてください。

ベッドが不意に動き、転倒してけがをするおそれがあります。

Note

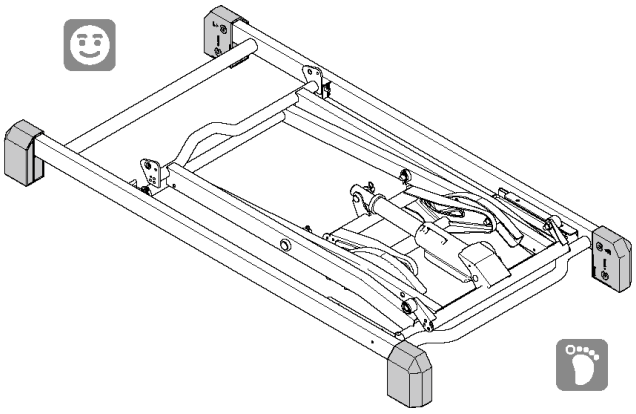
プッシュリベットの軸が出ていない場合は、軸を押し出してください。



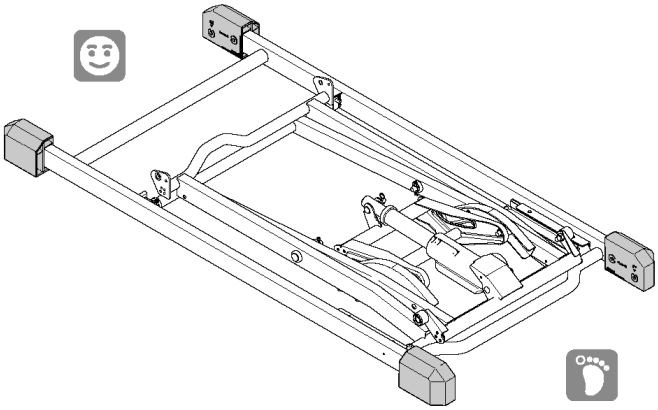
取付位置

脚座には左右があります。正しい位置に取り付けてください。

低床の場合



超低床の場合

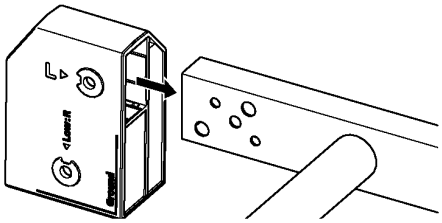


取付手順

1. ベースフレームを持ち、脚座の穴があいている方をベッドの内側にし、先端に脚座を差し込む。（4 ヶ所）

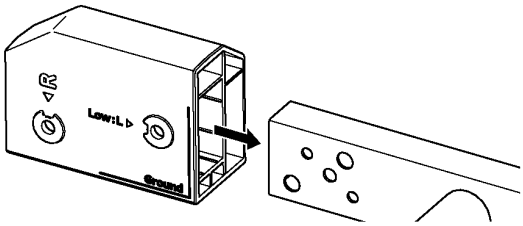
低床の場合

「Ground」の線がゆか側になるように取り付けてください。



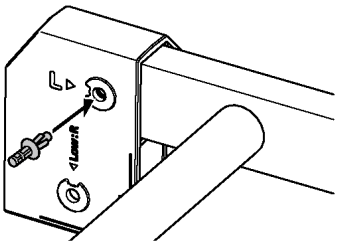
超低床の場合

「Ground」の文字がゆか側になるように取り付けてください。



2. ベースフレームと脚座の穴位置をあわせ、プッシュリベットを差し込む。

3. プッシュリベットの軸を指で「カチッ」と音がするまで押し込む。

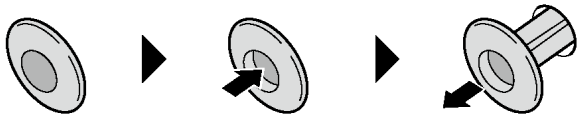


※ イラストは低床で取り付けの場合です。

プッシュリベットの取り外し

1. プッシュリベットの軸を「カチッ」と音がするまで指で押し込む。

※ 指で押し込めない場合は、押し込み過ぎないように注意しながらドライバーなどで軽く押し込んでください。



脚座の取付向きを変更する場合

⚠注意

脚座を取り外すと、ベースフレームが不安定になりますので注意してください。

ゆかを傷つけたり、思わぬけがをするおそれがあります。

手や指がベースフレームや脚座にはさまれないように注意してください。

けがをするおそれがあります。

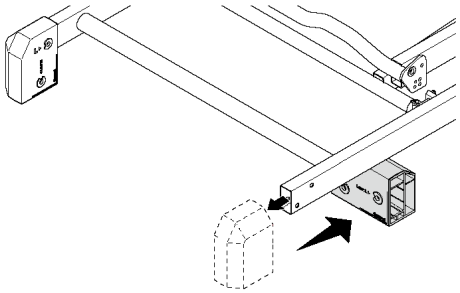
フレームをゆかに置くときは注意してください。

ゆかを傷つけるおそれがあります。

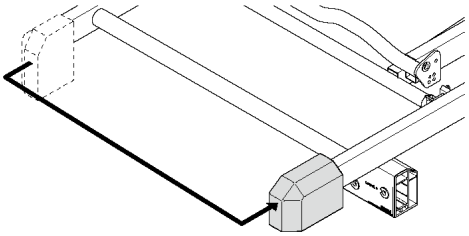
すべての脚座が同じ高さになるように取り付けてください。

ベッドが傾いて、思わぬけがをするおそれがあります。

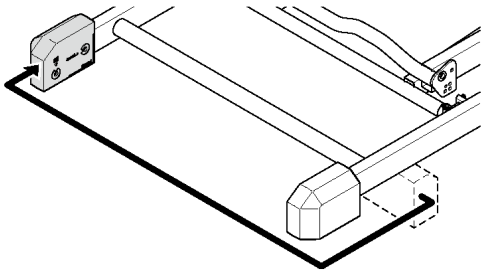
1. 脚座を取り外し、ベースフレームを手で持ちあげ、ベースフレームとゆかの間に脚座を置く。



2. 逆側の脚座を取り外し、脚座を取り外したベースフレームに脚座を取り付ける。



3. ベースフレームとゆかの間に置いた脚座を抜いて、脚座が付いていないベースフレームに取り付ける。



手元スイッチコードの配線

手元スイッチを使用する方向にあわせて配線してください。

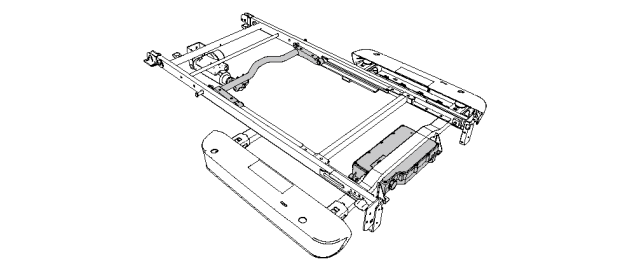
⚠注意

フレームをゆかに置くときは、注意してください。

ゆかを傷つけるおそれがあります。

持ち運びや組み立てをするときは、膝あげリンクやコントロールボックス周辺部を持たないでください。

けがや破損のおそれがあります。



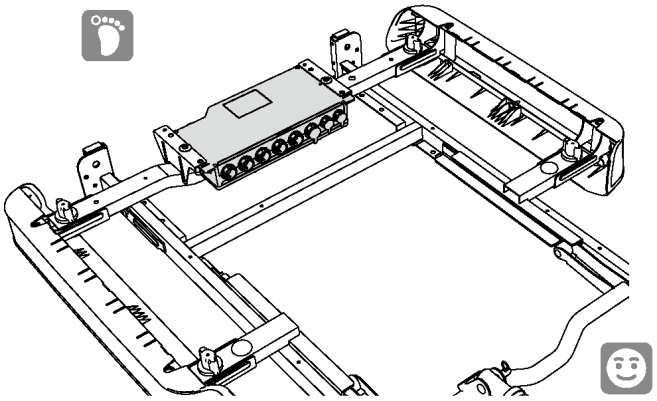
コードは正しく配線してください。

断線や破損のおそれがあります。

コネクター部をぶつけたり、無理な力を加えたりしないでください。

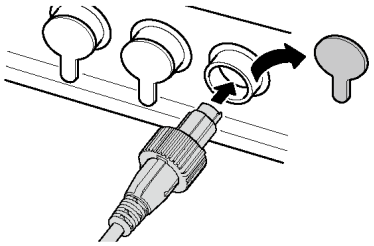
故障のおそれがあります。

1. 足側フレームを裏返して置く。



2. コントロールボックスのスイッチ 1 差込部（シール：黒）のキャップを取り外す。

3. 手元スイッチコードのコネクターの凸部を上向きにして差し込む。

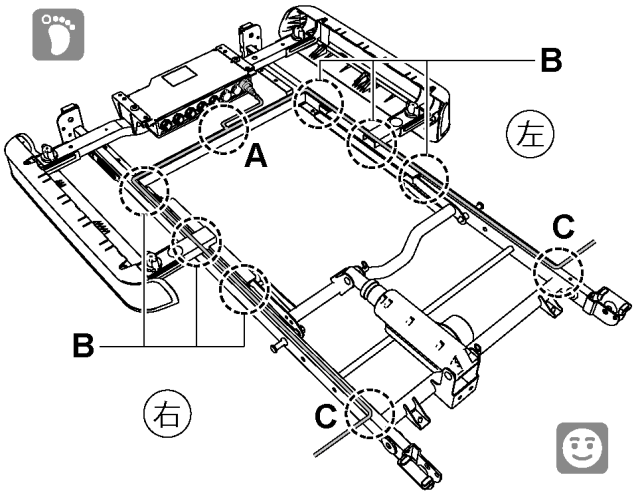


Note

取り外したキャップは、紛失しないように保管してください。

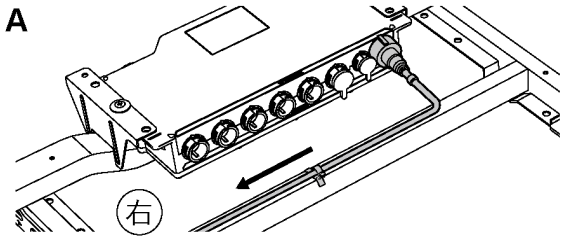
4. コネクターキャップの凸部が真上にくるように、時計回りに回す。「カチッ」と音がして固定される。

5. 配線する方向（左右）を決め、コードを A→B→C の順にクリップで留める。

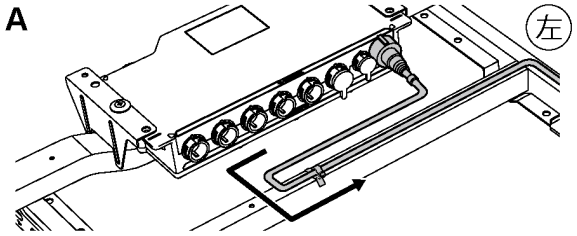


拡大図（クリップA）

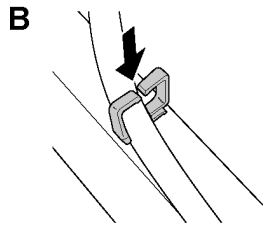
ベッド右側の配線



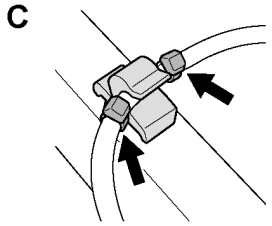
ベッド左側への配線



拡大図（クリップB）



拡大図（クリップC）



2 つのストッパーの間に留める。

背膝連動幹の取り外し

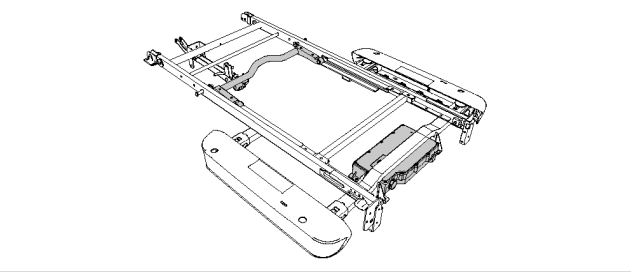
足側フレーム（QC2＊＊＊F）のみ作業を行います。

対象ベッド：2 モーターシリーズ（背・高さ）

⚠ 注 意

持ち運びや組み立て、分解するときは、膝あげリンクやコントロールボックス周辺部を持たないでください。

けがや破損のおそれがあります。

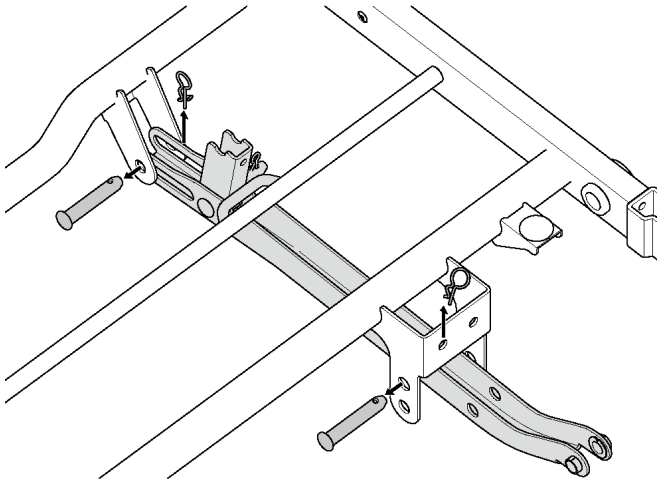


フレームをゆかに置くときは、注意してください。

ゆかを傷つけるおそれがあります。

1. フレームを水平な状態にする。

2. スナップピンと連結ピン(2 ヶ所)を取り外して、背膝連動幹をフレームから取り外す。



Note

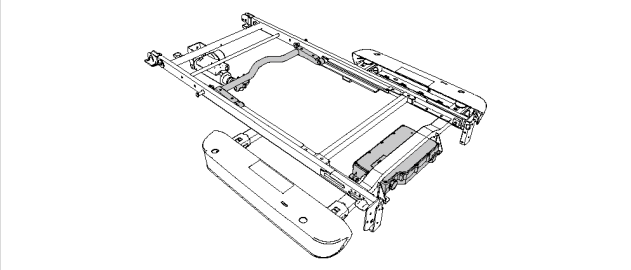
- 背膝連動幹・スナップピン・連結ピンは紛失しないように保管してください。
- 分解などのときは、逆の手順で背膝連動幹をフレームに取り付けてください。

足側フレームの取り付け

⚠ 注 意

持ち運びや組み立て、分解するときは、膝あげリンクやコントロールボックス周辺部を持たないでください。

けがや破損のおそれがあります。



フレームをゆかに置くときは、注意してください。

ゆかを傷つけるおそれがあります。

Note

脚座の代わりに下記オプションを使用するときは、「足側フレームの取り付け（脚座オプション使用時）」を参照してください。

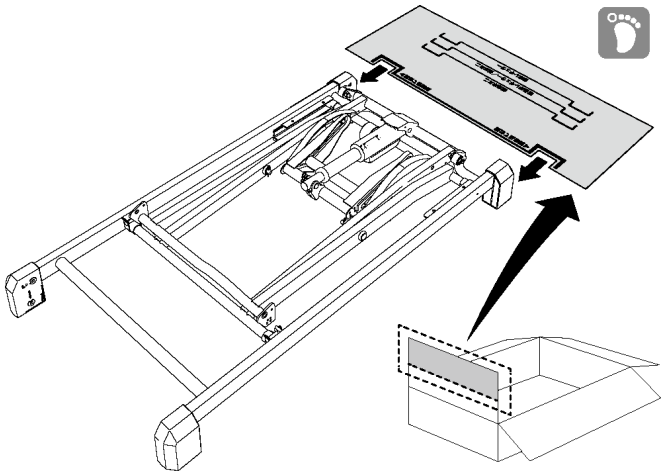
- キャスター（KQ-P90C）
- ハイトスペーサー（KQ-027A）
- キャスター付ハイトスペーサー（KQ-P90CH）

☞ 足側フレームの取り付け（脚座オプション使用時）(P.118)

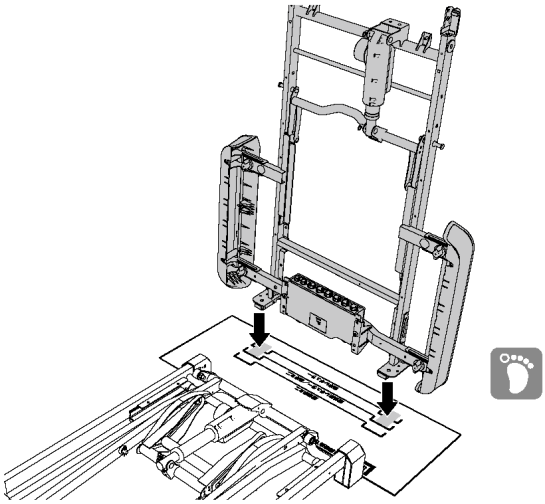
取付手順

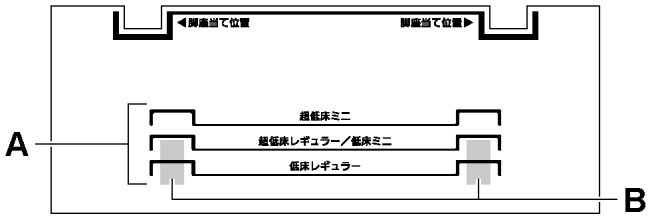
1. 電源コードを固定している輪ゴムを取り外す。

2. 足側フレームの外箱の取付位置あわせ用パッドをベースフレームに差し込む。



3. 足側フレームのボード受金具を、取付位置あわせ用パッドに記載されている位置に置く。





A；ボード受金具のあわせ位置　B：ボード受金具

※ イラストは低床ミニの場合です。

Note

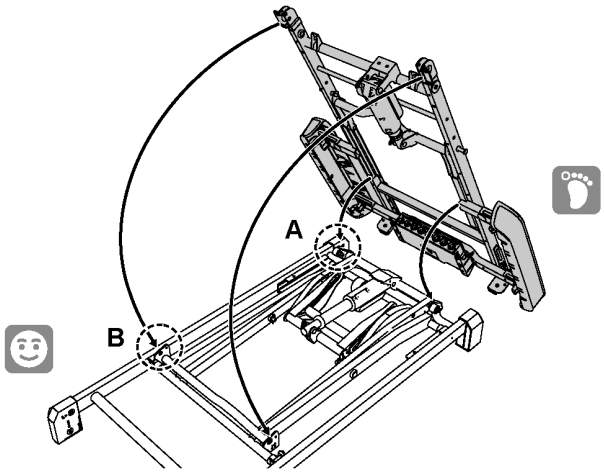
オプション脚座セット（KQ-PA0A）とハイトスペーサー（KQ-P90H）の組み合せを使用するときは、ボード受金具の「超低床レギュラー／低床ミニ」または「低床レギュラー」にあわせて置いてください。

⚠ 注 意

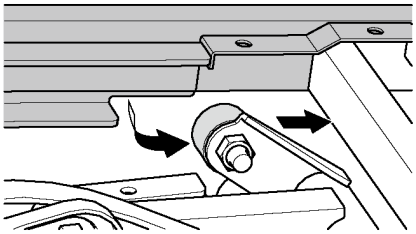
足側フレームを立てた状態で放置しないでください。

倒れてけがをしたり、ベッドが破損したりするおそれがあります。

4. 足側フレームの先端を持ってゆっくり倒し、ベースフレームのローラーに足側フレームのローラー受を載せる。



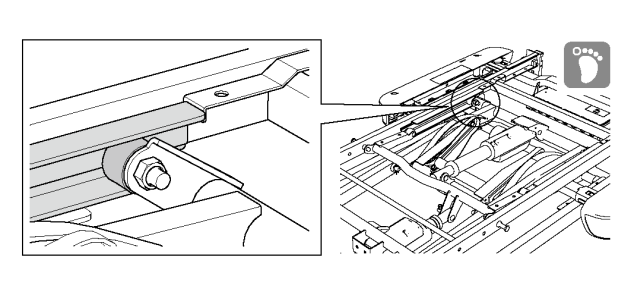
A拡大図



⚠ 警告

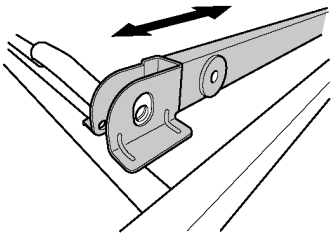
ローラーがローラー受に入っていることを確認してください。

入っていない場合、ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。



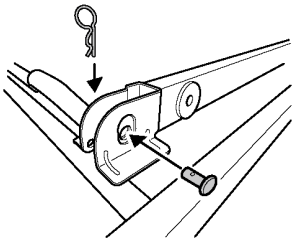
5. 足側フレームをスライドさせて、先端の穴をベースフレームの受金具の穴にあわせる。

B拡大図



6. あわせた穴に外側から連結ピン（短）を差し込む。

7. 連結ピン（短）の穴にスナップピン（大）を差し込む。（左右各１ヶ所）



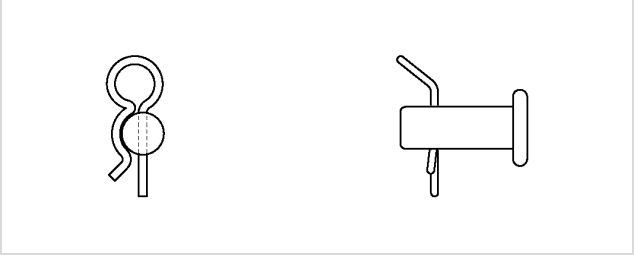
Note

足側フレームの先端を上から押すと、連結ピン（短）が差し込みやすくなります。

⚠ 警告

連結ピン（短）はしっかりと差し込み、裏面でスナップピン（大）を確実に取り付けてください。

取り付けが不完全な場合、ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。



足側フレームの取り付け（脚座オプション使用時）

下記脚座オプションを使用するときの取付手順を記載しています。

- キャスター（KQ-P90C）
- ハイトスペーサー（KQ-027A）
- キャスター付ハイトスペーサー（KQ-P90CH）

Note

- 各脚座オプションの取扱説明書を参照してください。

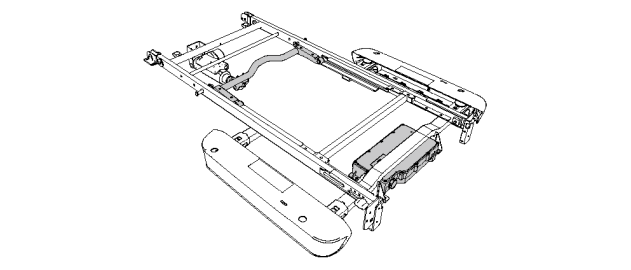
⚠注意

作業は２人以上で行ってください。

手や腕などをはさまれ、けがをするおそれがあります。

持ち運びや組み立てをするときは、膝あげリンクやコントロールボックス周辺部を持たないでください。

けがや破損のおそれがあります。

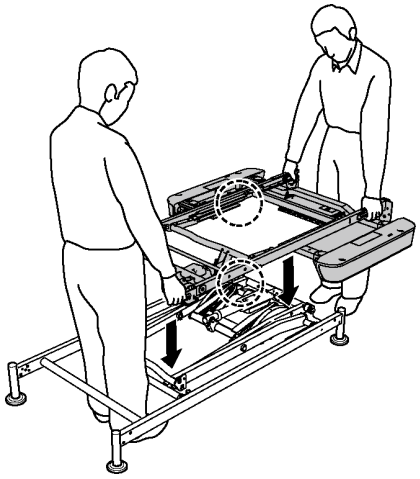


フレームをゆかに置くときは、注意してください。

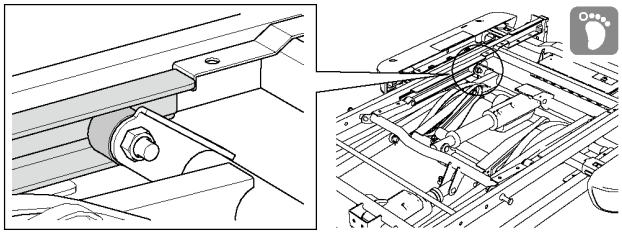
ゆかを傷つけるおそれがあります。

取付手順

1. 電源コードを固定している輪ゴムを取り外す。
2. 足側フレームを頭側と足側の向きに注意して２人以上で持ちあげる。



3. ベースフレームのローラーに足側フレームのローラー受を載せるようにして、ゆっくりと降ろす。



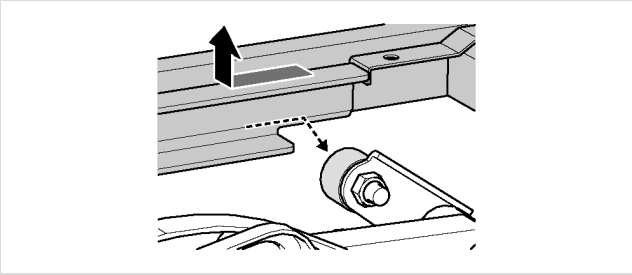
⚠ 警告

ローラーがローラー受に入っていることを確認してください。

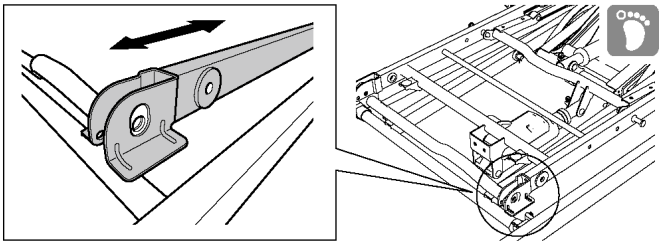
入っていない場合、ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。

分解のときは、ベースフレームのローラーを外してから足側フレームを持ち上げてください。

ベースフレームが落下してけがをするおそれがあります。

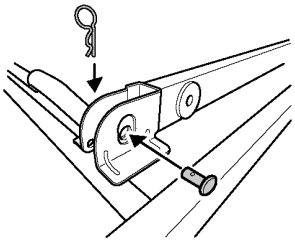


4. 足側フレームをスライドさせて、先端の穴をベースフレームの受金具の穴にあわせる。



5. あわせた穴に外側から連結ピン（短）を差し込む。

6. 連結ピン（短）の穴にスナップピン（大）を差し込む。（左右各１ヶ所）



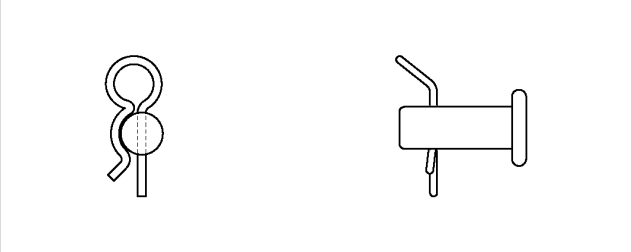
Note

足側フレームの先端を上から押すと、連結ピン（短）が差し込みやすくなります。

⚠ 警告

連結ピン（短）はしっかりと差し込み、スナップピン（大）を確実に取り付けてください。

取り付けが不完全な場合、ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。

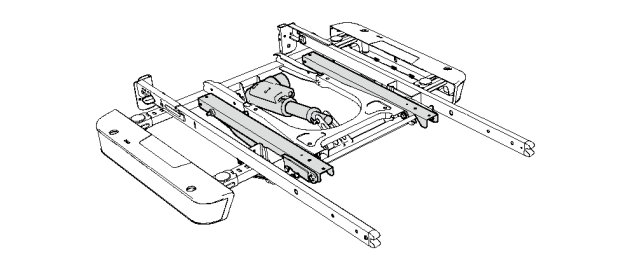


頭側フレームの取り付け

⚠注意

持ち運びや組み立てをするときは、背アクチュエーターやリトラフレームを持たないでください。

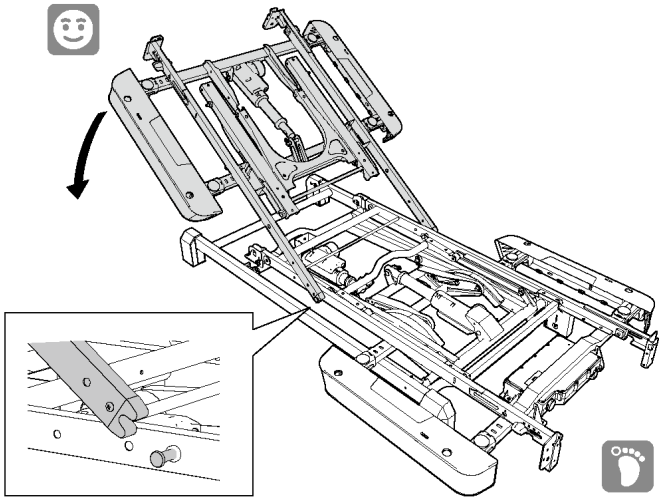
けがや破損のおそれがあります。



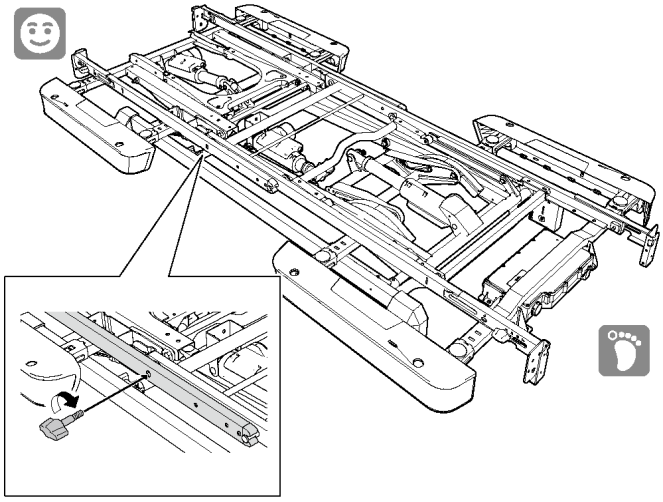
頭側フレームを取り付けるときは、ケーブル類をはさまないように注意して行ってください。

断線や破損のおそれがあります。

1. 頭側フレームの樹脂部を足側フレームのピンにあわせて、足側フレームの上に載せる。

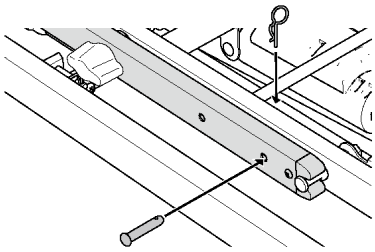


2. ノブボルトで頭側フレームを足側フレームに固定する。（左右各 1 ヶ所）



3. 頭側フレームの取付穴と足側フレームの取付穴の位置をあわせ、連結ピン（長）を外側から差し込み、頭側フレームと足側フレームを連結する。（左右各 1 ヶ所）

4. 連結ピン（長）の穴にスナップピン（小）を差し込む。（左右各 1 ヶ所）



Note

連結ピン（長）が入れづらい場合は、頭側フレームまたは足側フレームを持ちあげながら入れてください。

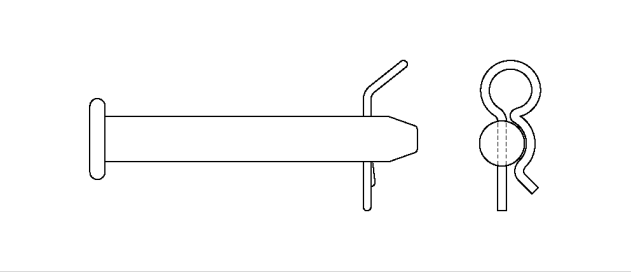
⚠ 警告

ノブボルトは確実に締め付けてください。

ベッドが落下して、けがをするおそれがあります。

連結ピン（長）はしっかりと差し込み、スナップピン（小）を確実に取り付けてください。

取り付けが不完全な場合、ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。



背膝連動幹の取り付け

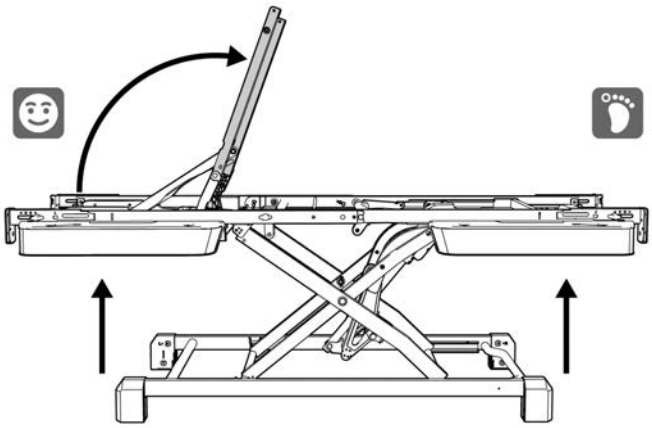
足側フレーム（QC2＊＊＊F）のみ作業を行います。

対象ベッド：2 モーターシリーズ（背・高さ）

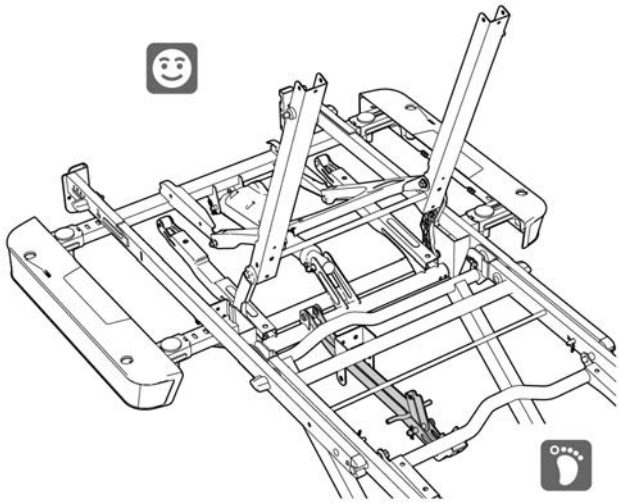
1. 電源プラグをコンセントに差し込み、ベッドの高さを最大まであげる。

※ 最大まであげた後、電源プラグをコンセントから抜く。

2. リトラフレームを最大まであげる。

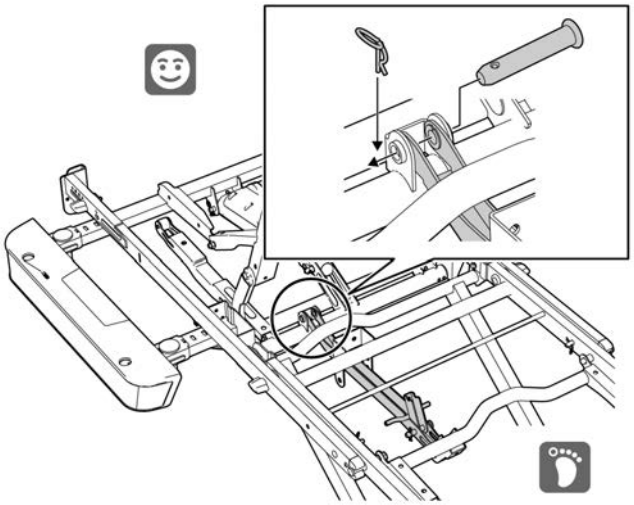


3. 背膝連動幹を頭側フレームと足側フレームの間に置く。



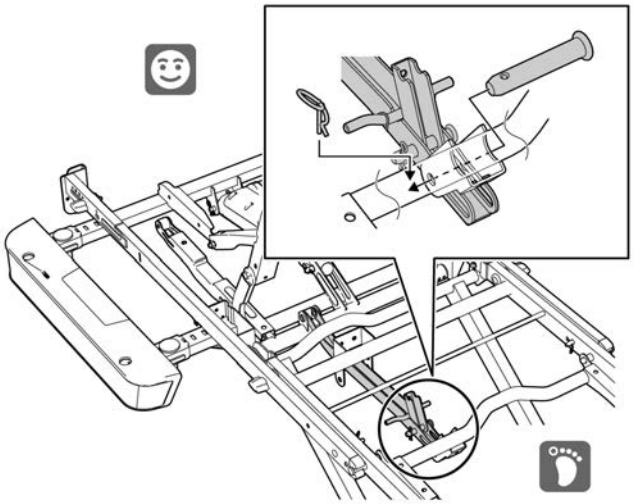
4. 頭側先端の穴と背あげリンクの連動幹受の穴の位置をあわせ、連結ピンをベッド内側から差し込む。

5. 連結ピンの穴にスナップピンを差し込む。

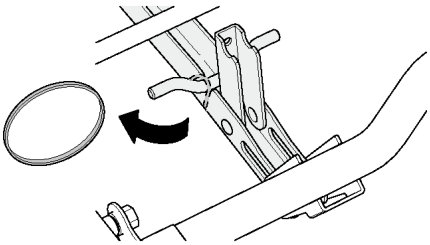


6. 足側先端の長穴と膝あげリンクの連動幹受の穴の位置をあわせ、連結ピンをベッド内側から差し込む。

7. 連結ピンの穴にスナップピンを差し込む。



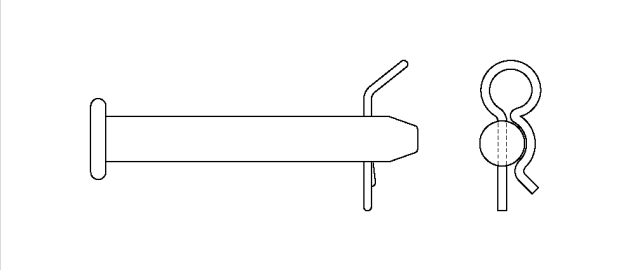
8. 切換金具を固定している輪ゴムを取り外す。



⚠ 警告

連結ピンはしっかりと差し込み、裏面でスナップピンを確実に取り付けてください。

取り付けが不完全な場合ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。



ハイローアクチュエーターの配線

⚠注 意

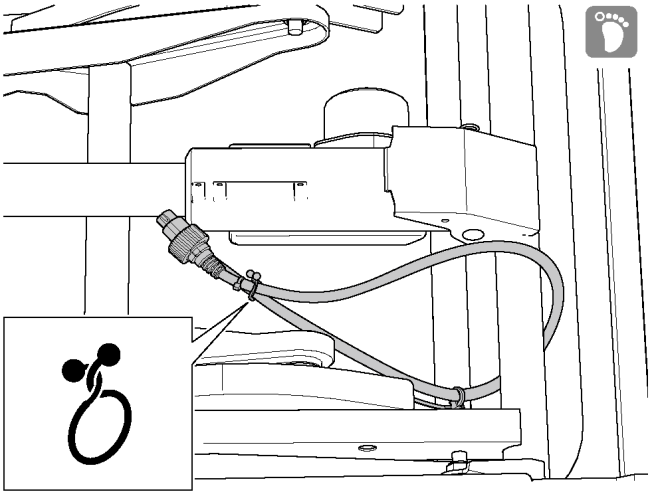
ケーブルは正しく配線してください。

断線や破損のおそれがあります。

コネクター部をぶつけたり、無理な力を加えたりしないでください。

故障のおそれがあります。

1. ケーブルを固定しているパースロックを外す。

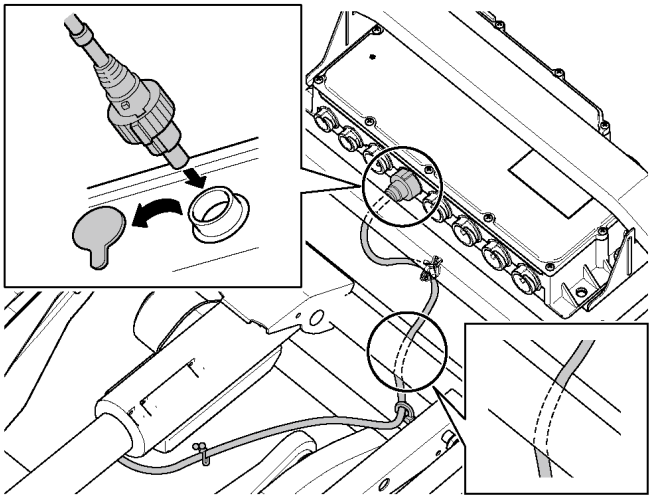


Note

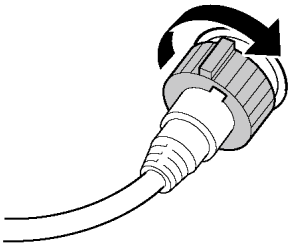
- パースロックはケーブルに巻きつけて、紛失しないでください。
- ケーブルをクリップから外さないでください。
- ケーブルを足側フレームのパイプの間から抜かないでください。

2. コントロールボックスのハイローアクチュエーター差込部（シール：白）のキャップを取り外す。

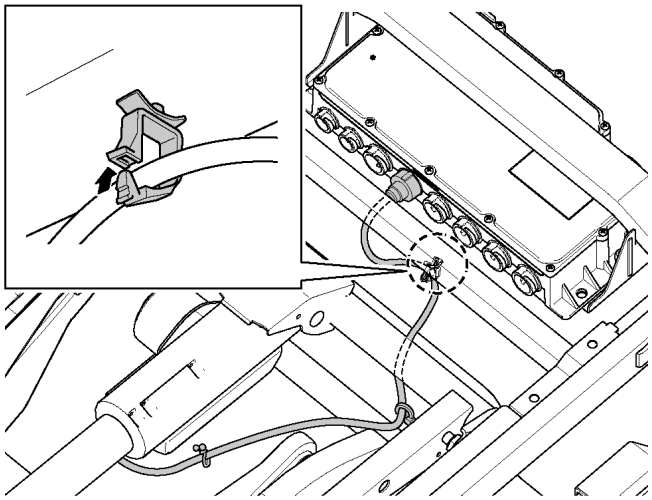
3. コネクターの凸部を下にして差し込む。



4. コネクターキャップの凸部が真上にくるよう「カチッ」と音がするまで時計回りに回す。



5. ケーブルをクリップ（白）に留める。



Note

取り外したキャップは紛失しないように保管してください。

背アクチュエーターの配線

⚠注意

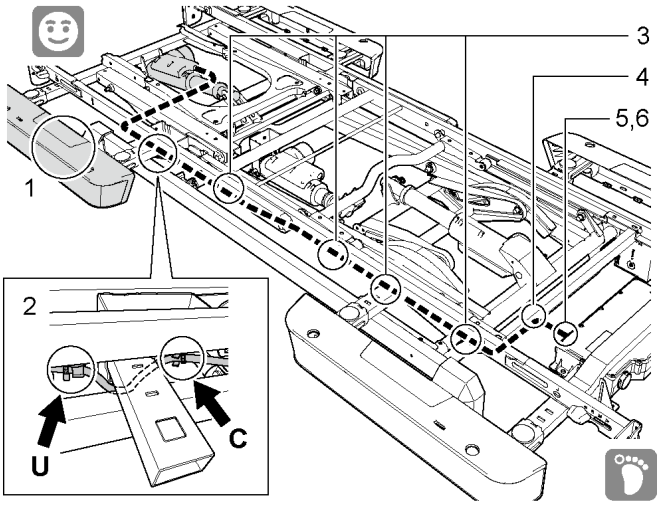
ケーブルは正しく配線してください。

断線や破損のおそれがあります。

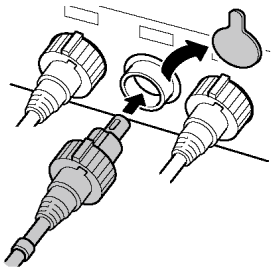
コネクター部をぶつけたり、無理な力を加えたりしないでください。

故障のおそれがあります。

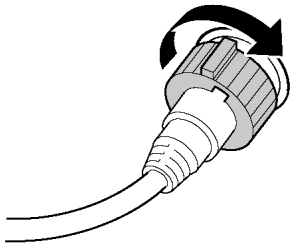
背アクチュエーターの配線



1. ケーブルをオプション受から取り出す。
2. クリップ（U）よりストッパーが頭側にくるようにケーブルをクリップ（U）・クリップ（C）に留める。
3. 頭側・足側フレームの長手下側にあるクリップ（押込型）にケーブルを留める。（4 ヶ所）
4. 足側フレームパイプのクリップ（白）にケーブルを留める。
5. コントロールボックスの背アクチュエーター差込部（シール：青）のキャップを取り外す。
6. コネクター先端の凹部を上にして差し込む。



7. コネクターキャップをキャップの凸部が真上にくるよう「カチッ」と音がするまで時計回りに回す。



Note

取り外したキャップは、紛失しないように保管してください。

電源コードの配線

コンセントの方向にあわせて配線してください。

⚠ 警告

電源コードは正しく配線してください。

断線や破損のおそれがあります。電源コードが破損すると感電・火災のおそれがあります。下記に注意して配線してください。

- ベースフレームの上側や内側に入り込まないようにしてください。
- 脚座やキャスターなどで踏まないようにしてください。
- ベッドの高さを最高まであげた状態でも突っ張らないようにしてください。

足側に配線する場合

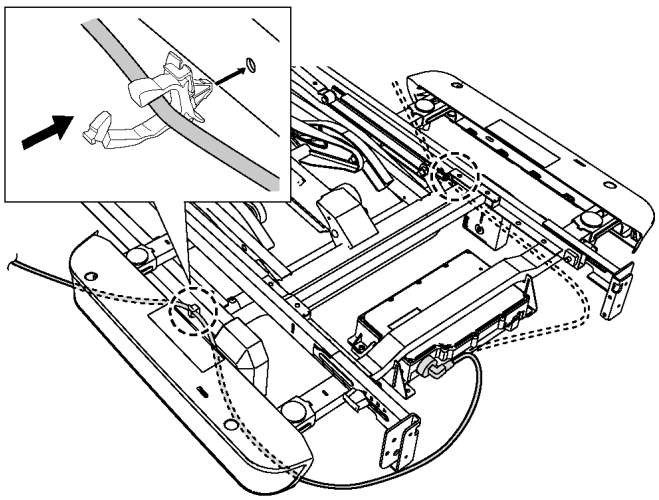
1. そのまま電源プラグをコンセントに差し込む。

Note

余ったコードがベースフレームの内側に入り込まないように配線してください。

その他の場合

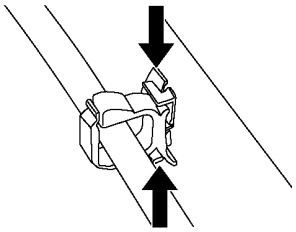
1. 配線する方向（左右）を決め、電源コードについているクリップをベースフレームに留める。



2. 電源プラグをコンセントに差し込む。

Note

配線する方向を変えるときは、電源コードのクリップをベースフレームから取り外してください。

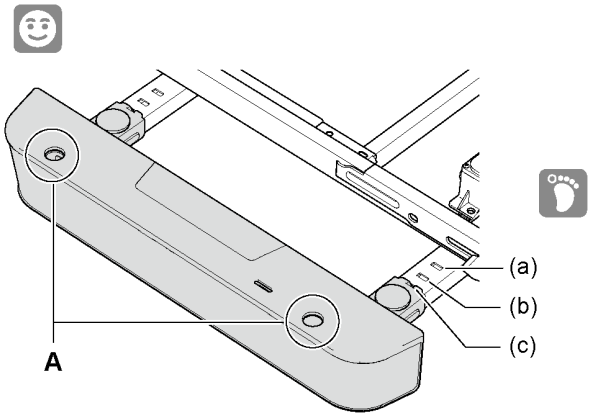


オプション受の調節

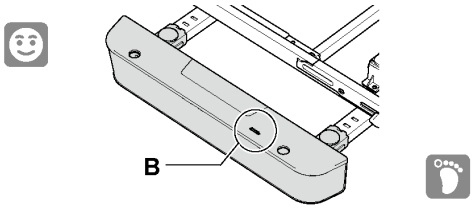
オプション取付穴（A）に、ベッドサイドレールやベッド用グリップを取り付けるときは、下表に従って適切な位置に調節してください。

工場出荷時は、格納位置(a)になっています。

	マットレス幅 83cm	マットレス幅 91cm
使用位置	(b)	(c)
格納位置	(a)	(a)(b)



- 車いすなどをベッドに近づけたいときや、ベッドの設置スペースを小さくしたいときは、（a）の位置にしてください。
- 格納位置でベッドサイドレールなどを取り付けて使用しないでください。
- マットレス幅 83cm は（c）の位置で使用しないでください。
- オプション受には左右があります。オプション受を取り外してしまった場合は、オプション受のスリット（B）をボード側に向けて取り付けてください。



⚠ 警告

オプション受は、オプション受のツメを本体の四角い穴に入れ、ノブナットでしっかりと固定した状態で使用してください。

オプション受が、がたついたり外れたりして、けがをするおそれがあります。

オプション受は、マットレス幅（83cm/91cm）にあわせて、正しい位置・正しい向きに設定してください。

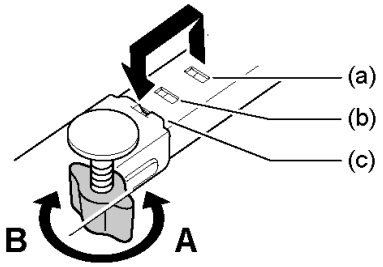
誤った位置や向きで使用すると、ベッドとベッドサイドレール･ベッド用グリップなどの間に意図せぬすき間ができ、はさまれてけがをするおそれがあります。

格納位置に設定したオプション受には、サイドレール･ベッド用グリップなどのオプションを取り付けないでください。

意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、手や腕などをはさまれてけがをするおそれがあります。

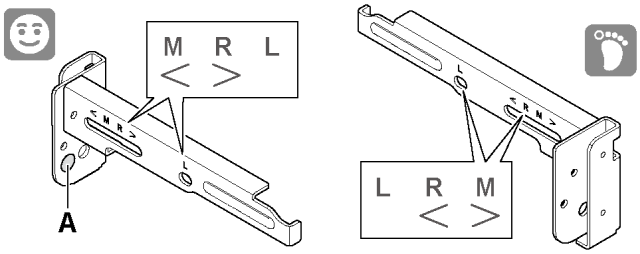
調節方法

1. オプション受を固定しているノブナットをゆるめる。（1 つのオプション受につき 2 ヶ所）
2. オプション受を引きあげながらマットレス幅に合わせた使用位置にスライドさせ、四角い穴にツメを入れる。
3. ノブナットをしっかりと締め付ける。(A：しまる B：ゆるむ)



ボード受金具の調節

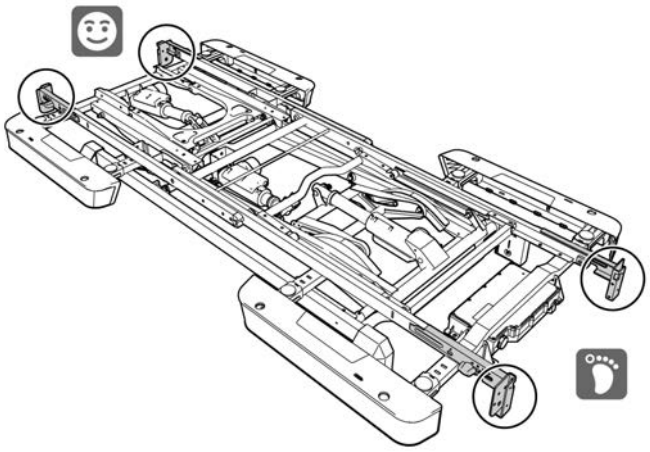
- ボード受金具には頭側用と足側用があります。作業を行うときは、頭側用ボード受金具にある青色ラベル（A）をよく確認し、正しく取り付けてください。
- 刻印はノブボルトの取付位置を示しています。



刻印	ベッドの長さ
M	ミニ
R	レギュラー
L	ロング

お使いになるベッドの長さにあわせて、ボード受金具の取付位置を調節してください。

※ 工場出荷時は、ボード受金具は頭側、足側ともにミニ位置に設定されています。



調節が不要な場合

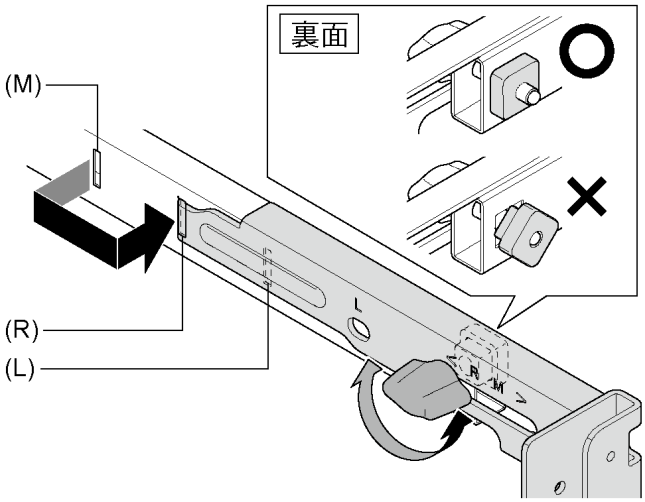
ボード受金具のツメが本体フレームの四角い穴に入った状態でノブボルトと角根ナットがしっかりと固定されていることを確認する。（4 ヶ所）

調節が必要な場合

Note

ボード受金具の位置調節は、4 ヶ所（頭側、足側の左右各 1 ヶ所）すべて行ってください。

1. ノブボルトと角根ナットをゆるめる。
2. ベッドの長さにあわせて、ボード受金具を本体フレームのいずれかの四角い穴にツメを入れる。
   - ロングの場合
     ノブボルトを完全に抜き、穴（L）に差し込む。
   - レギュラーの場合
     ボード受金具をスライドさせ穴(R)に差し込む。
   - ミニの場合
     ボード受金具をスライドさせ穴（M）に差し込む。
3. ノブボルトをしっかりと締め付けて、角根ナットを固定する。（4 ヶ所）



⚠ 警 告

ボード受金具はボトムの長さ（ロング・レギュラー・ミニ）にあわせて正しく設定してください。

誤った設定で使用すると、ボトムとボードの間に意図せぬすき間ができる場合があり、けがをするおそれがあります。

ノブボルトは確実に締め付けてください。

ノブボルトと角根ナットがゆるんでいると、ボードががたついたり落下したりして、けがをするおそれがあります。

角根ナットが取付穴に収まっていることを確認してください。

ボードががたついたり落下したりして、けがをするおそれがあります。

ボトム長さの切りかえ

⚠ 警 告

ボトムはボード受金具の長さ（レギュラー・ミニ・ロング）にあわせて正しく設定してください。

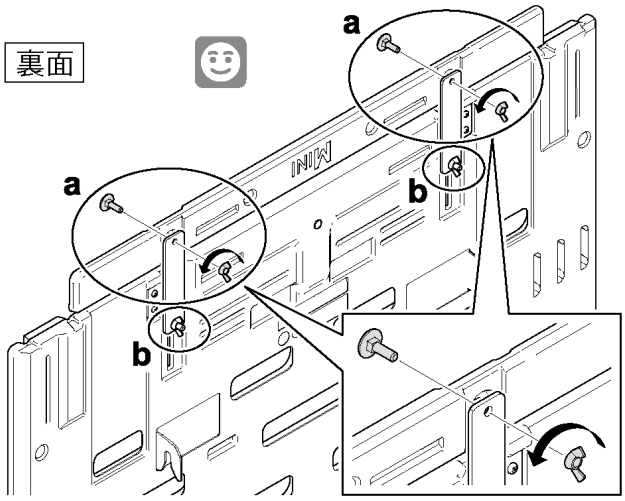
誤った設定で使用すると、ボトムとボードの間に意図せぬすき間ができる場合があり、けがをするおそれがあります。

Note

- 工場出荷時は背ボトム、膝・足ボトムともにボトムの長さはレギュラーに設定されています。
- ミニ・ロングへ変更の場合のみ作業を行います。
- 背ボトム、膝・足ボトムともに同じ手順でボトム長さを切りかえます。

レギュラー ➡ ミニの切りかえ

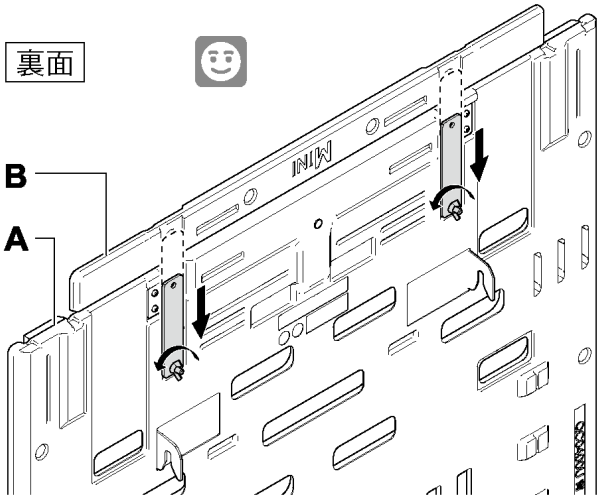
1. 下図ａ部の蝶ナットとボルトを取り外す。（2ケ所）



2. 上図ｂ部の蝶ナットとボルトを緩める。（2ヶ所）

※ ボトム内側の蝶ナットとボルトは取り外す必要はありません。

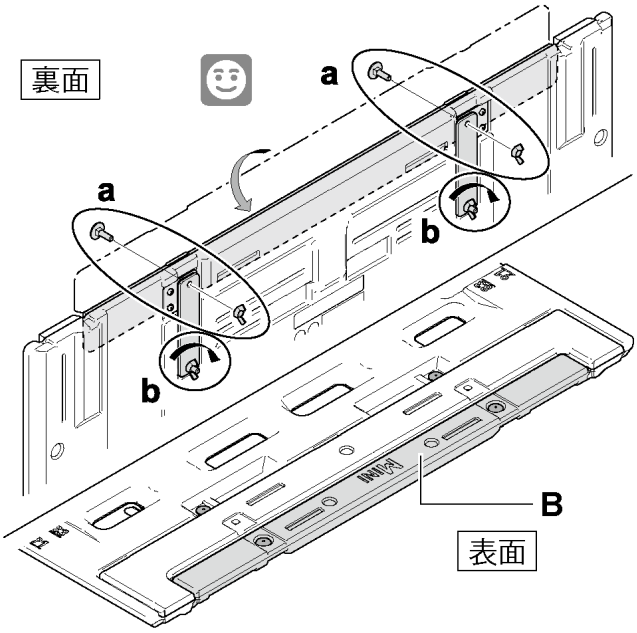
3. 固定金具を矢印の方向にスライドする。



4. レギュラーボトムBを表面に折り曲げる。

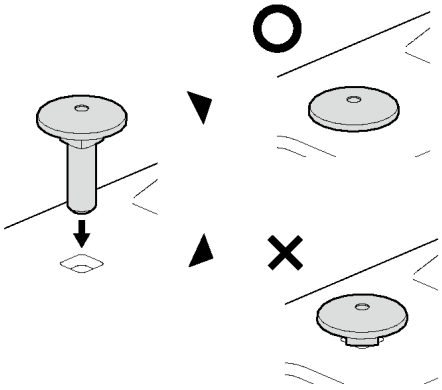
5. レギュラーボトムBとボトムAを蝶ナットとボルトでしっかりと固定する。（下図a部 2 ヶ所）

6. 下図b部の蝶ナットとボルトを締めしっかりと固定する。（2 ヶ所）



Note

- レギュラーボトムBが蝶ナットとボルトでボトムにきちんと固定されているか確認してください。
- ボトム、レギュラーボトムBの角穴にボルトの四角い部分が入り、ボルトがボトム、レギュラーボトムBから浮かないようにしっかりと固定してください。

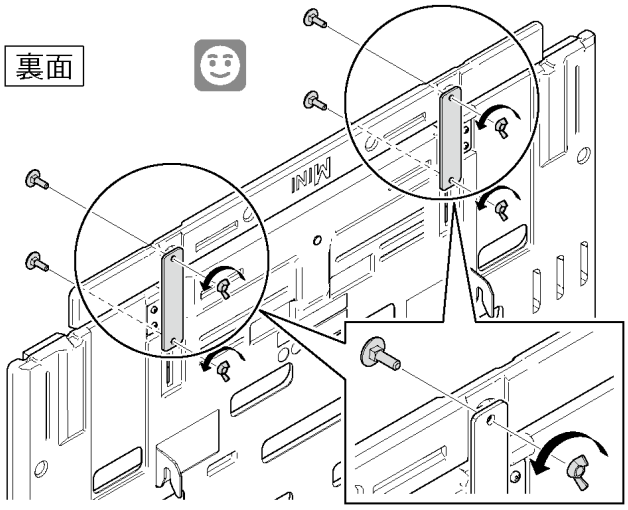


- 蝶ナットに緩みがないか確認してください。

レギュラー ➡ ロングの切りかえ

1. ボトムの蝶ナットとボルトを取り外す。(4 ヶ所)

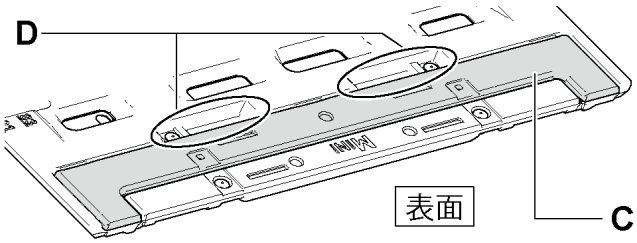
2. 固定金具を取り外す。



3. ロングボトムCを広げる。

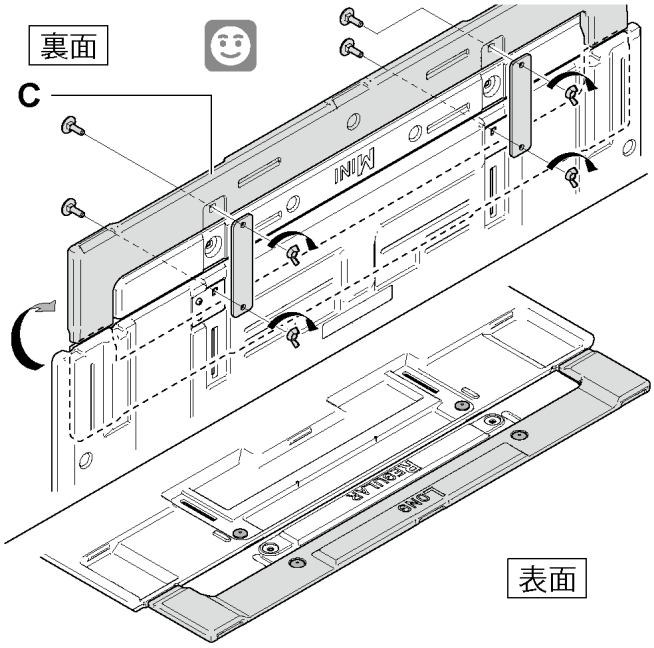
Note

- ロングボトムCを広げるときは、切り欠き部Dに指を掛けて広げてください。



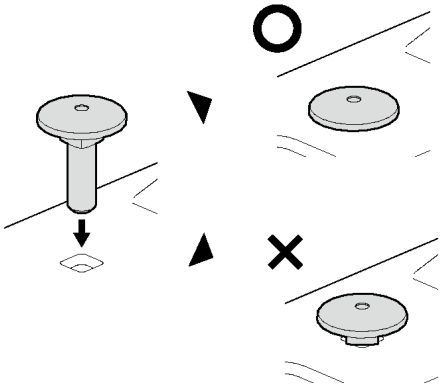
4. ロングボトムCと固定金具の穴をあわせる。

5. ボルトを通し、蝶ナットで固定する。（4 ヶ所）

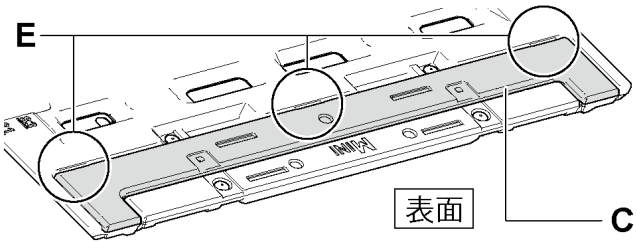


Note

- ボトム、ロングボトムCの角穴にボルトの四角い部分が入り、ボルトがボトム、ロングボトムCから浮かないようにしっかりと固定してください。



- 蝶ナットに緩みがないか確認してください。
- ロングボトムCを格納するときは、ボトム側の爪Eに「パチッ」と音がするまではめ込んでください。



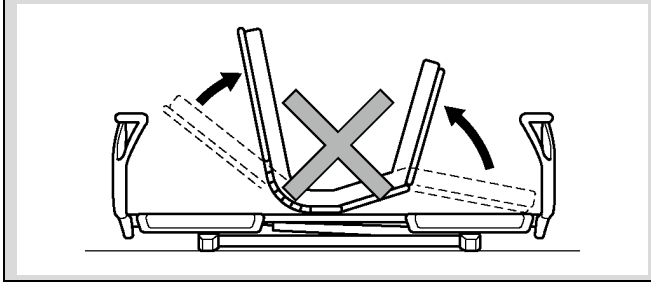
背ボトムの取り付け

工場出荷時は背ボトム、膝・足ボトムともにボトムの長さはレギュラーに設定されています。

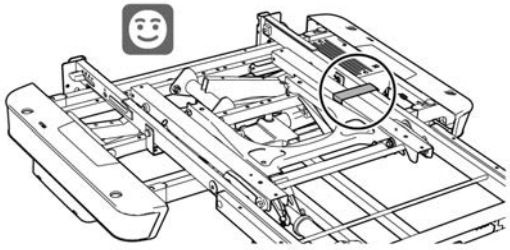
⚠注意

背ボトム、膝・足ボトムを持ちあげて逆に反らせたり、必要以上に曲げたりしないでください。

破損・変形のおそれがあります。

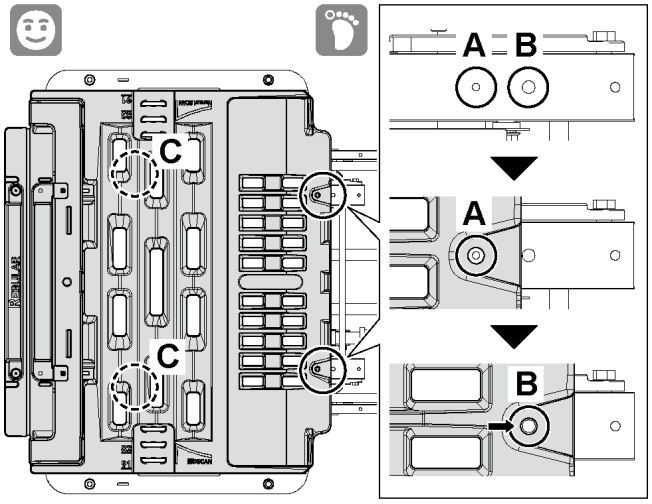


1. リトラフレームを固定している輪ゴムを取り外す。

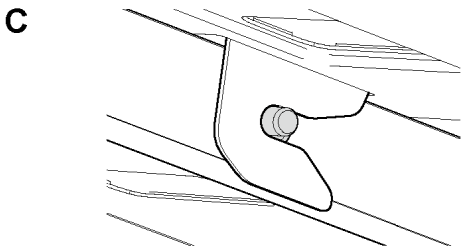


2. 背ボトムの取付穴とリトラフレームの穴 A の位置にあわせて、背ボトムを載せる。

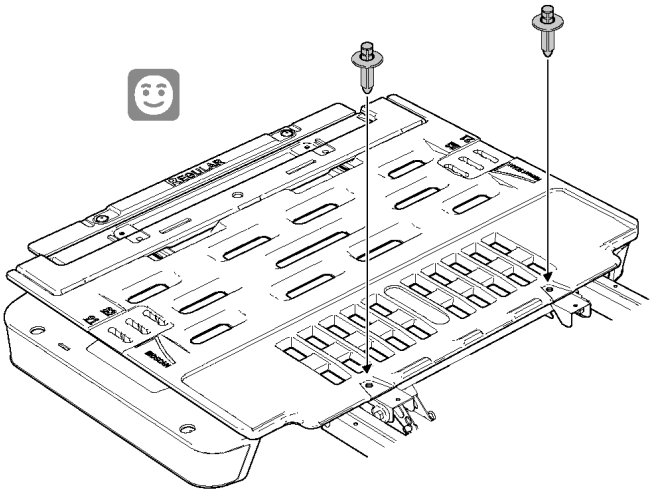
3. 背ボトムの取付穴とリトラフレームの穴 B をあわせるように、背ボトムを足側方向にスライドさせる。



4. 背ボトム裏面のフックがリトラフレームのピン C に引っ掛かる。



5. 背ボトムとリトラフレームの取付穴にプッシュリベットを差し込み、固定する。(左右各 1 ヶ所)



6. プッシュリベットを取り付けるときは穴に差し込み、「カチッ」と音がするまで軸を押し込む。

⚠注意

プッシュリベットで背ボトムをリトラフレームに確実に固定してください。

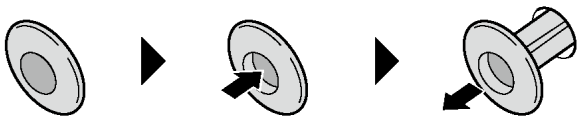
背ボトムが不意に外れたり、がたつきが大きくなり、意図せぬすき間でけがをしたり、製品の破損・変形のおそれがあります。

プッシュリベットの取り外し

1. プッシュリベットの軸を「カチッ」と音がするまで、膝・足ボトムを固定するロックピンで押し込む。

※ ロックピンで押し込めない場合は、押し込み過ぎないように注意しながらドライバーなどで軽く押し込んでください。

※ 背ボトムを再度取り付けるときは、プッシュリベットの軸を押し出してから使用してください。



膝・足ボトムの取り付け

⚠ 注 意

足先あげ状態にするときは、足ボトムステーをステー受に確実に載せてください。

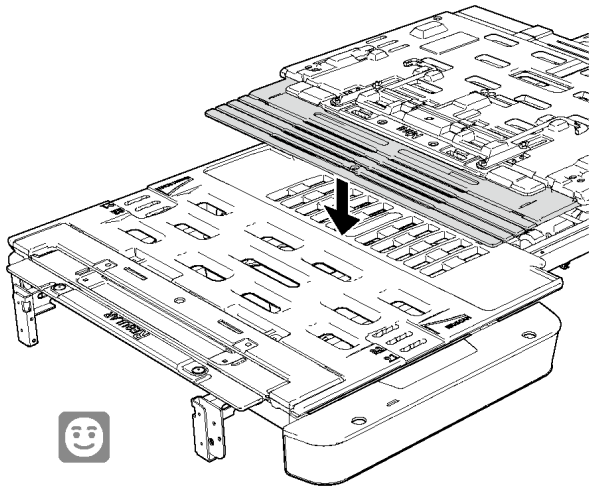
載せかたが不十分な場合や、間違った場所に載せた場合は、膝・足ボトムが不意に落下してけがをしたり、膝あげ動作のときにベッドが破損したりするおそれがあります。

足先の角度切りかえをするときは、手や腕などをはさまないよう注意して行ってください。

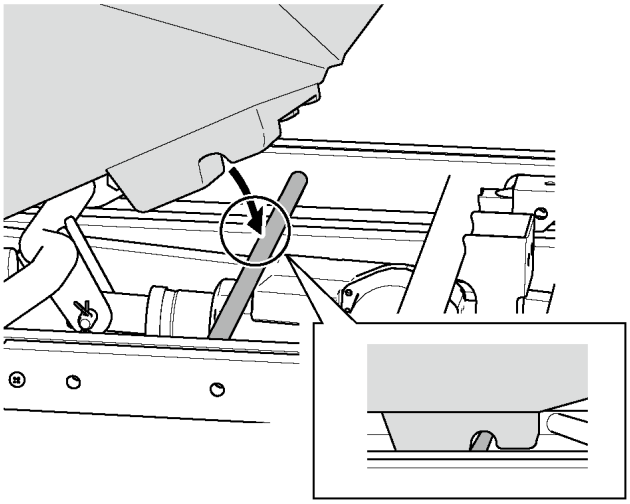
けがのおそれがあります。

※ 工場出荷時は背ボトム、膝・足ボトムともにボトムの長さはレギュラーに設定されています。

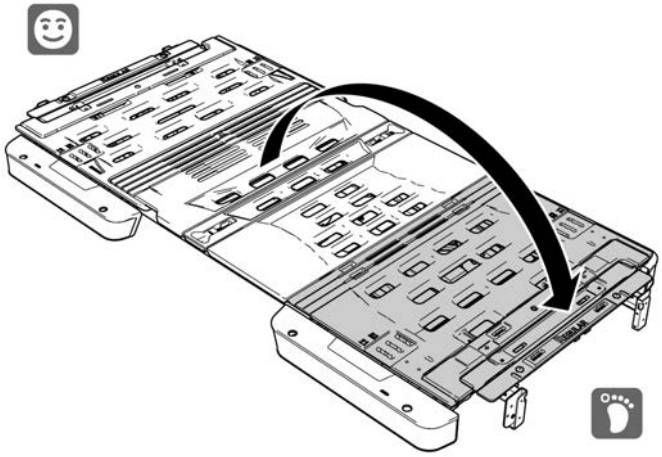
1. 背ボトムの凹部に膝・足ボトムのキューマ部を載せる。



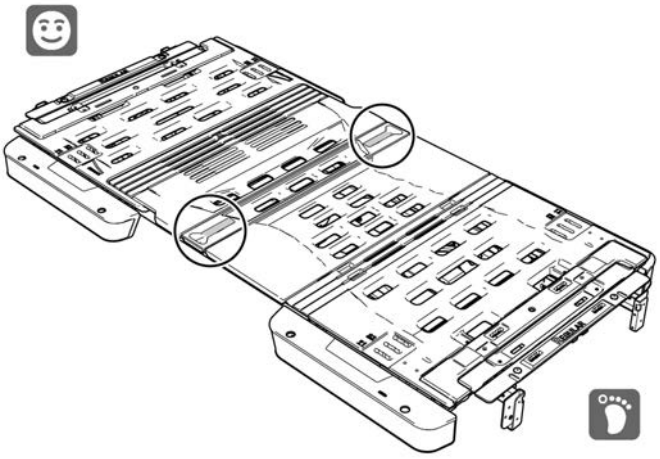
2. 膝・足ボトム裏面の切欠き部をボトム受部にはめて、膝・足ボトムを置く。



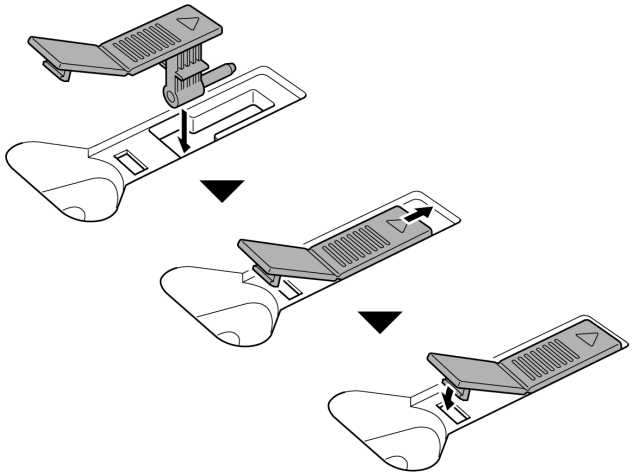
3. 膝・足ボトム（足側）を開いて、足側フレームの上に載せる。



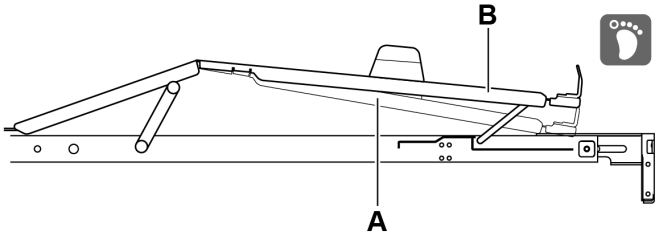
4. 膝・足ボトム（膝側）にロックピンをはめ込み、固定する。（左右各 1 ヶ所）



ロックピンの取付方法



5. 使用状態にあわせて、足ボトムステーの設定をする。



⚠注意

分解のとき、膝・足ボトムは、「足先さげ状態」にしてください。

「足先あげ状態」になっていると、膝・足ボトムを取り外すときに、膝・足ボトムステーがステー受に引っ掛かり、ベッドが変形するおそれがあります。

☞ 足先角度の切りかえかた(P.56)

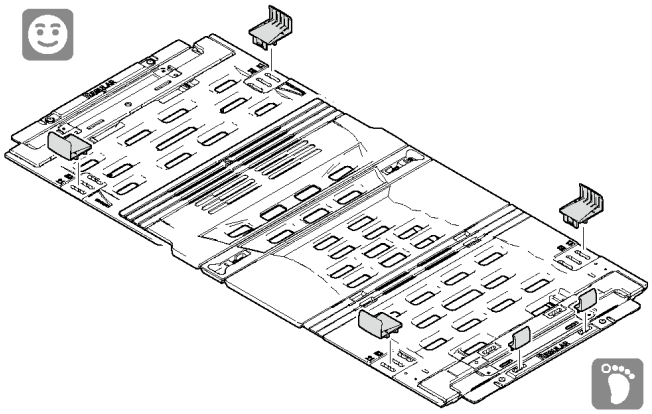
マットレス止めの取り付け

Note

マットレスストッパー（別売）をご使用の場合は足側にマットレス止め（小）を取り付けません。付属の取扱説明書を参照してください。

取付位置

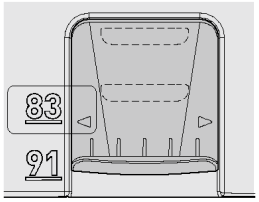
- マットレス止め（大）：背ボトム 左右各 1 ヶ所、膝・足ボトム 左右各 1 ヶ所
- マットレス止め（小）：膝・足ボトム 先端部 2 ヶ所

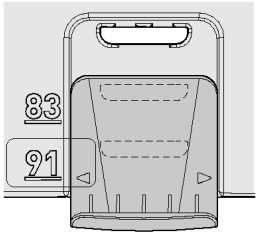


マットレス止め（大）

取り付け

1. マットレス幅に合わせて、ボトム横側にある取付穴の位置を決める。
2. 取付穴にマットレス止め（大）のツメを真っすぐ差し込む。



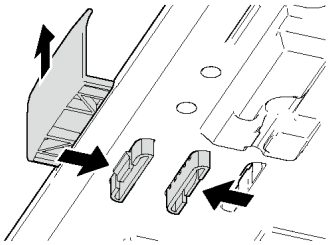


Note

- マットレス止め（大）は 4 ヶ所すべてが同じ位置になっていることを確認してください。
- 「パチッ」と音がするまで差し込んでください。
- 取り付け後、内から外へ軽く押し、確実に取り付いていることを確認してください。

取り外し

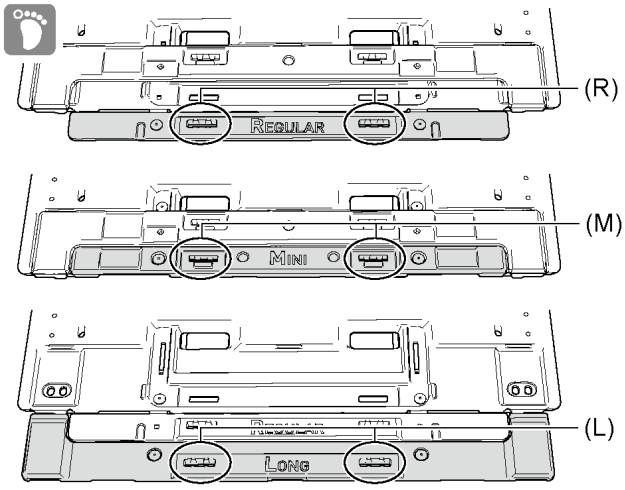
ボトム下に出ているマットレス止め（大）のツメを内側に押しながら取り外す。



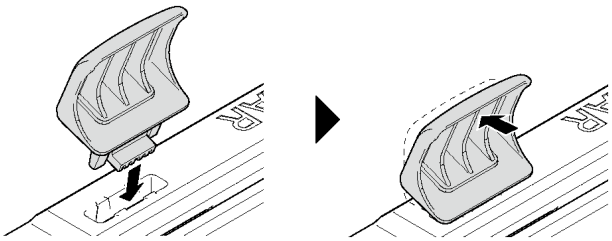
マットレス止め（小）

取り付け

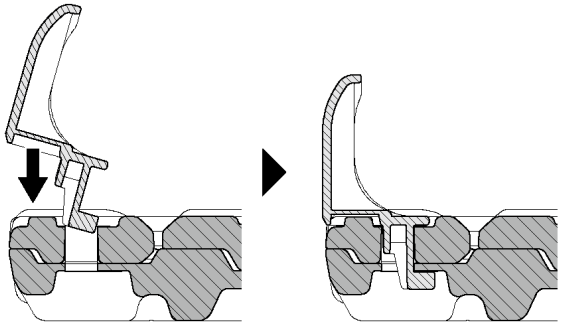
ボトム長さによって取付位置が異なります。正しい位置に取り付けてください。



1. 各ボトム長さに応じた取付穴にマットレス止め（小）のツメを斜めに差し込む。（2 ヶ所）
2. 内から外へ押し、しっかりと取り付ける。



※ ミニの場合は、ボトム（先端部）の穴に奥までツメを差し込む。



Note

取り付け後、内から外へ軽く押し、確実に取り付いていることを確認してください。

取り外し

取り付けの逆の手順でマットレス止め（小）を取り外してください。

ボードの取り付け

⚠ 警告

ボードは正しいユニットの組み合わせになっていることを確認したうえで取り付けてください。

誤った組み合わせで使用すると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたりベッドが故障したりするおそれがあります。

⚠ 注意

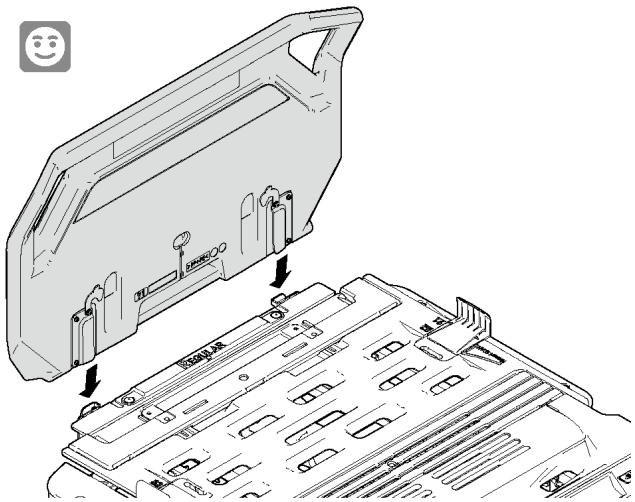
ボードストッパーを掛け忘れたり、掛けかたが不完全だったりしていないか確認してください。

ボードが不意に外れて、転倒などによりけがをするおそれがあります。

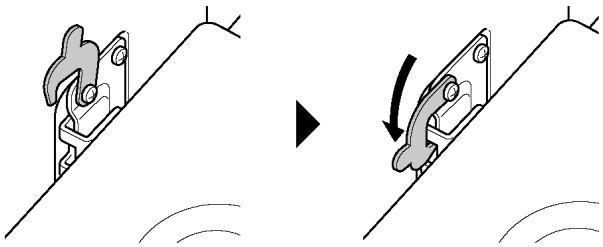
ボードを取付けるときは、落下させないよう注意してください。

足に当たってけがをしたり、ゆかやボードを傷つけたりするおそれがあります。

1. ボードの取付金具をボード受金具にまっすぐ最後まで差し込む。



2. ボードストッパーをボード受金具の穴に差し込み、固定させる。



3. 足側のボードも同じように取り付ける。

フットパネルの取り付け

⚠ 警告

フットパネルをベッドの頭側に取り付けないでください。

- 意図せぬすき間が発生し、はさまれたり、抜けなくなるなどしてけがをするおそれがあります。

フットパネルを取り付けるときは、ボード受金具にしっかりと固定してください。

- フットパネルが落下して、けがをしたりフットパネルが破損したりするおそれがあります。
- 意図せぬすき間が発生し、はさまれたり、抜けなくなるなどしてけがをするおそれがあります。

フットパネルが、指定の取付位置に確実に固定されていることを確認してください。

- フットパネルが落下して、破損したり、けがをするおそれがあります。
- 意図せぬすき間が発生し、はさまれたり、抜けなくなるなどしてけがをするおそれがあります。

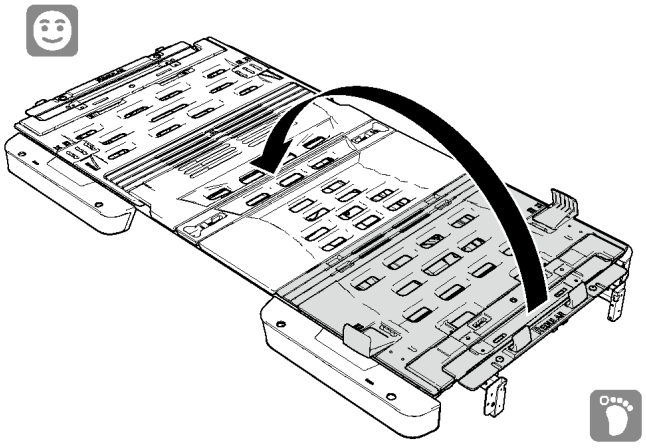
⚠ 注意

フットパネルの取り付けや取り外しのときは、手や指をはさまないように注意してください。

けがをするおそれがあります。

取り付け

1. 膝・足ボトムを矢印の方向へ倒す。

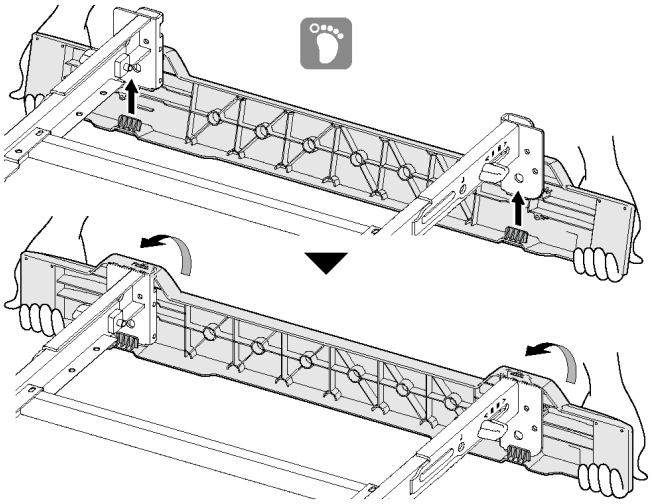


2. 凸部（ロゴがある面）を上に向け、フットパネルの両端を持つ。

3. フットパネル下部にあるツメをボード受金具に下側から引っ掛ける。（2 ヶ所）

4. フットパネル上部にあるツメをボード受金具の上部に「パチン」と音がするまで持ちあげながら押し込む。（2 ヶ所）

※ ツメが掛かりにくい時は、フットパネルを少し持ち上げるようにしながら押し込んでください。



5. 膝・足ボトムを元の位置に戻す。

取り外し

フットパネルの取り外しは、本書の「フットパネルの取り外し」を参照してください。

☞ フットパネルの取り外し(P.146)

組立後の点検

ベッドの組み立てが終わりましたら、ベッドに人が乗っていないことを確認のうえ、下記を点検してください。

- 定期点検のときも、この項目を使用してください。
- 異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、パラテクノコールセンターまでお問い合わせください。
- キャスターなどのオプションをご使用の場合は、各製品の「取扱説明書」をご覧ください。

☞ パラテクノコールセンター(P.151)

⚠ 警告

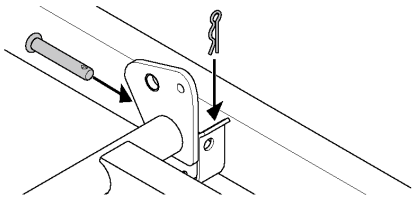
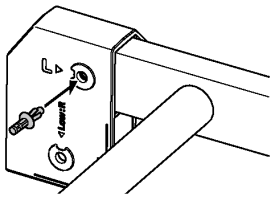
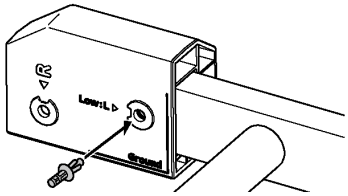
組み立て後は点検を行ってください。

組み立てが不十分な状態で使用すると、けがや故障のおそれがあります。

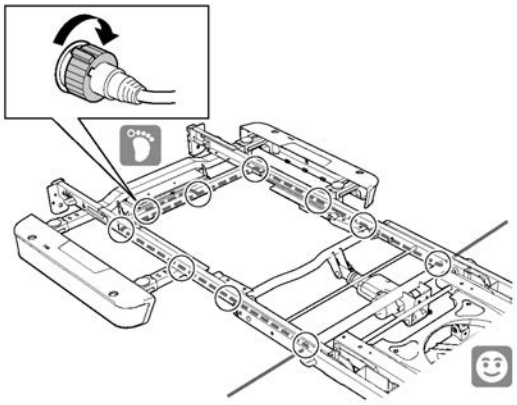
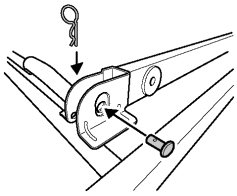
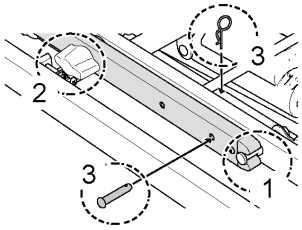
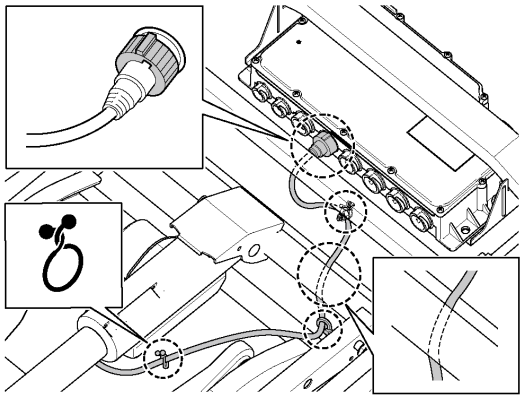
⚠ 注意

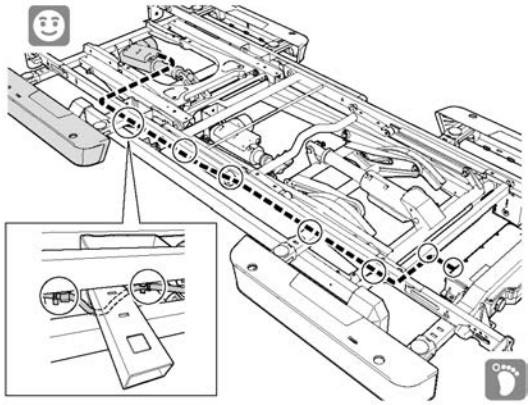
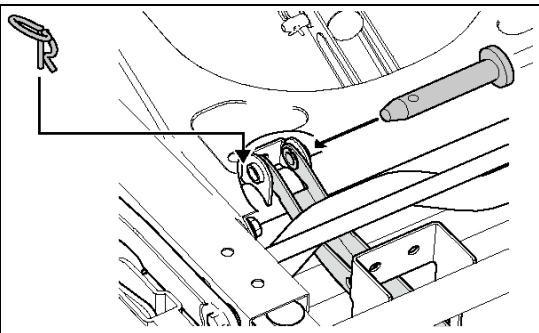
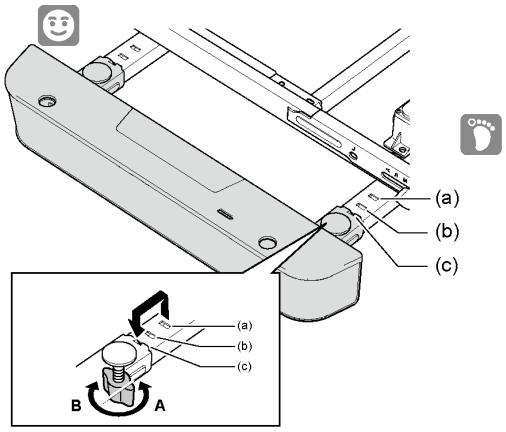
点検作業をしているときに異常音や振動が生じた場合は、すぐにベッドの使用を中止してください。

けがや破損のおそれがあります。パラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

チェック項目	チェック部位
ベースフレームの分解・組立 □連結ピンにスナップピンが確実に差し込まれていますか？（左右各 1 ヶ所） ☞ ベースフレームの分解・組立(P.109)	
脚座の取り付け □ベースフレームのすべてに脚座が取り付けられていますか？（4 ヶ所） □脚座が正しい位置・向きに取り付けられていますか？ □脚座の高さがすべて同じになっていますか？ □プッシュリベットが正しい位置に確実に取り付けられていますか？（4 ヶ所） ☞ 脚座の取り付け(P.110)	 

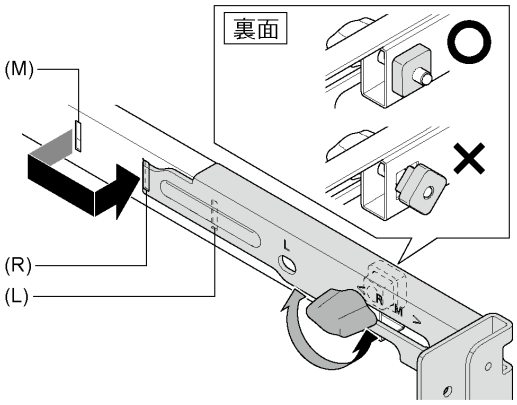
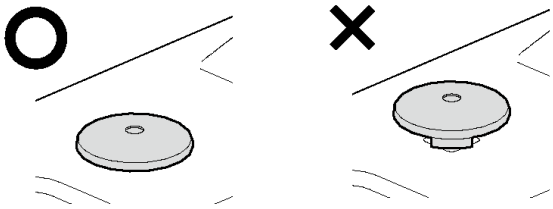
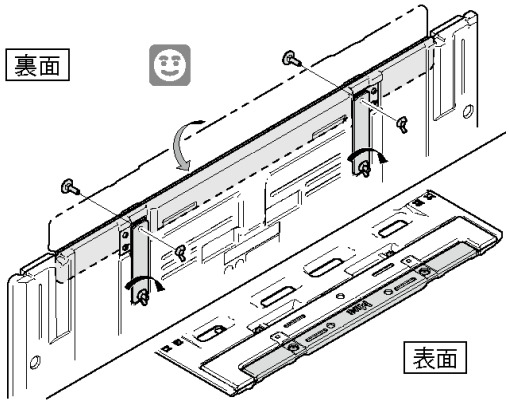
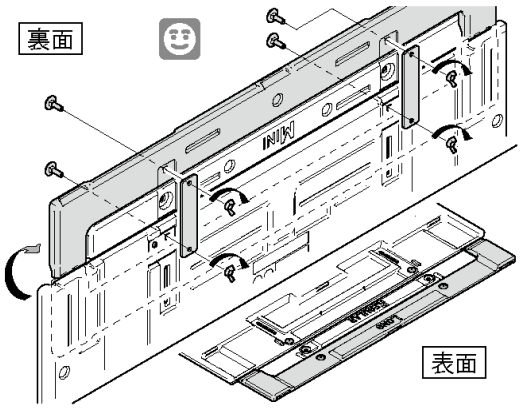
組立後の点検

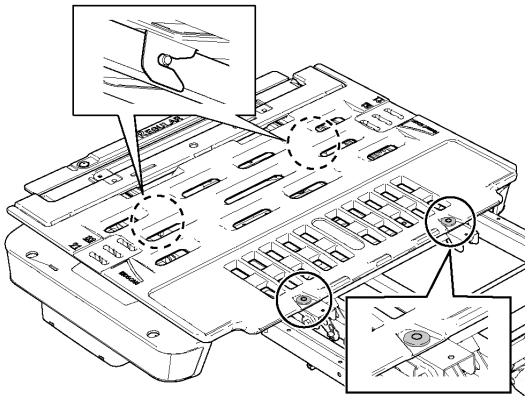
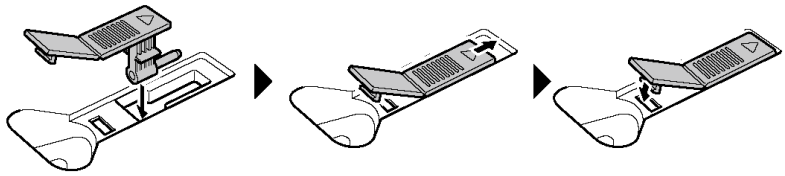
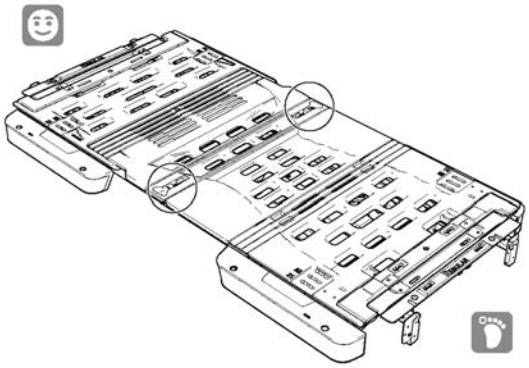
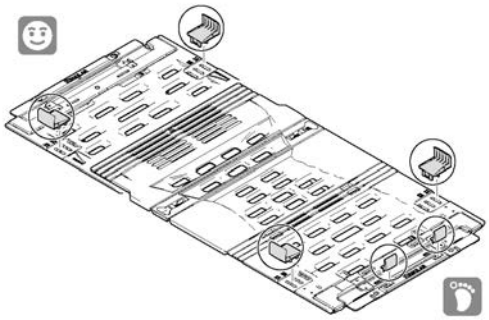
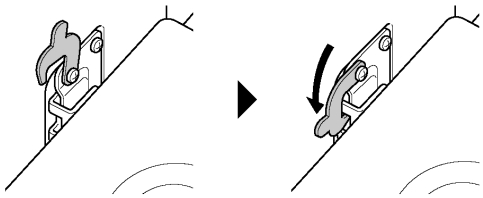
チェック項目	チェック部位
手元スイッチコードの配線 □コネクターキャップの凸部が真上にきていますか？ □コードが正しく配線されていますか？ □コードがクリップで固定されていますか？ □クリップ（黄）が 2 つのストッパーの間に固定されていますか？ ☞ 手元スイッチコードの配線(P.113)	
ベースフレームと足側フレームの連結 □連結ピン（短）にスナップピン（大）が確実に差し込まれていますか？（左右各 1 ヶ所） ☞ 足側フレームの取り付け(P.115)	
頭側フレームと足側フレームの固定 □ 1.頭側フレームの樹脂部が足側フレームのピンに掛かっていますか？（左右各 1 ヶ所） □ 2.ノブボルトで確実に締め付けられていますか？（左右各 1 ヶ所） □ 3.連結ピン（長）にスナップピン（小）が確実に差し込まれていますか？（左右各 1 ヶ所） ☞ 頭側フレームの取り付け(P.120)	
ハイローアクチュエーターとコントロールボックスの接続 □ケーブルが正しく配線されていますか？ □コネクターキャップの凸部が真上にきていますか？ □ケーブルがクリップ（白）で固定されていますか？ □ケーブルにパースロックを取り付けていますか？ □ベッド高さを最低から最高まで操作したとき、ケーブルが引っ張られることはありませんか？ ☞ ハイローアクチュエーターの配線(P.123)	

チェック項目	チェック部位
背アクチュエーターとコントロールボックスの接続 □ケーブルが正しく配線されていますか？ □ケーブルがクリップに固定されていますか？（頭側フレーム 3 ヶ所・足側フレーム 5 ヶ所） □コネクターキャップの凸部が真上にきていますか？ □背あげ操作を最大角度まで行ったとき、ケーブルが引っ張られることはありませんか？ ☞ 背アクチュエーターの配線(P.124)	
電源コードの接続 □コードはベースフレームの外側に配線されていますか？ □足側のボードよりも頭側で配線する場合、コードがクリップに留まっていますか？ □可動部と接触していませんか？ □脚座やキャスターなどで踏んでいませんか？ □ベッド高さを最低から最高まで操作したとき、コードが引っ張られることはありませんか？ ☞ 電源コードの配線(P.125)	
背膝連動幹と切換金具の連結 □連結ピンにスナップピンが確実に差し込まれていますか？（2 ヶ所） □背膝連動幹が背あげリンク・膝あげリンクに正しく連結されていますか？ ☞ 背膝連動幹の取り付け(P.121)	
オプション受の調節（4 ヶ所） □正しい向きで取り付けられていますか？ □オプション受のツメは、四角い穴に入っていますか？（オプション受 1 つにつき 2 ヶ所） □ノブナットは確実に締め付けられていますか？（オプション受 1 つにつき 2 ヶ所） □オプション受の取付位置は正しいですか？ □格納位置でサイドレールなどを使用していませんか？ ☞ オプション受の調節(P.126)	 A：しまる　B：ゆるむ

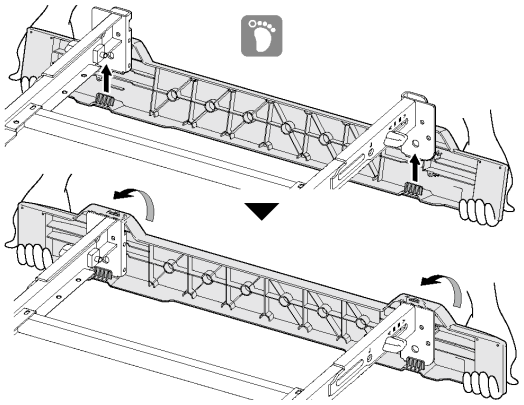
	マットレス幅 83cm	マットレス幅 91cm
使用位置	(b)	(c)
格納位置	(a)	(a)(b)

組立後の点検

チェック項目	チェック部位
ボード受金具の調節 □ボトム長さにあった位置に取り付けられていますか？ □頭側用/足側用が正しく取り付けられていますか？ □ノブボルトと角根ナットで確実に締め付けられていますか？ ☞ ボード受金具の調節(P.127)	
ボトム長さの調節 □ボトムの先端部が固定金具でしっかりと固定されていますか？ □固定金具の蝶ナットが確実に締め付けられていますか？ □ボード受金具の取付位置とボトム長さがあっていますか？ □マットレス止めがしっかりと固定されていますか？ □ボトムの角穴にボルトの四角い部分がしっかり入り、ボルトがボトムから浮いていませんか？  **【レギュラーの場合】** □ボトム表面の刻印が「REGULAR」になっていますか？ □ロングフラップ先端部のツメが切欠きにしっかりとはめ込まれていますか？ **【ミニの場合】** □ボトム表面の刻印が「MINI」になっていますか？ □ロングフラップ先端部のツメが切欠きにしっかりとはめ込まれていますか？ □レギュラーフラップが蝶ナットと固定金具でボトムときちんと固定されていますか？ **【ロングの場合】** □ボトム表面の刻印が「LONG」になっていますか？ ☞ ボトム長さの切りかえ(P.128)	【ミニ】  【ロング】 

チェック項目	チェック部位
背ボトムの取り付け □リトラフレームのピンと背ボトムのフックの位置はあっていますか？（左右各 1 ヶ所） □背ボトムとリトラフレームがプッシュリベットで確実に固定されていますか？ 背ボトムの取り付け(P.131)	
膝・足ボトムの取り付け □膝・足ボトムがロックピンで確実に固定されていますか？（左右各 1 ヶ所）  膝・足ボトムの取り付け(P.132)	
マットレス止めの取り付け □ボトムにしっかりと取り付けられていますか？（大 4 ヶ所：小 2 ヶ所） □マットレス止め（大）はマットレス幅に合わせて、すべて同じ位置になっていますか？ マットレス止めの取り付け(P.134)	
ボードの取り付け状況の確認 □ボード取付金具がボード受金具にしっかりと入っていますか？（頭･足側各 2 ヶ所） □ボードストッパーがボード受金具の穴に確実に掛かっていますか？（頭･足側各 2 ヶ所） □いちじるしいがたつきがありませんか？ ボードの取り付け(P.136)	

組立後の点検

チェック項目	チェック部位
フットパネルの取り付け状況の確認 □フットパネルがボード受金具にしっかりと固定されていますか？ □いちじるしいがたつきがありませんか？ ☞ フットパネルの取り付け(P.137)	

手元スイッチの確認

□手元スイッチは、ボードまたはベッドサイドレールなどの外側にフックで掛けていますか？

□コードクリップは、乗り降りの妨げにならない位置に取り付けられていますか？

□コードクリップは、手元スイッチコードのカール部が常に引っ張られた状態にならない位置に取り付けられていますか？

□電源プラグをコンセントに差し込むと手元スイッチの電源ランプが緑色に点灯しますか？

☞ 手元スイッチの取付位置(P.21)

□液晶タッチパネル付き手元スイッチの場合、機種の設定はあっていますか？

➡インフォメーション画面を確認してください。異なっている場合は、販売店またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

☞ 操作ボタンと表示ランプ(P.34)

操作時の確認

手元スイッチで「背あげ」「膝あげ」「高さ調節」の操作を最大まで行ったとき、以下の異常がありませんか？

□異常音がする ➡ 販売店またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

□動作しない（電源ランプが点滅する） ➡ 「故障かなと思ったら」を参照してください。

□ベッドが家具などに当たる ➡ ベッドを移動するか、障害物を取り除いてください。

☞ 故障かなと思ったら(P.147)

ベッド・電装品の傷や変形

□ボトムやフレームなどに、傷や変形がありませんか？

□プラグやコード類に傷などがありませんか？

□手元スイッチに傷や破損がありませんか？

➡異常がある場合は、販売店またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

コード類の傷

□プラグやコード類に傷などがありませんか？

➡傷などがある場合は、販売店またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

ラベルのはがれ

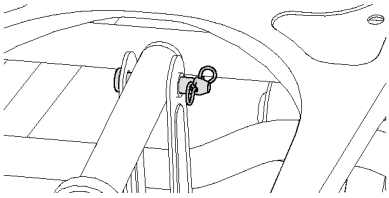
□ラベルがはがれたり、文字が見えなくなったりしていませんか？

➡異常がある場合は、販売店またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

ベッドのすべり

□ベッドを前後・左右から押したとき、容易に滑りませんか？

➡ベッドが滑る場合は、脚座の下に敷物や脚座ゴムシートなどを敷いてください。

チェック項目	チェック部位
連結ピン・スナップピンの確認 □背アクチュエーター先端の連結ピンにスナップピンが確実に差し込まれていますか？ ➡異常がある場合は、販売店またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。	
梱包部品の確認（QA3000V を使用した場合） □梱包されている組立付属部品（脚座を除く）を使用して、ベッドを組立てていませんか？ □梱包されている取扱説明書を使用者に渡していませんか?	

☞ パラテクノコールセンター(P.151)
☞ 故障かなと思ったら(P.147)

分解・保管

分解手順

ベッドの分解は、販売店に依頼することをおすすめします。万一、ご自分で行う場合はベッドの組み立てと逆の手順に従ってください。

※ フットパネルの取り外しのみ組立手順と異なります。下記「フットパネル取り外し」を参照して取り外してください。

⚠注意

ベッドの分解は手順に従って行ってください。

手順どおりに行わないと、コード類が断線したり、ベッドが破損・変形したりするおそれがあります。

キャスター、キャスター付ハイトスペーサーを使用している場合は、キャスターを固定状態（回転・旋回しない状態）にしてから作業を行ってください。

固定状態になっていないと、分解作業中にベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。

分解作業前の準備

⚠警告

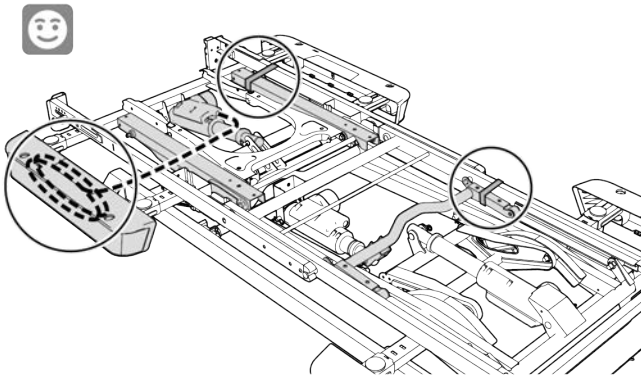
ベッドの分解は、ベッド高さを最低高さまでさげた状態で行ってください。

ベッドがあがった状態で分解すると、部品の落下などにより思わぬけがをしたり、故障したりするおそれがあります。

1. ベッドのオプション（ベッドサイドレール・ベッド用グリップなど）をベッドから取り外してください。
2. 寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
3. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
4. ベッドの高さを最低高さまでさげてください。
5. 背ボトムと膝・足ボトムを水平にしてください。
6. 電源プラグをコンセントから抜いてください。

Note

- 取り外した連結ピン・スナップピンなどは、紛失しないように保管してください。
- 下図のように、取り外し前に頭側フレームはリトラフレーム、足側フレームは膝あげリンクをそれぞれひもなどで固定してください。
- 背アクチュエーターのケーブルは下図のように格納可能です。



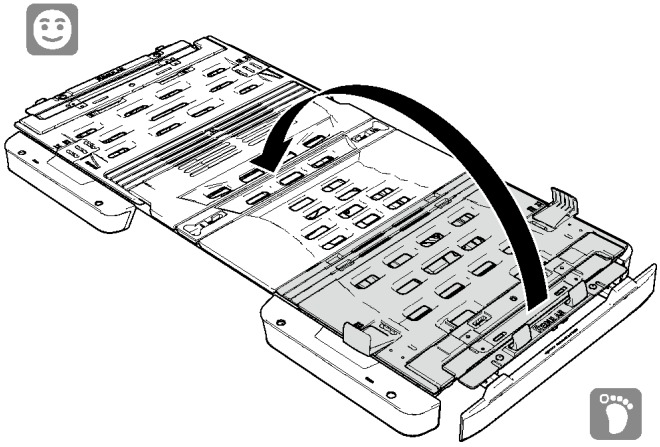
フットパネルの取り外し

フットパネルの取り外し

1. 膝・足ボトムを矢印の方向へたおす。または膝・足ボトムを外す。

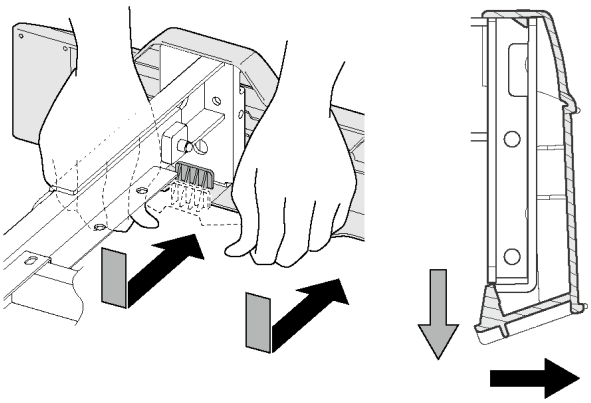
※ 膝・足ボトムの取り外しは「膝・足ボトムの取り付け」の逆の手順で行ってください。

☞ 膝・足ボトムの取り付け(P.132)



2. フットパネル下部にあるツメの両側を下方向に押し本体をたわませて、ツメを外す。（左右２ヶ所）

3. フットパネルをボード受金具から取り外す。



保管

ベッドを分解した後、本取扱説明書および組立付属部品、その他の部品を袋などに入れて保管してください。

故障かなと思ったら

⚠ 警告

被災したベッドは点検・修理をご依頼ください。

地震・火災・水害などで被災したベッドを使用しないでください。感電や火災、ベッドの動作異常により、けがをするおそれがあります。販売店またはパラテクノコールセンターまで点検・修理をご依頼ください。

- 故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。
- チェック・処置をしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはパラテクノコールセンターまで修理をご依頼ください。
- 電動で背さげをできない場合は、手動または乾電池で背さげを行ってください。
- 故障や一時的異常の場合は、手元スイッチの表示パネルにエラーコードが表示されることがあります。エラーコードを確認してください。

状態（症状）	電源ランプ	エラーコード	チェック	処　置
操作ボタンを押してもベッドが動作しない	消灯	―	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
		―	電源プラグはコンセントに差し込んでいるが、手元スイッチの電源ランプが消えていませんか？	コンセントに他の電気機器を接続して、電気がきていることを確認してください。
	緑点灯	―	押した操作ボタンの操作選択ランプが消えていませんか？（RC1*D0 の場合のみ）	操作禁止ボタンを操作して、操作ボタンを有効（操作可能）にしてください。 ☞ 操作ボタンのロック（操作禁止）(P.29)／表示パネル付き手元スイッチ
		―	手元スイッチの電源が「OFF」になっていませんか？（RC1*D0 の場合）	一度操作ボタンを押すことで、電源が「ON」になります。もう一度、操作ボタンを押してください。
	常時・速い橙点滅（0.2 秒ごと）	H0～H8	―	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差し直してください。
	ボタン押下時のみ遅い橙点滅（1 秒ごと）	U0	操作ボタンを押したまま、電源プラグをコンセントに差し込みませんでしたか？	押されている操作ボタンを離してください。
		U1	可動部分に障害物はありませんか？	障害物を取り除いてから操作を行ってください。
		U2	手元スイッチのコネクターが抜けかけていませんか？	手元スイッチコネクターをコントロールボックスから抜いて、差し直してください。 ☞ 手元スイッチコードの配線(P.113)
			手元スイッチのケーブルが破損していませんか？	破損している場合は、ケーブルを交換する必要があります。販売店またはパラテクノコールセンターまで点検・修理をご依頼ください。

状態（症状）	電源ランプ	エラーコード	チェック	処　置
			ベッド上で電子治療器などを使用していませんか？	通信状態の異常を知らせる保護機能が働いたと思われます。故障ではありません。電子治療器などを使用するときは、電源プラグを抜いてから使用してください。
		U3	―	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差し直してください。
		U4	連続運転しましたか？（アクチュエーターを連続運転すると、運転時間制限が働き、動作が停止することがあります）	20～57 分間放置してください。（放置せずに操作すると、再度エラーコードが表示されます）
		U5	―	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差し直してください。
			アクチュエーターのコネクターが外れていませんか？	アクチュエーターのコネクターを差し直してください。 ☞ ハイローアクチュエーターの配線(P.123)
		U6	電源プラグが抜けかけていませんか？	一度電源プラグを抜いて、コンセントに差し直してください。
			古い乾電池を接続していませんか？（停電時のみ）	新しいアルカリ乾電池を接続してください。
		U9	動作が停止した状態で、長い間（30 秒以上）ボタンを押し続けていませんか？	ボタンを離してから再度操作してください。
			―	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差し直してください。
	消灯	―	手元スイッチのコネクターがコントロールボックスから抜けていませんか？	手元スイッチコネクターをコントロールボックスに差し込んでください。 ☞ 手元スイッチコードの配線(P.113)
	―	―	操作ボタンを押したときに操作禁止🔒が表示されましたか？	操作ボタンのロック（操作禁止）が設定されています。手順に従って設定を解除してください。 ☞ 操作ボタンのロック（操作禁止）(P.29)／表示パネル付き手元スイッチ
操作したボタンと異なる部位が動作する	緑点灯	―	頭（足）の「あがるボタン」を押したときに膝（背）がさがりましたか？	角度制限機能が働いているためで、故障ではありません。 角度制限機能(P.52)
			背あげ動作が「背膝連動」に設定されていませんか？（RC16D0・RC5600 のみ）	「背膝連動」に設定されていますので、設定を変更してください。故障ではありません。

状態（症状）	電源ランプ	エラーコード	チェック	処　置
			アクチュエーターが正しく配線されていますか？	アクチュエーターのコネクターを外し、正しく配線してから操作をしてください。 ☞ ハイローアクチュエーターの配線(P.123)
操作したいボタンが表示されていない（RC5*00 のみ）	―	―	操作ボタンをロックしていませんか？	操作ボタンのロックを OFF にしてください。 ☞ 操作ボタンのロック（操作禁止）(P.44)
			ベッド操作画面の設定で「シンプル」のみを選択していませんか？	画面表示設定の項目「ベッド操作画面」で「標準」を選択してください。 ☞ 画面表示設定(P.41)
各ポジションが正常にとれない	―	―	可動部分に障害物はありませんか？	障害物を取り除いてください。
ベッドの移動ができない（キャスター取付時のみ）	―	―	キャスターがロックされていませんか？	キャスターのロックを解除してください。
ボードが外れない	―	―	ボードストッパーが固定されていませんか？	ボードストッパーの固定を解除してください。 ☞ ボードの取り付け(P.136)

アフターサービスについて

保証書

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

販売店名・お買い上げ日の記入が無い場合は、品番・販売店・お買い上げ日が確認できるように、製品をお買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

修理を依頼されるとき

取扱説明書の「故障かなと思ったら」に従って調べてください。それでも直らないときは、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社製品の修理受付窓口であるパラテクノコールセンターまでご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- 品名、品番、製品識別表示ラベルの番号
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- お名前、ご住所および電話番号

消耗部品について

手元スイッチは消耗部品です。

保証期間内のとき

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

部品の最低保有年数

弊社ではこのベッドの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打ち切り後８年としております。

お問い合わせ先

アフターサービスについてご不明な場合、お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合せください。

パラテクノ株式会社は弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

パラテクノコールセンター

電話番号：0120-54-8639（フリーダイヤル）

受付時間：平日 8:00～18:00／土・日・祝日 9:00～17:00（年始は休業いたします）

パラマウントベッド株式会社

本　　社	〒136-8670	東京都江東区東砂 2 丁目 14 番 5 号	(03)3648-1111（大代）
東京支店	〒136-8670	東京都江東区東砂 2 丁目 14 番 5 号	(03)3648-1171（代）
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南 2 条西 13 丁目 318 番地 11	(011)271-1181（代）
仙台支店	〒984-0015	仙台市若林区卸町 2 丁目 3 番地の 3	(022)239-5211（代）
さいたま支店	〒336-0967	さいたま市緑区美園 3 丁目 23 番 1	(048)878-0100（代）
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間 5 丁目 3 番 33 号	(042)795-8800（代）
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉 1 丁目 20 番 17 号	(052)963-0600（代）
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀 2 丁目 3 番 33 号	(06)6443-8791（代）
高松営業所	〒761-8031	高松市郷東町 2 2 3 番 1	(087)881-8900（代）
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町 3 丁目 8 番 5 号	(082)293-1311（代）
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東 3 丁目 14 番 20 号	(092)461-1131（代）

Memo

PARAMOUNT BED

製版：パラマウントベッド株式会社 2026-08